



 Extensis™  
**PORTFOLIO Server™**

デスクトップクライアントユーザーガイド

# コピーライト

©2006-2012 Celartem, Inc., doing business as Extensis. 本書ならびに本書に記載されているソフトウェアは著作権保護の対象であり、無断複写・複製・転載が禁止されています。本書または本書に記載されているソフトウェアの全部または一部を、Extensis の書面による承諾なしに複製することはできません。ただし、ソフトウェアの通常の利用やソフトウェアのバックアップ作成は除きます。この例外であっても他者に対する複製は許可されません。登録済みおよび申請中の米国特許に基づいてライセンス化されています。

Extensis は Extensis の商標です。Extensis のロゴ、Extensis Library、Font Reserve、Font Reserve Server、Font Sense、Font Vault、NetMediaMAX、Portfolio、Portfolio Server、Suitcase、Suitcase Fusion、Universal Type、Universal Type Client、Universal Type Core は Extensis の商標です。FontSync、NetPublish、Portfolio NetPublish、Type Server、Universal Type Server、WebINK は Extensis の登録商標です。Celartem、Celartem, Inc.、Celartem のロゴは、Celartem, Inc. の商標です。Adobe、Acrobat、Illustrator、InCopy、InDesign、Photoshop、PostScript、XMP は Adobe Systems, Incorporated の商標です。Apple、AppleScript、Bonjour、Bonjour ロゴ、Mac OS、QuickTime、QuickTime ロゴ、Universal ロゴ、Xsan は、Apple Inc. の登録商標です。Microsoft、Internet Explorer、SQL Server、Windows、Windows Vista は Microsoft Corporation の登録商標です。Intel、Intel Core、Pentium、Xeon は Intel の登録商標です。Oracle、Java は Oracle と関連会社の登録商標です。Google は Google Inc の商標です。Apache Tika、Apache Tomcat、Tomcat は Apache Software Foundation の商標です。Quark、QuarkXPress、XTensions、QuarkXTensions は、Quark Inc. の商標です。IBM、DataMirror、PowerPC は International Business Machines Corporation の商標です。その他全ての商標は各社が所有しています。

オンデマンドイメージング、ビデオ変換と処理は MediaRich® プラットフォームで実行されています。MediaScript、MediaRich は Automated Media Processing Solutions, Inc., dba Equilibrium の商標または登録商標です。Copyright © 2004–2012. All Rights Reserved. 米国特許番号 6,792,575、6,964,009、他の特許は申請中です。

Extensis は、製品の購入日より 30 日間、通常の使用状況において、ソフトウェアが記録されているディスクに材質上および製造上の欠陥が無いことを保証します。製品を Extensis から直接購入し、30 日以内に障害が発生した場合、ディスクを Extensis に返送いただければ交換いたします。交換用に送付されたすべての製品は、交換の前に Extensis で登録する必要があります。販売店から購入した Extensis 製品は販売店によって保証され、販売店の返品規定の対象となります。この保証は交換に限定され、その他の損害を含みません。その他の損害には、利益の損失、特殊な要求、付随的な要求、その他の同様の要求などがありますが、これらに限定されるものではありません。本ソフトウェアは、「現状のまま」提供されます。上記の明示的な保証を除き、Extensis は、同梱のソフトウェアの品質、性能、商品性、または特定目的の適合性に関して、明示的または暗黙的を問わず他のいかなる保証もいたしません。



Portfolio Desktop Client 10.2.0

# 目次

コピーライト.....	2
目次.....	3
Portfolio Server へようこそ.....	8
このリリースの新機能.....	9
Portfolio 10.1 の変更点.....	9
Portfolio 10.0 の変更点.....	10
Portfolio 9.5 の変更点.....	10
はじめに.....	11
Portfolio デスクトップクライアントシステム要件.....	12
Portfolio のユーザーインターフェイス.....	13
カタログ.....	15
サーバーから提供されるカタログを開く.....	15
カタログプロパティの表示.....	15
アクセスレベルの理解と変更.....	15
ファイルのカタログ化.....	17
カタログにアイテムを追加.....	17
カタログからアイテムを削除.....	19
カタログ作成オプション.....	19
仮レコード.....	22
カタログ作成の詳細オプション.....	23
ギャラリー.....	28
デフォルトのギャラリー.....	28
標準のギャラリー.....	28
一時ギャラリー.....	28
スマートギャラリー.....	29
新しいウィンドウでギャラリーを開く (Mac のみ).....	29
ギャラリーアイコンの参照.....	29
新しいギャラリーの作成.....	29
ギャラリーへのアイテムの追加.....	30

一時ギャラリー	30
ギャラリーからのアイテムの削除	30
ギャラリーの並べ替え	31
ギャラリーの自動的な並べ替え	31
ギャラリーの並べ替えのカスタマイズ	31
起動時にギャラリーを開く	32
ギャラリーの削除	32
ギャラリーの名前変更	32
ギャラリーのコピー	32
スマートギャラリーの作成	32
ギャラリーを公開または非公開に設定	33
<b>表示</b>	<b>34</b>
ギャラリー表示のカスタマイズ	35
フィールド表示のカスタマイズ	35
サムネールオプション	36
保存した表示	37
<b>Portfolio によるファイルの管理</b>	<b>40</b>
アイテムのプレビュー	40
アイテムのプロパティの表示と編集	41
オリジナルファイルの編集	42
ファイルの移動、コピー、削除	42
画像のバッチ変換	43
画像の回転	44
サムネールのみを回転	44
ファイル名を変更	44
別のファイルへ再リンク	45
カタログ化されたアイテムを他のソフトウェアへドラッグ	45
アイテムの更新	46
<b>ファイルを検索</b>	<b>48</b>
クイック検索	48
検索コマンドの使用	48
パレットからの検索	53

複数のカタログを検索.....	53
カタログ作成のステータスによってファイルを検索.....	54
仮レコードアイテムの検索.....	54
書類のテキストの検索.....	55
消失ファイルの検索.....	55
<b>プリント.....</b>	<b>56</b>
単一ファイルのプリント.....	57
コンタクトシートのプリント.....	57
ギャラリーからのアイテムのプリント.....	57
<b>オートシンク.....</b>	<b>58</b>
フォルダパレットの表示.....	58
新しい監視フォルダの追加.....	59
監視フォルダのオートシンク設定の編集.....	60
監視フォルダの削除.....	60
監視フォルダの内容の表示.....	60
フォルダパレットによるファイルの移動.....	61
オートシンクによる新しいフォルダの作成.....	61
フォルダの同期.....	62
Finder または Windows エクスプローラへの切り替え.....	63
<b>キーワード.....</b>	<b>64</b>
キーワード入力を避ける方法.....	64
キーワードの追加.....	64
キーワードの削除.....	65
キーワードの表示.....	66
マスターキーワード.....	66
<b>カスタムフィールドタイプ.....</b>	<b>68</b>
キーワードとカスタムフィールド.....	68
カタログへのカスタムフィールドの追加.....	69
カスタムフィールドタイプ.....	69
カスタムフィールドをパレットとして表示.....	70
フィールド値をパレットを使用して割り当てる.....	70
フィールド値の編集コマンドを使用.....	70

<b>カテゴリー</b> .....	71
新しいカテゴリーの作成.....	72
カテゴリーの削除.....	72
アイテムをカテゴリーにリンクする.....	72
アイテムを指定のカテゴリーに表示.....	72
アイテムをカテゴリーから削除.....	73
カテゴリーに基づいたフォルダーを作成.....	73
<b>ファイルの配布</b> .....	74
ファイルの電子メールによる送信.....	74
ファイルのディスクへの書き込み.....	74
ファイルの収集.....	76
Web ページの作成.....	78
Web ページの配布.....	83
<b>スライドショー</b> .....	85
スライドショーの作成.....	85
スライドショーのオプションを設定.....	86
スライドショー中にファイルを編集.....	86
スライドショーの自動開始.....	86
スライドショーの QuickTime ムービーへの保存.....	87
<b>Portfolio Express</b> .....	88
Portfolio Express を起動.....	88
Portfolio Express でカタログを開く.....	89
Portfolio Express を使用した検索.....	89
Portfolio Express を使ってファイルにアクセス.....	90
Portfolio Express のホットキーを設定.....	90
Portfolio Express を自動的に起動.....	91
<b>成功事例</b> .....	92
効率的なワークフローの定義.....	92
ワークグループ環境での Portfolio 設定.....	92
使用するカタログの数.....	93
ファイルの整理.....	94

<b>カタログの管理</b> .....	<b>96</b>
デフォルトフィールド値.....	96
カタログの起動時オプションの設定.....	96
カスタムのスプラッシュスクリーンを追加.....	97
データのインポートとエクスポート.....	97
破損したカタログの修復.....	99
公開されたカタログの管理.....	100
スクリプトを使った Portfolio の自動化.....	100
カスタムカタログタイプ.....	101
<b>環境設定</b> .....	<b>102</b>
ダブルクリック設定.....	102
ツールバーをカスタマイズ.....	102
環境設定ダイアログボックス.....	103
<b>用語集</b> .....	<b>104</b>
<b>連絡先</b> .....	<b>108</b>
<b>索引</b> .....	<b>109</b>

# Portfolio Serverへようこそ

Portfolio Server は、デジタルアセットのライブラリ全体を、オンラインでもオフラインでも、視覚的に体系化して、並べ替え、およびプレビューすることを可能にします。素早くメタデータを埋め込み、アーカイブし、パートナーやクライアント、ベンダーとアセットを共有することが可能です。

Portfolio Server には、サーバー管理用ウェブアプリケーションと、ウェブブラウザでアクセスできるウェブクライアント、Mac/Windows 用のデスクトップクライアント&Express アプリケーションが用意されています。

- サーバー管理アプリケーションでは、サーバーの管理、カタログの作成、ユーザーアカウントやアクセスの管理が行えます。
- Portfolio ウェブクライアントとデスクトップクライアントは、カタログにアセットを登録したり、メタデータの適用、検索、複数フォーマットによるアセットのダウンロード などが行えます。Portfolio Express アプリケーションは、他のアプリケーション利用時にアセットをドラッグ&ドロップすることができます。

各アプリケーションには検索可能なオンラインヘルプが用意されています。ブラウザベースのサーバー管理とウェブクライアントは、ブラウザウィンドウの右上のヘルプをクリックしてください。デスクトップクライアントアプリケーションでは、ヘルプメニューからヘルプを開くことができます。

ヘルプページでは、画面左のパネルにコンテンツや目次が用意されています。また特定の用語を検索することもできます。また多くのページには関連トピックスへのリンクも用意されています。

## Portfolio デスクトップクライアント

デスクトップクライアントは、Mac OS X や Windows のアプリケーションからアセットの登録、アクセスを行えます。

カタログへのアクセス権限によって、Portfolio デスクトップクライアントで行えることが変わります：

- ファイルをカタログに登録する
- ファイル情報の編集：カタログに登録されたアイテムのキーワードやメタデータの追加
- ギャラリーやスマートギャラリーを利用したアセット管理
- アセットの検索
- オリジナルファイルを開く：プレビュー画像をコピーしたり、ドキュメントにドラッグしたり、作成されたアプリケーションで編集することができます。
- アセットの配信：メール用に自動リサイズ、アセットの収集、ディスクへの焼き込み、NetPublish ウェブサイトへの書き出しなどが行えます。

デスクトップクライアントを使ったカタログ管理：

- メタデータマッピング
- カタログ詳細オプション：
- AutoSync フォルダ：
- カスタムフィールドの作成と編集

## Portfolio Express

Portfolio Express はカタログ内のアセットにアクセスできるフローティングパレットです。アセットの検索、オリジナル画像を開く、他のアプリケーションへのドラッグ&ドロップなどが行えます。

Portfolio Express を利用する：

- Portfolio Express を起動
- Portfolio Express を自動的に起動
- カタログを開く
- Portfolio Express ホットキーの設定
- Portfolio Express で検索する



# このリリースの新機能

Portfolio Server と外部の Media Engine (MediaRich) でファイル処理レイヤーが新しく開発されました。この新しいモジュールにより、特に PDF や Office ドキュメントフォーマットのより高速で安定した環境を提供しています。


さらに新規カメラの RAW フォーマットやプロ向けのビデオコーデックなど多くのファイルフォーマットをサポートしました。新しいファイル処理レイヤーにより将来的にも新規ファイルフォーマットサポートにフレキシブルに対応できるようになっています。

デスクトップクライアントユーザーは、新規ファイルフォーマットサポートにより、ビデオファイルなどプレビューできるファイルフォーマットが増えています。

PDF 生成の機能が向上され、OCR スキャンテキストレイヤーの検索、メタデータ抽出の機能が向上しています。

多くの不具合が改善され、安定性とスピードアップを実現しました。詳細はリリースノートを参照してください。

ビデオアイテムをダブルクリックした際に、Portfolio Server が短いプレビュークリップを生成し、スクリーンプレビューを開いてみられるようになりました。オリジナルビデオを見るには、スクリーンプレビューツールバ

ーにある、**オリジナルを表示**ボタン  をクリックします。オリジナルファイルが開き、適切なビデオプレイヤーで再生します。通常は Windows は Windows Media Player、Mac は QuickTime Player が起動します。

## 注意：

ビデオプレイヤーがある場合でも、特殊なビデオファイルによっては、再生時にコーデックのような追加のソフトウェアが必要になる場合があります。または再生時に品質が落ちたり、音声や映像トラックが欠落したり、まったく再生されない場合もあります。

適切なアプリケーションでオリジナルを再生する場合は、ご利用の OS のファイル形式を確認するか、アプリケーションを選択してからファイルを開きます。

## Portfolio 10.1 の変更点

Portfolio デスクトップクライアントバージョン 10.1 は、ビデオ、オーディオメディアのプレビューメソッドがアップデートされました。デスクトップクライアントで Portfolio Server がカタログに登録した際に生成したプレビュークリップを再生できます。ファイルを完全に再生する場合は、Portfolio デスクトップクライアントは、お使いの PC 内の適切な再生アプリケーション (QuickTime Player や Windows Media Player など) を呼び出します。これによって様々なメディアフォーマットをサポートできるようになりました。

プレビュークリップを再生するには、Portfolio カatalog内のアイテムをダブルクリックします。外部のプレイヤーでオリジナルファイルを開くには、プレビュークリップを右クリックして、ポップアップメニューから**オリジナルを編集**を選択します (ダブルクリックで開くように設定することもできます)。

## Portfolio 10.0 の変更点

Portfolio 10 のデスクトップクライアントには、Portfolio Server の新機能をサポートするなど以下の新機能が含まれています：

- Portfolio Professional または Enterprise 版を利用している場合は、アクティブディレクトリやオープンディレクトリ (LDAP) サービスを使ってサーバーに接続することができます。
- サポートするファイル形式やメタデータの追加
- より多くのビデオや音声フォーマットのカatalog登録とプレビュー
- ビデオファイルのメタデータサポートの拡張
- NetMediaMAX ユーザーはオートシンクの高速化とメタデータ埋め込みの高速化
- オートシンク作業中も一定の動作を実行

デスクトップクライアントから移動された機能：

- Catalogの詳細オプションからビデオサムネイル設定が削除されました。ビデオサムネイルはPortfolio Server で、ポスターフレームまたはビデオ内の画像を使って常に作成されるようになりました。
- ログインしているユーザーをリモートで解除する機能は、Portfolio Server Admin アプリケーションで行うようになりました。
- ウェブクライアントの各ユーザー表示設定が自動的にサーバーデータベースに保存されるようになりました。そのためデスクトップクライアント内でウェブクライアント用のカスタム表示を作成して保存しておく必要がなくなりました。さらにCatalog管理者は、ウェブクライアントのデフォルト表示設定をウェブクライアント内で行えるようになりました。

## Portfolio 9.5 の変更点

Portfolio 9.5 デスクトップクライアントには、ワークフローを迅速化し、Portfolio 製品全体をより使いやすくする多くの新機能が含まれています。

デスクトップクライアントに追加された改善点は、次の通りです：

- ログイン情報を保持して、複数のCatalogを開く場合に自動的に認証されるようになりました。
- 自動的に一番高いアクセスレベルでログインします。
- プレビューがサーバーからストリームされるようになりました。これによってクライアントはプレビューファイルに直接アクセスしなくて良くなりました。
- 特に指定しない限り、プレビューは自動的に生成されるようになりました。
- Office メタデータを含む Microsoft Office サポートの向上。
- メタデータの埋め込みを改善しました。
- CD や DVD、USB ドライブなど、オフラインファイルのCatalog化が向上しました。

# はじめに

Portfolio は、デジタルファイルに関する情報を、扱いやすい視覚的なカタログに保存することによってファイルを整理するのに役立ちます。ファイルを探すのに深い階層のフォルダを探したり、必要な画像を見つけるために文書を次から次へと開いたりする代わりに、Portfolio でサムネールサイズのプレビューをすばやく参照したり、Portfolio の強力な検索エンジンを使用して必要なアイテムの検索を実行したりできます。

**カタログ**：ファイルはカタログ化 (Portfolio カタログに追加) する必要があります。これによって、Portfolio はファイルの検索、プレビュー、および追跡が可能になります。

- **新しいカタログの作成** (詳細は *Portfolio Administration* ガイド または Portfolio Server Admin ヘルプを参照してください)
- **カタログにアイテムを追加** (17 ページの)

**カスタマイズ**：必要な情報の検索と表示を容易にするために、カタログの外観を定めます。

- **新しいギャラリーの作成** (29 ページの)
- **ギャラリー表示のカスタマイズ** (35 ページの)

**アクセス**：ファイルを直接 Portfolio 内でプレビューし、別ディスクへコピーし、Photoshop®などのプログラムへドラッグし、作成された元のアプリケーションで開いて編集を行います。

- **アイテムのプレビュー** (40 ページの)
- **オリジナルファイルの編集** (42 ページの)

**整理**：Portfolio 内の機能を使用して、キーワード、説明、その他のカスタムデータを追加することにより、ファイルをグループ化、整理、およびカテゴリ化することができます。

- **キーワード** (64 ページの)
- **カスタムフィールド** (68 ページの)
- **カテゴリ** (71 ページの)

**検索**：検索するカタログファイル名の単語またはフレーズを入力すると、直ちにアクセスできます。Portfolio に自動的に保存されている幅広い検索タイプを使用して検索します。

- **クイック検索** (48 ページの)
- **検索コマンドの使用** (48 ページの)

**配布**：電子メール経由で自動的にサイズ変更されたファイルを送信し、CD または DVD に直接書き込み、ウェブページとして出版します。Portfolio はほとんどの配布関連のタスクを自動化します。

- **ファイルの電子メールによる送信** (74 ページの)
- **ファイルのディスクへの書き込み** (74 ページの)
- **Web ページの作成** (78 ページの)
- **ファイルの収集** (76 ページの)
- **スライドショー** (85 ページの)

# Portfolioデスクトップクライアントシステム要件

最新の情報は、Extensis のウェブサイトでご確認ください：

<http://www.extensis.com/support/product-support/portfolio-server-10/>.

または国内販売代理店のサイトをご覧ください：

<http://www.swtoo.com/product/extensis/>

## Portfolio デスクトップクライアントのインストール

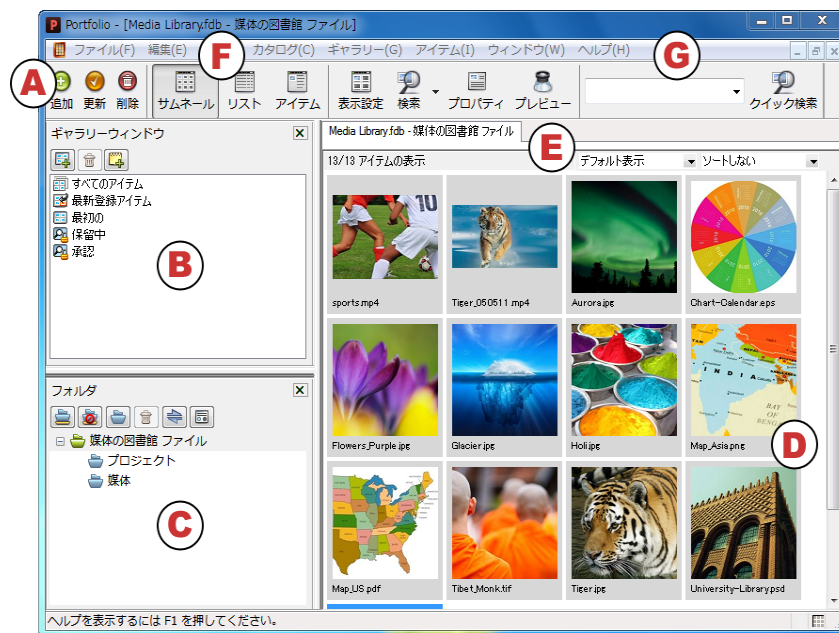
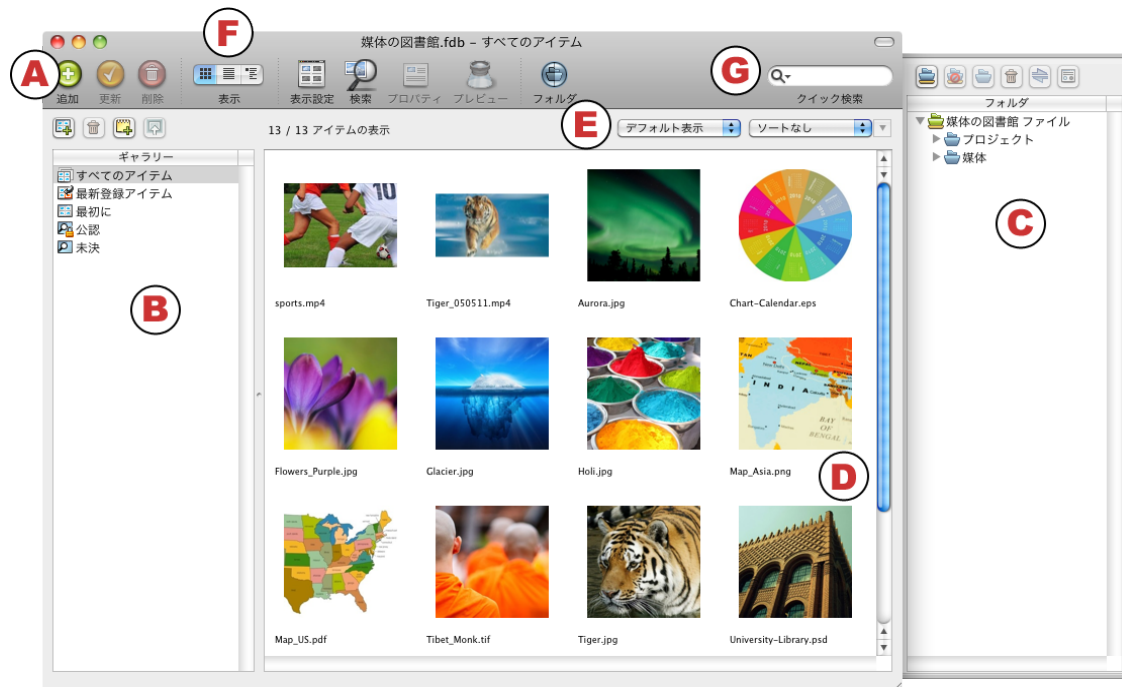
Portfolio デスクトップクライアントをインストールするには：

1. Extensis のウェブサイト (<http://www.extensis.com/downloads/>) から最新のインストーラをダウンロードします。
2. インストーラアイコンをダブルクリックします。
3. 画面の指示に従って進みインストールを完了します。

デスクトップクライアントは何台のコンピュータでもインストールが行えます。デスクトップクライアント自体にはシリアル番号の入力は不要です。

# Portfolioのユーザーインターフェイス

Portfolioのユーザーインターフェイスは、カタログ作成、ファイルの検索および使用がすばやく行えるように設計されています。Portfolioのユーザーインターフェイスの主要部分は以下の通りです。



A	ツールバー	E	Saved View and Sort menus
B	ギャラリーパネル	F	View buttons
C	Folder View* drawer/pane	G	QuickFind
*On Windows, this appears below the Galleries pane.			
D	Main Window		

## ツールバー

ツールバーでは、ボタンをクリックして最も頻繁に使用されるメニューコマンドにアクセスします。ツールバーをカスタマイズして、要望に合わせてボタンを増やしたり、または少なくすることが可能です。詳しくは、**ツールバーのカスタマイズ** 102 ページのを参照してください。

## ギャラリーパネル

Portfolio のカタログに含まれるものはすべて、少なくとも 1 つのギャラリーに一覧表示されます。ギャラリーでは、カタログ内でファイルの論理的なコレクションを作成できます。ギャラリーはカタログのすべてのユーザーが使用できるように、または個人だけが見られるように作成できます。ギャラリーは、特殊なスマートギャラリーへ変換することもできます。スマートギャラリーでは保存済みの検索条件に基づいて自動的にギャラリーを見つけて更新します。ギャラリーについての詳細は、**ギャラリー** 28 ページのを参照してください。

## フォルダパレットパネル/ウィンドウ

「フォルダパレット」パネル/ウィンドウでは、Windows Explorer または Macintosh Finder 経由で、フォルダおよびファイルにアクセスできます。Microsoft Windows では、「フォルダパレット」は、「ギャラリー」パレットのすぐ下にある、ウィンドウのパネルに表示されます。Mac では、ウィンドウで Portfolio 側をオフにしたときに表示されます。「フォルダパレット」に追加されたフォルダは、オートシンクと呼ばれる処理を通じて自動的にカタログと同期します。フォルダ表示とオートシンクについての詳細は、**オートシンク** 58 ページのを参照してください。

## メインウィンドウ

現在選択されているギャラリーまたはフォルダパレットのフォルダ内のアイテムは、メインウィンドウに表示されます。Windows では、アイテムをプレビュー、またはダブルクリックしてギャラリーを開いたときに、メインウィンドウの一番上にあるタブに表示されます。Mac では、アイテムをプレビューしたとき、またはダブルクリックしてギャラリーを開いたときに、新しいウィンドウに表示されます。

## 保存済みの表示メニューおよび並べ替えメニュー

「保存済みの表示メニュー」および「並べ替え」メニューはメインウィンドウの右上に表示されます。これらのメニューでは、現在開いているギャラリーの表示方法を変更して、並び替えをすることができます。カスタム表示の作成についての詳細は、**カスタム表示の保存** 37 ページのを参照してください。並び替えメニューの使用についての詳細は、**ギャラリーの並び替え** 31 ページのを参照してください。

## 表示ボタン

ツールバーの表示ボタンでは、3 つの基本的なギャラリーの表示タイプをすばやく切り替えることができます。サムネール表示、リスト表示、およびアイテム表示です。各ギャラリーの表示は完全にカスタマイズ可能で、Portfolio が検索できるどのフィールドデータも表示することができます。詳しくは、**表示** 34 ページのを参照してください。

## クイック検索

ツールバーのクイック検索 ボックスでは、共通のフィールド値を検索することで、カタログでファイルをすばやく検索することができます。要望に応じて「クイック検索」ツールをカスタマイズすることが可能で、ほとんどの Portfolio フィールドを検索することができます。詳しくは、**クイック検索** 48 ページのを参照してください。

# カタログ

## サーバーから提供されるカタログを開く

Portfolio Server から提供されるカタログを開くには、まずサーバーに接続する必要があり、その後カタログを開きます。

1. **ファイル > サーバー接続**を順に選択します
2. Portfolio サーバーをサーバーリストに追加していない場合、**サーバーの追加**をクリックして、Portfolio Server の名前と IP アドレスを入力し、次に **OK** をクリックします。IP アドレスとサーバー名を取得するには、Portfolio Server 管理者に連絡してください。
3. サーバーに接続ダイアログボックスで、サーバー名の隣にある **[ + ]** アイコンをクリックして提供されるカタログのリストを表示します。
4. **開くカタログ**をクリックして選択します。
5. **カタログを開く**をクリックします。

## カタログプロパティの表示

**カタログ > プロパティ**を選択してカタログプロパティダイアログボックスを開くことで、任意のカタログに関する一般的な情報および統計を表示できます。カタログプロパティダイアログボックスでは以下の処理を行うことができます。

- カタログ内のアイテムの総数、使用されているキーワードの総数、ディスク上のカタログサイズ、作成日、その他の詳細を得る。
- ディスク上のカタログファイルへのパスを表示およびコピーする。
- カタログ内で使用されているすべてのキーワードとその頻度を表示する。これを行うには、**統計タブ**を選択し、**計算 (Mac)** または **今すぐ計算 (Win)** ボタンをクリックします。Portfolio は各キーワードを一覧表示し、各キーワードが割り当てられているカタログ化済みアイテムの数を示します。
- 文書内で使用されているすべてのキーワードをテキストファイルに保存する。まず **計算** ボタンをクリックして、キーワードリストを生成します。次に、**キーワードのエクスポート (Mac)**、または **キーワードの保存 (Win)** をクリックして、リストをテキストファイルとして保存します。
- カタログの並べ替え言語を表示する。

## アクセスレベルの理解と変更

### アクセスレベル

カタログのアクセスには、管理者、発行者、編集者および閲覧者の 4 つのレベルがあります。各レベルでは、ユーザーは異なった Portfolio の機能にアクセスします。

#### 閲覧者

閲覧者として、アイテムを表示、検索、プレビュー、およびコピーできますが、カタログ内の変更は一切できません。これは、閲覧専用モードです。

#### 編集者

編集者モードのときは、カタログ化されたアイテムの検索、プレビュー、およびアイテムに関する情報のアクセスおよび編集が可能です。しかし、カタログへのアイテムの追加、ファイル名の変更、またはアイテムのウェブや QuickTime ムービーへのエクスポートを行うことはできません。

## 発行者

発行者は、カタログ内のアイテムを追加、削除、エクスポート、および編集できますが、新規カスタムフィールドの作成、マスターキーワードリストの作成といった管理者機能を使用できません。

## 管理者

このモードは、すべての機能に対する完全なアクセスが可能です。カタログ管理者はカスタムフィールドの作成、カタログ作成の制御といった他のユーザーが不可能な処理を行うことができます。カタログが管理者モードで開いているときは、他のユーザーはカタログを一切使用できません。

## カタログアクセスレベルの変更

アクセスレベルを変更する：

1. カタログメニューから**アクセス権のレベル**を選ぶか、Command-J (Mac) または Ctrl-J (Windows) を押し、アクセス権のレベルダイアログを開きます。
2. アクセス権のレベルドロップダウンメニューからレベルを選択します。

### 注意：

カタログが別のユーザーによって開かれているため、アクセスレベルを変更できないというエラーが表示された場合で、他にカタログを開いている人がいないと思われる場合は、Portfolio Express パレット内のカタログを閉じてください。

3. 必要な場合はパスワードを入力して **OK** をクリックします。



# ファイルのカタログ化

## カタログにアイテムを追加

Portfolio を使用してファイルの整理と追跡を行うためには、まずアイテムファイルを Portfolio カタログに追加する必要があります。Portfolio カタログにアイテムを追加するには、カタログに対して、発行者または管理者のアクセス権を持っている必要があります。

個別のファイル（JPEG 画像や EPS グラフィックなど）、フォルダ、またはボリューム全体（ハードドライブ、CD-ROM、DVD など）をカタログ化できます。Portfolio カタログにアイテムを追加する方法は 5 つあります。

### 重要：

Portfolio Server はカタログ作成するファイルへのアクセスを持っている必要があります。



### インスタントカタログ作成

1. Macintosh の Finder または Windows エクスプローラ内の任意の場所でファイル、フォルダ、またはディスクアイコンを右クリックします。
2. Portfolio に追加コマンドを選択して、最近使用したカタログのリストを表示します。
3. 選択済みのアイテムを追加するカタログを選択します。  
必要なカタログが一覧表示されない場合は、**その他のカタログ**を選択して開きます。
4. 適切なカタログ作成オプションを設定して、**OK** をクリックし、カタログにファイルを追加します。


### ドラッグ&ドロップ

1. ファイル、フォルダ、またはディスクを、開いているカタログウインドウの中にドラッグするだけで、カタログ化します。
2. 適切なカタログ作成オプションを設定して、**OK** をクリックし、カタログにファイルを追加します。

### オートシンク

1. コンピュータまたはネットワークから、Portfolio のフォルダパレットにフォルダを追加するには、フォルダパネルで、監視フォルダの追加  ボタンをクリックします。
2. 同期  ボタンをクリックして、選択したフォルダのコンテンツをカタログ化します。詳しくは、**オートシンク** 58 ページのをご覧ください。

### 追加ボタン

1. Portfolio のメインツールバーの追加ボタン  をクリックします。
2. 開くダイアログボックスで任意のファイル、フォルダ、またはディスクを選択します。フォルダまたはディスクを選択する場合、サブフォルダを含めるオプションを有効にして、選択したフォルダまたはディスクボリュームにネストされているフォルダ内のすべてのファイルをカタログ化できます。
3. 適切なカタログ作成オプションを設定して、**OK** をクリックし、カタログにファイルを追加します。

### カタログメニュー

1. **カタログ > アイテムを追加**を選択します。
2. 開くダイアログボックスで任意のファイル、フォルダ、またはディスクを選択します。フォルダまたはディスクを選択する場合、サブフォルダを含めるオプションを有効にして、選択したフォルダまたはディスクボリュームにネストされているフォルダ内のすべてのファイルをカタログ化できます。
3. 適切なカタログ作成オプションを設定して、**OK** をクリックし、カタログにファイルを追加します。

### 高速カタログ作成

上記の任意の方法でファイルを追加する場合、Portfolio は 2 ステップの高速カタログ作成を利用して、カタログにファイルを追加します。最初のステップでは、すべてのファイルはすばやくスキャンされ、カタログに追加

されます。ファイルがスキャンされると、埋め込まれたサムネイルファイルは抽出され、カタログ内に黄色のアイコンで表示されます。この表示は、ファイルは有効であるが完全にカタログ化されていないことを示します。

カタログ作成の2番目のステップはバックグラウンドで実行されるので、カタログ内で作業を続けることができます。2番目のステップにおいて、Portfolioはプレビューファイルを作成して必要なテキストインデックス化を実行します。この高速カタログ作成の段階が終了すると、黄色のアイコンは各アイテムのサムネイルから消えます。

ファイルがカタログ化されると、Portfolioはカタログ作成の進行状況をステータスバーに表示します。ステータスバーでは、最初の段階におけるカタログ作成の停止および開始、あるいは2番目の段階におけるカタログ作成の一時停止、および続行することが可能です。

処理しています。「menu.gif」 - 0 / 9 個のファイルが完了しました。 

#### **警告：**

高速カタログ作成の処理がオートシンク機能によって実行され、その処理が中断された場合、アイテムは部分的にカタログ化されたままになります。アイテムをすべてカタログ化するには、部分的にカタログ化されたアイテムを選択して、**アイテム > 更新**を選択します。

高速カタログはの詳細オプション（**カタログ > カタログ作成の詳細オプション > サムネイルタブ**）で、使用・使用しないを設定できます。

#### **黄色のドット**

カタログのサムネイル上の黄色のドット●は、部分的にカタログ化されたアイテムを示します。最初のカタログ作成の処理中、Portfolioは、簡単にアクセス可能なメタデータ同様、すべての埋め込まれたサムネイルおよびプレビューを抽出し、ファイルに黄色のドットを配置します。これは、まだPortfolioが追加の処理を行う必要があることを示します。黄色のドットは、処理の2番目の段階が終了すると消えます。

#### **赤のドット**

カタログ化されたアイテム上の赤のドット●は、疑問のあるファイルが破損している、使用中である、またはファイル許可がPortfolioによって読み取り不可能であることを示します。

赤のドットは、カタログがディスクプレビューを生成するように構成されていて、プレビューフォルダが見つからないか、Portfolio（またはPortfolio Server）が、フォルダにアクセスしてファイルを更新する権限がない場合にも表示されます。


## カタログからアイテムを削除

カタログからアイテムを削除するための簡単な方法がいくつか用意されています。Portfolio カタログからアイテムを削除しても、オリジナル画像は削除されないことに注意してください。ファイルに関する Portfolio の内部記録が削除されるだけです。オリジナルファイルはそのまま残ります。

### 注意：

Portfolio を使用してオリジナルファイルを削除することもできます。**アイテム > オリジナルファイルの操作 > 削除**の順に選択します。これにより、アイテムは Portfolio から削除され、オリジナルファイルはごみ箱に移動されます (Mac、Windows とともに)。Mac の場合、この方法で削除されたネットワークボリューム上のアイテムはごみ箱に移動されず、すぐに削除されます。

オリジナルファイルを削除せずに、アイテムをカタログから削除するには：

- ツールバーの削除  をクリックします。
- キーボードの削除キーを押します。
- サムネイル上で右クリックしてショートカットメニュー内の削除を選択します。
- **アイテム > 削除**を選びます。

### 削除の確認警告

上記のいずれかの方法を使用して、すべてのアイテムギャラリーからアイテムを削除するときはいつでも、確認ダイアログボックスが表示されて、意図したアクションの実行であることを確認します。ダイアログボックスでは、アイテムをギャラリーから削除するか、ギャラリーとカタログの両方から削除するかを選択できます。

## カタログ作成オプション

Portfolio にアイテムを追加するとき、ファイルに関する情報をどのように保存するかを詳細に定める多くのオプションを使用できます。こうしたさまざまなオプションは、カタログメニューからカタログ作成オプションコマンドを選択することでコントロールできます。

カタログ作成オプションダイアログボックスを開いた後、オプションを選択して名前変更、コピーおよびファイルの移動や、Portfolio に追加するアイテムの説明、キーワードおよびカスタムデータの追加を行うことができます。

ファイル名を変更するには：

1. ファイル名を変更オプションを有効にします。
2. 3つのドロップダウンメニューを使用して、名前指定の方式を選択します。使用可能な名前指定のオプションは以下のとおりです：
  - テキスト：最大 31 文字の長さで説明的なテキスト文字列を入力します。
  - 連続した番号：任意の番号を入力します。複数のファイルをカタログ化する場合、Portfolio は各ファイルの名前を付けるときに番号を 1 ずつ増やします。たとえば、番号 001 を入力し、3 つの画像をカタログ化すると、それらの名前には 001、002、および 003 という番号が付加されます。
  - オリジナルファイル名：新しい名前にオリジナルファイル名を含めます。
  - なし： ファイル名に特定のスキームを利用しません。

こうしたオプションを任意の順序と組み合わせで適用し、新しい名前の前、中、後を構成することができます。

新しい場所にファイルをコピーまたは移動するには：

1. ファイルをコピーまたは移動するオプションを有効にします。
2. オリジナルファイルのコピーの作成またはオリジナルの移動ラジオボタンのいずれかを選択します。
3. ファイルを配置する新しい場所にナビゲートします。

#### 説明を追加するには：

1. 追加したアイテムにプロパティ（説明、キーワード、フィールド）を設定するオプションを有効にします。
2. 説明タブを選択して、テキストボックスに説明を入力します。

#### キーワードを追加するには：

1. 追加したアイテムにプロパティ（説明、キーワード、フィールド）を設定するオプションを有効にします。
2. キーワードタブをクリックします。
3. テキストボックスにキーワードを入力して、[ + ]ボタンをクリックすると新しいキーワードがリストに追加されます。  
マスターキーワードリストがある場合は、からマスターキーワードリストから選択して、割り当てをクリックします。

ここに入力したキーワードは、カタログ化するすべてのアイテムに自動的に適用されることに注意してください。

#### カスタムフィールドデータを追加するには：

1. 追加したアイテムにプロパティ（説明、キーワード、フィールド）を設定するオプションを有効にします。
2. フィールドタブをクリックします。
3. 任意のカスタムフィールドの値を選択するには、フィールド名をダブルクリックします
4. カスタムフィールドデータに値を入力して **OK** をクリックします。

## カタログ作成オプションのプリセットを保存する

Portfolio でファイルのカタログを作成する際、実行可能な設定が多数あるため、Portfolio には設定を保存し、後で再利用できる機能が備わっています。

たとえば、レーシングカーに関するプロジェクトがあり、キーワードとして「自動車」および「レース」を追加すると同時に、新しいファイルを特定のプロジェクトディレクトリに移動したいとします。これらのカタログ作成のオプションを保存すると、将来のファイルについて、保存済みの設定内容ドロップダウンメニューからプリセットを選択して、**OK** をクリックするだけで済みます。

保存済みのカタログ作成のオプションは、オートシンクフォルダと連携して用いることもできます。ファイルはユーザーが操作することなく、自動的に移動、キーワード追加、およびカタログ化が可能です。

#### カタログ作成のオプションのプリセットを保存するには：

1. **カタログ > カタログ作成オプション**を選択します。
2. 選択したカタログ作成オプションを入力します。
3. ダイアログボックス上部の**保存**をクリックし、設定を現在のダイアログプリセットに保存します。- または -プルダウンから**別名で保存**をクリックし、オプションを新しいダイアログプリセットに保存します。
4. **OK** をクリックしてカタログ作成オプションダイアログボックスを閉じます。

## カタログ作成オプションのプリセットを使用する

カタログオプションのプリセットは、カタログ作成オプションダイアログボックスでの設定を再使用するための簡単な方法です。カタログ作成のオプションのプリセットは、手動でアイテムをカタログに追加する場合、またはオートシンクフォルダで使用できます。

#### カタログ作成オプションのプリセットを使用するには：

1. アイテムのカタログ作成を通常通り開始します。詳しくは、**カタログへのアイテムの追加** 17 ページのを参照してください。
2. カタログ作成オプションダイアログボックスの一番上にある保存済みの設定内容ドロップダウンメニューから、カタログ作成のオプションのプリセットを選択します。
3. **OK** をクリックします。

## カタログ作成オプションダイアログボックスを隠す

デフォルトでは、カタログ作成オプションダイアログボックスのカタログ作成時にこのダイアログボックスを表示しないオプションをオンにして指定しない限り、ファイルをカタログ化するたびにカタログ作成オプションダイアログボックスが開きます。

カタログ作成オプションのダイアログボックスを隠すには：

1. **カタログ > カタログ作成オプション**を選択します。
2. カタログ作成オプションダイアログボックスで、カタログ作成時にこのダイアログボックスを表示しないオプションを有効にします。
3. **OK** をクリックします。

## プリセットパレット

プリセットパレットにより、カタログ作成オプションのプリセットを使用して、多くの異なったデータファイルを同時に更新できます。これには、キーワード、説明および無制限のカスタムフィールドが含まれます。

手動でアイテムのカタログ作成を行う場合、通常カタログ作成オプションのダイアログボックスが表示されます。プリセットパレットを使用すると、アセットがすでにカタログ化された後からでも、保存済みのカタログ作成オプションをワンクリックで適用できます。これにより大量のメタデータをワンクリックで簡単に更新できます。

プリセットを適用する場合、プロパティの設定オプションのみが使用されていることに注意してください。コピー、移動または名前変更のオプションは無視されます。プリセットが適用される場合、キーワードなどの複数の値を保持できるフィールドへの変更が、アイテムレコードに追加されます。説明などの、1つの値への変更はカタログ内の現在の設定に置き換えられます。

プリセットパレットを表示するには：

- **ウィンドウ > プリセット**の順に選択します。

### 新規プリセットの作成

新規プリセットを作成するには：

1. **Window > プリセット**を選択します。
2. **オプション**をクリックします。
3. カタログ作成オプションダイアログ内で、適用したいプロパティオプションを選択します。

#### 注意：

コピー、移動、ファイル名の変更はプリセットの適用では無視されます。

4. ドロップダウンメニュー（Mac）から別名で保存を選ぶか、**別名で保存**（Windows）をクリックします。
5. プリセットに名前をつけて **OK** をクリックします。
6. **OK** をクリックして、カタログ作成オプションを閉じます。

### プリセットの適用

プリセットを適用するには

- プリセットパレットから、プリセット名をクリックして、ギャラリー内の任意の1つのアイテム、またはハイライトされたアイテムのグループにドラッグします。

—または—

- ギャラリー内の任意の1つのアイテムまたはアイテムのグループをハイライト表示し、プリセット名をハイライト表示して**割り当て**をクリックします。

**OK** をクリックしてプリセットを選択されたアイテムに割り当てます。

#### 警告：

プリセットの割り当ては取り消すことはできません。

# 仮レコード

通常、Portfolio はカタログ化する各デジタルファイルについてエントリ（レコードまたはアイテムともいう）を作成します。しかし、存在しないファイル（まだ受信または作成していないもの）について、Portfolio カタログにアイテムを入力したい場合があります。これを仮レコードといいます。仮レコードは、カタログに含める予定だが実際にはまだ持っていないファイルの代用と考えてください。

仮レコードは Portfolio カタログ内の他のアイテムとまったく同様に動作します。仮レコードにキーワードを割り当てたり、説明を追加したり、検索したりできます。ただ1つ違うのは、仮レコードにはまだ特定のメディアファイルが関連付けられていないということです。将来の任意の時点で、仮レコードをディスク上の実際のファイルに結びつけ、通常の Portfolio カタログアイテムにすることができます。

仮レコードに最終的に結び付けるファイルと同じ名前を付けた場合、Portfolio は仮レコードが更新された際に、自動的にファイルを見つけ、カタログ化することができます。

## 仮レコードの結びつけ

仮レコードをディスク上の実際のファイルに結びつけると、通常の Portfolio カタログアイテムになります。

仮レコードをファイルに結び付けるには：

1. 仮レコードを選択します。
2. **アイテム > 更新**を選択します。または、command + U (Mac) キーを押すか、または Control + U (Win)

キーを押します。または、ツールバーから更新ボタンをクリックします。



3. 仮レコードの名前が結び付けるファイルの名前と完全に一致し、検索するために正しいフォルダを指定した場合、更新コマンドは自動的にアイテムを対応するファイルに結び付けます。Portfolio が現在のディレクトリに、仮レコードと同じ名前を持つファイルを認識できない場合、開くダイアログボックスが開き、必要なファイルを特定できます。必要なファイルを選択し、**開く**をクリックします。

## 仮レコードアイテムの作成

仮レコードを作成するには：

1. カタログ > 仮レコードを作成を選択します。
2. 仮レコードに名前を付けます。アイテムのファイル名フィールドに名前を入力します。可能であれば、これは仮レコードが代用するファイル、つまり最終的に仮レコードを置換するファイルの名前にしておく良いでしょう。これによって後で行われる更新処理がより容易になります。
3. 場所を指定します（オプション）。ディスク上の保存場所オプションをチェックして、仮レコードが代用するファイルを最終的に配置する場所を設定します。ファイルの保存場所が不明な場合は、空白にしておくことができます。保存場所を知っている場合は、この設定によって仮レコードの更新がはるかに容易になります。
4. **OK** をクリックします。新しいアイテムは、カタログ内に「仮レコード」という単語を含むサムネールとともに表示されます。

## カタログ作成の詳細オプション

カタログ作成の詳細オプションは、カタログレベルで適用され、カタログにアイテムを追加するすべてのユーザーに影響します。詳細オプションにより、アイテムのパスからキーワードを作成する、ファイル名に基づいてカタログ作成のためのファイルを選択する、または適切な Portfolio フィールドにメタデータをマッピングするなど、Portfolio の多くのパワフルな機能を制御することができます。

カタログ作成の詳細オプションを設定するには：

1. **カタログ > カタログ作成の詳細オプション**を選択します。
2. 詳細カタログ作成オプションダイアログボックスで、新しい設定を選択します。さまざまなオプションの詳細については、以下の関連トピックを参照してください。
3. **OK** をクリックして、新しい設定を受け入れます。

### パスからのキーワードの作成

Portfolio はファイルをカタログ化する際に、ファイルの名前とディスク上の場所に基づいて各ファイルにキーワードを追加します。Portfolio はこれを行うために、カタログ化される各ファイルの完全パスを調べ、そのパスのすべてまたは一部の単語を抽出してキーワードを作成します。

パスからキーワードを作成するには：

1. **カタログ > カタログ作成の詳細オプション**を選択します。
2. 詳細カタログ作成オプションダイアログボックスで、プロパティタブをクリックします。
3. パスからキーワードを作成オプションを有効にします。
4. ドロップダウンメニューから、オプションを1つ選択します。
  - ファイル名
  - ファイルとフォルダ名
  - パス名
  - パスとボリューム名

このオプションは、キーワードを作成するために使用されるパスの範囲を定めます。

### ドキュメントテキストのインデックス化

書類内のテキストをインデックス化オプションをオンにすると、カタログの作成時に、Portfolio は Adobe PDF (Portable Document Format) ファイルのほか、プレーンテキストの文書をインデックス化します。カタログ化される文書の各英単語はカタログインデックスに保存されるため、高速な検索と取得が可能になります（日本語では利用できません）。

#### **注意：**

テキストのインデックス化をオンにすると、PDF ファイルのカタログ作成が遅くなります。Portfolio を使用して文書を検索する際、PDF ファイル内でのテキスト検索が重要な意味を持つ場合に限り、このオプションをオンにすることを推奨します。

ドキュメントテキストのインデックス化を有効にするには：

1. **カタログ > カタログ作成の詳細オプション**を選択します。
2. 詳細カタログ作成オプションダイアログボックスで、プロパティタブをクリックします。
3. 書類内のテキストをインデックス化オプションを有効にします。

書類内のテキストインデックス化から単語を除外するには：

1. 詳細カタログ作成オプションダイアログボックスのプロパティタブで、除外する単語リストの編集ボタンをクリックします。
2. エントリフィールドに、インデックス化の際に Portfolio が無視する単語を入力します。
3. 追加をクリックします。
4. ステップ2および3を繰り返し、必要な数の単語を除外リストに追加します。
5. OK をクリックします。

## サムネールオプションの設定

サムネールオプションは、カタログ作成の詳細オプションダイアログボックス内のセットです。これらの設定は、カタログ全体に適用され、変更はそのアイテムをカタログに追加するすべてのユーザーに影響します

### 注意：

- Portfolio は可能なファイルからサムネールを生成します。InDesign ドキュメントでは埋め込みサムネールを利用します。
- ビデオサムネールは自動的に Portfolio Server で作成され、利用できる場合はポスターフレームを使うか、またはビデオの中のフレームを使えます。

サムネール作成オプションを変更するには：

1. カタログ > 詳細カタログ作成オプションを選択します。
2. サムネールタブをクリックします。
3. ドロップダウンメニューから、サムネールのサイズを選択します。この設定は、Portfolio によって作成および保存されるサムネールのサイズ(ピクセル)を、112 x 112 ピクセル、または 256 x 256 ピクセルのいずれかで定めます。
4. カタログ化作業を高速で行うオプションを有効にして、2段階に分けてファイルのカタログ作成を行います。このオプションにより、カタログ作成の1段階の操作が終了したら、カタログ作成されたファイルの表示および操作をより速く行うことが可能になります。高速カタログ作成についての詳細は、[カタログへのアイテムの追加](#) 17 ページのを参照してください。

## InDesign ドキュメントのサムネール

Portfolio では Adobe InDesign ファイルのサムネールを作成することができませんが、InDesign ドキュメント内のプレビューサムネールを利用することができます。

Adobe InDesign でプレビューを保存するには：

1. InDesign > 環境設定 > ファイル管理 (Mac) または編集 > 環境設定 > ファイル管理 (Windows) を選択します。
2. ドキュメントのプレビュー画像を常に保存にチェックをかけます。
3. プレビューを作成するページをページポップアップメニューから指定します。
4. プレビューのサイズポップアップメニューで特大 1024 x 1024 を選びます。  
これで Portfolio は、サムネールとプレビューとしてこの画像を使用します。プレビューサイズを大きくしておくことで、大きいサイズのプレビューが可能になります。
5. OK をクリックします。

## ファイルタイプを含めるまたは除外する

Portfolio は事実上、デジタルファイルのすべてのタイプをカタログ化することができ、デフォルトですべてのファイルタイプについてカタログ作成するように設定されます。ただし、Portfolio が特定のファイルタイプ (JPEG または TIFF ファイルなど) のみをカタログ化する、または特定のファイルタイプを無視する (カタログに登録しない) ようにしたい場合、そうした制限を詳細カタログ作成オプションダイアログボックスのファイルタイプパネルで設定できます。



特定のファイルタイプをカタログ作成から除外するには：

1. **カタログ > カタログ作成の詳細オプション**を選択します。
2. 詳細カタログ作成オプションダイアログボックスのファイルタイプタブで、以下のファイルタイプのみをカタログ化を選択します。
3. ファイルタイプリストで、Portfolio のカタログに登録したくない各ファイルタイプの横のチェックマークを外します。

### ファイルタイプの除外リストの更新

ファイルタイプのリストを使って、カタログに登録するファイルタイプを選択することができます。ファイルタイプに関わらずすべてのファイルをカタログに登録するか、特定のファイルタイプだけを登録するのを選ぶことができます。

ファイルタイプリストには、一般的なファイル形式が多く含まれています。もし新しいファイルタイプや、古いファイルタイプでこのリストに無い場合は、ファイルタイプを追加します。

含める/除外するファイルのリストにファイルタイプを追加するには：

1. **カタログ > カタログ作成の詳細オプション**を選択します。
2. **ファイルタイプタブ**をクリックします。
3. **追加ボタン**をクリックします。
4. ファイルタイプの情報を入力するか、**ファイル選択**をクリックして同じタイプのファイルを指定します。Portfolio はこのファイルタイプのパラメータをフィールドにコピーします。  
**Macintosh ユーザー**：Mac ファイルタイプフィールドは古いアプリケーションで利用します。このフィールドは空欄にしておきます。
5. ファイルタイプの環境設定を保存する場所を選択します。
  - 環境設定ファイルに保存（Windows の場合ローカルに保存）：アイテムをカタログに追加する他の Portfolio ユーザーに影響しません。
  - カタログ内に保存：このカタログのすべてのユーザーは、カタログ作成時にこの設定になります。
6. **OK** をクリックして、このファイルタイプをリストに追加します。

### ファイルをファイル名によって除外

特定のファイル名またはパターンを指定する「除外」リストを作成することにより、特定のファイル名を持つファイルを Portfolio が無視するように強制できます。

ファイルをファイル名によって除外するには：

1. **カタログ > カタログ作成の詳細オプション**を選択します。
2. 除外するファイル名タブで、ドロップダウンメニューからファイル検索パラメータを選択します。で始まる、を含む、またはで終わるのいずれかです。
3. カタログ作成から除外したいファイル名または名前の一部を入力します。  
大文字と小文字は区別されません。
4. **追加**をクリックします。Portfolio は各パス名とパスの各セグメントについて、入力したパラメータのいずれかと一致するテキスト文字列を検索します。例：で始まる：DUP およびで終わる：97 と入力すると、Portfolio は Duplicate\_PH050、Report\_97、および C:\Duplicates\Image.jpg を除外します。

## メタデータ設定のマッピング

メタデータ設定ダイアログボックスで、抽出されるメタデータフィールドを定義し、Portfolio によって情報が保存されるカタログ内の正確な場所をマッピングできます。

Portfolio がメタデータをマッピングする方法をコントロールする 2 つの重要なリストがあります。

- メタデータリストは、Portfolio が受け入れることのできるすべてのメタデータフィールドのリストです。
- カタログのフィールドリストは、Portfolio がカタログ内でメタデータを保存できるすべてのデフォルトおよびカスタムフィールドのリストです。

抽出したい各メタデータについて、ダイアログボックスで適切なカタログのフィールドをマッピングする必要があります。デフォルトで、Portfolio は最も一般的なメタデータを抽出し、カタログ内に保存します。

埋め込まれたメタデータを元の JPEG、TIFF ファイルに戻すこともできます。ダイアログボックスのデータの書き込みタブで、任意の Portfolio カタログのフィールドをオリジナルファイル内の XMP または IPTC メタデータフィールドにマッピングできます。

**注意：**

Portfolio 7 カタログでカスタムメタデータフィールドを作成した場合、マッピングの一部を、変換された Portfolio カタログで再作成しなければならないことがあります。

メタデータ設定を開くには、**カタログ > メタデータ設定**を選択します。

### カタログ作成中のメタデータの抽出

デジタルカメラ、ソフトウェア、その他のデバイスの多くは、ファイルを作成するときに固有の情報をファイルに埋め込みます。たとえば、デジタルカメラは通常、しぼり、シャッター速度、撮影日などの EXIF データを埋め込みます。Portfolio は埋め込まれている EXIF、XMP、IPTC、および TIFF メタデータを自動的に検出および抽出し、カタログに追加することができるため、情報を手動で再入力する手間が省けます。Portfolio は JPEG および TIFF ファイルからメタデータを抽出できます。

デフォルトで、Portfolio は埋め込まれたメタデータを広範囲に抽出できますが、メタデータフィールドをさらに拡張し、Portfolio が情報を保存するカタログ内の場所を選択することができます。設定ボタンをクリックし、メタデータ設定ダイアログボックスを開きます。

メタデータの抽出を埋め込むには：

1. カタログ作成オプションダイアログボックスで、**詳細**ボタンをクリックします。
2. 詳細カタログ作成オプションダイアログボックスで、**プロパティ**タブをクリックします。
3. メタデータの抽出オプションを有効にします。
4. Portfolio がメタデータをカタログ内で保存する場所を構成するには、**設定**ボタンをクリックします。これにより、ファイルのメタデータが Portfolio フィールドにマップされる、メタデータ設定ダイアログボックスが開きます。マップの構成が終了したら、**OK** をクリックします。
5. **OK** をクリックして詳細カタログ作成オプションダイアログボックスを閉じます。

### 新しいメタデータフィールドの追加

**注意：**

最もよく使われるメタデータフィールドは、既にメタデータリスト内に定義されています。ほとんどのユーザーは現在のフィールドを使用で十分で、リストに新しいメタデータフィールドを追加する必要はありません。

メタデータリストに新しいメタデータフィールドを追加するには：

1. **メタデータ設定**を選択します。
2. メタデータ設定ダイアログボックスで、**メタデータの編集**をクリックします。
3. メタデータの編集ダイアログで**新規**をクリックします。
4. 新しいメタデータ名とメタデータコードを入力します。  
新しいメタデータ名とメタデータコードを入力します。メタデータ名はデータを適切に説明する任意のテキストを指定できますが、メタデータコードはファイル内のコードと全く同じである必要があります。このコードは通常、ファイルを作成したデバイスのメーカーから取得できます。こうしたコードの多くはインターネット上ですぐに見つけることもできます。

**注意：**

IPTC コードは Portfolio が認識できるように変換する必要があります。IPTC コードがコロンで区切られた 2 つの数から構成されている場合、(最初の数 \* 256) + 2 番目の数 = Portfolio メタデータコードという式を用いて入力するコードを取得します。

5. **OK** をクリックして、変更をメタデータリストに保存します。

## メタデータマッピングの更新

Portfolio が特定のメタデータを保存する場所を変更するには：

1. **カタログ > メタデータ設定**を選択します。
2. メタデータ設定ダイアログのデータの取り込みタブをクリックします。
3. 特定の抽出するメタデータフィールドをクリックしてハイライト表示します
4. ダイアログの右側で、対応するカタログフィールドをクリックして変更します。

## メタデータの抽出

ファイルのカタログ作成の際にメタデータ抽出を有効にしていなかった場合、後でメタデータを抽出できます。

カタログ化されたファイルからメタデータを抽出するには：

1. いずれかのギャラリーで処理対象のファイルをクリックしてハイライト表示します。
2. **アイテム > プロパティの抽出**を選択します。これにより、メタデータ設定ダイアログボックスでマッピングされたメタデータが適切な Portfolio フィールドに抽出されます。

## メタデータの埋め込み

Portfolio は、メタデータおよびその他の情報をファイルに埋め戻すこともできます。このため、正しくキーワードおよびタグ設定されたファイルに対する作業を失うことはありません。

### 注意：

最新のサポートファイル形式の一覧は Extensis ウェブサイト

(<http://www.extensis.com/downloads/documents/supported-file-formats-camera-models/>) で確認してください。

メタデータを埋め込むには：

1. いずれかのギャラリーで処理対象のファイルをクリックしてハイライト表示します。
2. **アイテム > プロパティの書き込み**を順に選択します。これにより、メタデータ設定ダイアログボックスでマッピングされたメタデータが、オリジナルファイル内の適切な場所に埋め込まれます。

# ギャラリー




ギャラリーには、カタログ内のすべてのアイテム、またはそのサブセットを表示できます。たとえば、カタログ内に 5,000 個の画像があるとして、Portfolio の検索機能を使用すると、「海」というキーワードでタグ付けされたすべての画像を見つけて、一致する 135 個の画像を探し出すことができます。この場合、カタログには 5,000 個の画像が含まれますが、ギャラリーに含まれるのは 135 個の画像です。

ギャラリーは、カタログ内の特定のファイルのみを整理および表示するのに適した方法です。例えば写真家の場合、作品全体を含むカタログを作成し、あるギャラリーではポートレート写真のみを表示し、別のギャラリーには風景写真のみを含めることができます。

各アイテムがギャラリー内でどのように表示されるかについては、表示によって定義します。表示の設定方法については、[表示 34 ページ](#)のを参照してください。

## デフォルトのギャラリー

ギャラリーには、メインウィンドウのギャラリーパレットからアクセスします。すべてのカタログにおいて、3 つのデフォルトのギャラリーがあり、検索結果、最新登録アイテム、およびすべてのアイテムが含まれます。

- すべてのアイテムギャラリー  には、カタログのすべてのアイテムが表示されます。
- 検索結果のギャラリー  には、もっとも最近の検索結果が表示されます。
- 最新登録アイテムギャラリー  には、最後にカタログ化したファイルが表示されます。Portfolio Server の共有カタログについて、Portfolio は現在のユーザーがカタログ化したファイルのみをカタログ内に表示します。

ギャラリー名を一度クリックするだけでギャラリーが開き、メインウィンドウに表示されます。名前をダブルクリックすると、Macintosh の場合、完全に新しいウィンドウ内にギャラリーが開きます。Windows の場合、ダブルクリックするとメインウィンドウ内にギャラリーが開きますが、メインウィンドウ内の他のギャラリーのタブをクリックすることで、開いている他のギャラリーにもアクセスできます。




### 注意：

環境設定ダイアログボックスの一般タブでユーザー名を設定しない場合、Portfolio は最新登録アイテムギャラリー内の、日付が最新であるすべてのファイルを表示します。


## 標準のギャラリー

デフォルトのギャラリーに加えて、カタログ内に自動的に保存されるギャラリーを作成できます。標準のギャラリーの作成方法については、[新しいギャラリーの作成 29 ページ](#)のを参照してください。


## 公開、非公開、読み取り専用の設定

ギャラリーを作成すると公開ギャラリー  となり、ウェブクライアントユーザーを含む、カタログのすべてのユーザーが利用できます。ギャラリーアクセス設定を指定して、ギャラリーを非公開ギャラリー  用として自分だけが見れるようにしたり、または読み取り専用ギャラリー  にすることができます。ギャラリーのアクセスレベルを変更する方法については、[ギャラリーを公開または非公開に設定 33 ページ](#)のを参照してください。


## 一時ギャラリー

一時ギャラリーと呼ばれる、ファイルの一時的な収集を作成することもできます。  これらのギャラリーは自動的にカタログに保存されず、本来一時的なギャラリーとして存在します。カタログを閉じる場合、任意の一時ギャラリーの保存を促され、保存すれば標準のギャラリーに変換されます。一時ギャラリーの作成および使用方法については、[一時ギャラリー 30 ページ](#)のを参照してください。

# スマートギャラリー

スマートギャラリーが開くと、 Portfolio は自動的に Portfolio のカタログを検索して、表示する適切なファイルを選択します。スマートギャラリーは任意のアイテムのプロパティに基づいてファイルを検索および選択するように構成できます。スマートギャラリーを作成して使用する場合、詳細は [スマートギャラリーの作成](#) 32 ページのを参照してください。

## 新しいウィンドウでギャラリーを開く (Mac のみ)

Portfolio の Macintosh のバージョンでは、ギャラリーパネルにおける追加のボタンが使用できます。このボタン  は、選択したギャラリーを新しいウィンドウですぐに開きます。

## ギャラリーアイコンの参照


	すべてのアイテムギャラリー		最新登録アイテムギャラリー
	標準のギャラリー		スマートギャラリー
	非公開ギャラリー		非公開のスマートギャラリー
	読み取り専用ギャラリー		読み取り専用のスマートギャラリー
	一時ギャラリー		検索結果ギャラリー

## 新しいギャラリーの作成

### 注意：

複数のギャラリーを作成しても、カタログ内のアイテムの数は増えません。ギャラリーは、カタログ内の一部のアイテムだけをまとめて表示するものです。

新しいギャラリーを作成するには：

1. **ギャラリー** > **新規**を選択するか、Command + G (Mac)、または Ctrl + G (Win) を押します。または、ギャラリーパレットで、新規ボタンをクリックします。 
2. Mac の場合はダイアログボックスで名前を入力し、**OK** をクリックします。Windows の場合は、「ギャラリー」パレットで名前を入力し、**ENTER** キーを押します。

### 注意：

標準のギャラリーは自動的に保存されます。ギャラリーを保存する必要があるのは、「一時」ギャラリーを残しておきたい場合だけです。一時ギャラリーを保存するには、**ギャラリー** > **別名で保存**を選択してください。

# ギャラリーへのアイテムの追加

ギャラリーにアイテムを追加するには：


- サムネールを別のギャラリーから新しいギャラリーにドラッグします。
- 編集 > コピーコマンドまたは編集 > ペーストコマンドを使用し、サムネールを別のギャラリーからコピーして新しいギャラリーに貼り付けます。
- 編集メニューのカットコマンドおよびペーストコマンドを使用し、アイテムを別のギャラリーから切り取って新しいギャラリーに移動します（アイテムをギャラリーから切り取ってもカタログから削除されないことに注意してください。現在のギャラリーから削除されるだけです）。
- 特定のキーワードを含むアイテムなど、アイテムの選択されたセットについて検索を実行します。ギャラリー > 別名で保存を選択し、検索結果を含む新しいギャラリーを作成します。

## 一時ギャラリー

標準のギャラリーとは異なり、一時ギャラリーは、カタログ内に自動的に保存されません。この特殊なギャラリーは、ファイルを一時的に収集しておく場所として使用します。発行者または管理者としてログインしている場合は、一時ギャラリーを保存して、標準のギャラリーに変換することができます。その他の点では、標準のギャラリーとまったく同じです。一時ギャラリーを保存しないで Portfolio を閉じようとすると、警告メッセージが表示されます。

## 新しい一時ギャラリーの作成

新しい一時ギャラリーを作成するには：

- ギャラリーパレットで、新規一時ギャラリーボタン  をクリックします。
- ギャラリー > 新規一時ギャラリーを選択します。
- 検索結果ギャラリーを右クリックして、メニューから新規一時ギャラリーを選択してクイック検索または検索の結果を新しい一時ギャラリーに保存します。
- 任意の選択されたアイテムを選択して、右クリックして、メニューから一時ギャラリーの作成を選択します。選択されたアイテムが新しい一時ギャラリーに追加されます。

## 一時ギャラリーの保存

一時ギャラリーは、保存することにより通常のギャラリーに変換できます。一時ギャラリーを保存するには、発行者または管理者レベルのアクセス権が必要です。


ギャラリーパレットで、一時ギャラリーを選択して、以下のいずれかを実行します：

- Command + S (Mac) または Ctrl + S (Win) を押します。
- または、一時ギャラリーを右クリックして、メニューから別名で保存を選択します。
- ギャラリー > 別名で保存を選択します。

## ギャラリーからのアイテムの削除

アイテムがギャラリーから削除される場合、現在のギャラリーから削除されるだけで、カタログからは削除されません。ある画像セットのギャラリーを作成し、他の画像とともに表示したくない画像が含まれていることに気が付いた場合、ギャラリー内の不要な画像を単純に削除します。

カタログから削除せずに、ギャラリーからアイテムを削除するには、削除するアイテムを選択して、以下のいずれかを行います：

- ツールバーの削除  ボタンをクリックします。ダイアログボックスでギャラリーから削除オプションを選択し、OK をクリックします。
- アイテム > 削除を選択します。削除を確認するダイアログが表示されたら、ギャラリーから削除を選択してから OK をクリックします。

## ギャラリーの並べ替え

ファイルを並べ替えるには、各ギャラリーの1番上（メインツールバーのすぐ下）のステータスバーの右上隅にある、並べ替えメニューを使います。デフォルトでは、このメニューにはソートなしと表示されています。現在のギャラリーで使用する並べ替え基準をこのメニューから選択してください。デフォルトではギャラリー内のアイテムは、カタログ化された順番に並べられています。

並べ替えメニューを用いてギャラリーを並べ替えた後も、メニューには並べ替え時に使われたフィールド名が表示されているので、アイテムの並び順の基準が一目で分かります。また、アイテムをドラッグして自由にアイテムの順序を変えると、並べ替えメニューにはカスタムと表示されます。

## ギャラリーの自動的な並べ替え

Portfolio データベース内の任意のフィールド名に基づいて、ギャラリーを自動的に並べ替えることができます。

### 注意：

デフォルトの並べ替えを設定すると、ギャラリーの右上隅にある並べ替えメニューが上書きされます。

ギャラリーを自動的に並べ替えるには：

1. 並べ替えるギャラリーを開きます。
2. **ギャラリー** > **設定**を選択します。
3. 並べ替えグループボックスで、カタログを開いたときにギャラリーをソートするオプションをチェックします。
4. ドロップダウンメニューから使用するフィールドと、並べ替えの方向を選択します。
5. **OK** をクリックします。このギャラリーを最初に開くとき、アイテムは指定された並べ替え順序で自動的に並べ替えられます。ドロップダウンメニューから新しい並べ替え方法を選択するまで、アイテムは割り当てられた方法で並べ替えたままになります。

## ギャラリーの並べ替えのカスタマイズ

ギャラリーは、ギャラリー内でファイルをクリックしてドラッグすることにより、どのような順序にでも並べ替えることができます。この方法でギャラリーを並べ替えると、「カスタム」という並べ替え順が作成されます。通常のギャラリーおよびスマートギャラリーでは、自動的にカスタムの並べ替え順序が保存されます。

カスタムの並べ替え順序はカタログレベルで適用されます。ギャラリーのカスタムの並べ替え順序が複数のユーザーによって同時に変更される場合、カタログを開いた最後のユーザーの並べ替え順序が適用されます。またそれ以外のユーザーは、次にカタログを開いたときに、新しい並べ替え順序を確認することができます。

### 注意：

カスタムのギャラリーの並べ替えは、ウェブクライアントユーザーが確認することはできません。

カスタムの並べ替え順序をギャラリーに適用するには：

1. 並べ替えるギャラリーを開きます。
2. ファイルをクリックして新しい並べ替え順序にドラッグします。

### 注意：

カスタムの並べ替え順序を自動的に保存するには、「ギャラリーの設定」で「カタログを開いたときにギャラリーをソートする」オプションをチェックしないでください。このダイアログボックスを表示するには**ギャラリー** > **設定**を選択します。


## 起動時にギャラリーを開く

起動時にギャラリーが開くように設定するには：

1. 選択したギャラリーを開きます。
2. **ギャラリー > 設定**を選択します。
3. ギャラリーの設定ダイアログボックスで、カタログを開くときにこのギャラリーを開くオプションを有効にします。
4. **OK** をクリックします。このカタログが開くときは常に指定されたギャラリーが自動的に開きます。

## ギャラリーの削除

ギャラリーを削除するには：

1. ギャラリー名を右クリックし、メニューからギャラリーを削除を選択します。  
または、ギャラリーパレットで、ギャラリー名を選択して、ギャラリーを削除ボタン  をクリックします。
2. **OK** をクリックすると、ギャラリーが削除されます。

## ギャラリーの名前変更

ギャラリーの名前を変更するには：


1. ギャラリーパレットで、ギャラリー名をクリックしてハイライト表示します。
2. Macintosh の Finder または Windows エクスプローラ内の操作と同様に、ハイライト表示されているギャラリー名を再度クリックし、ギャラリー名を編集します。

## ギャラリーのコピー

ギャラリーをコピーするには：

1. ギャラリーパレットで、ギャラリー名をクリックしてハイライト表示します。
2. **ギャラリー > 別名で保存**を選択します。
3. 新しいギャラリー名を入力し、**OK** をクリックします。新しいギャラリーはギャラリーリストに追加され、前のギャラリーと同じすべてのアイテムを含みます。

## スマートギャラリーの作成

スマートギャラリー  とは、選択されるたびに保存した検索方法を自動的に実行するギャラリーのことです。

新しいスマートギャラリーを作成するには：

1. **編集 > 検索 > 検索**を選択するか (Mac) 、または **カタログ > 検索**を選択し (Win) 、検索ダイアログボックスを開きます。
2. 検索条件を入力します。この検索条件は、スマートギャラリーが選択されるたびに検索に使用されます。
3. 保存済みの検索方法から**スマートギャラリー**として**保存**を選択します。
4. スマートギャラリーの名前を入力し、**OK** をクリックします。

以上で、Portfolioによって新しいスマートギャラリーが作成されます。スマートギャラリーが開くたびに、上記の手順3で指定した保存済みの検索方法の検索条件に基づき、アイテムが検索および選択されます。

### 注意：

スマートギャラリーと保存済みの検索方法には、同じ名前が使用されます。



標準のギャラリーをスマートギャラリーに変更するには：

1. 選択したギャラリーを開きます。
2. **ギャラリー > ギャラリーの設定**を選択します。
3. ギャラリーの設定ダイアログボックスで、スマートギャラリーオプションを有効にします。
4. ドロップダウンメニューから、保存済みの検索方法を選択します。
5. **OK** をクリックします。

スマートギャラリーが選択されるたびに、上記の手順 4 で指定した保存済みの検索方法の検索条件に基づき、アイテムが検索および選択されます。

## ギャラリーを公開または非公開に設定

多くの人々が1つのカタログにアクセスする場合、ひとりのユーザーがアクセスするカタログにギャラリーを作成すると役立ちます。Portfolio の公開および非公開の設定機能を使用して、ギャラリーを保護して自分だけが見られるようにしたり、または非公開のギャラリーであっても読み取り専用を設定し、自分だけが変更を加えるように設定できます。

個人のギャラリーは1人のユーザーによって管理されるため、共有または非公開にギャラリーを指定するには、ユーザー単位のアクセスで構成されるカタログで作業する必要があります。カタログを開く際にユーザー名およびパスワードが要求される場合、ユーザーのカタログはユーザーベースのアクセスに設定されます。ユーザー単位のパスワードにカタログを設定するには、ユーザー単位のパスワードの設定を参照してください。

非公開のギャラリーは、ギャラリーのアイコンに「目」が付いています。👁️👤

読み取り専用のギャラリーは、ギャラリーのアイコンが「ロック」されています。🔒👤

ギャラリーのプライバシー設定を変更するには：

1. **ギャラリー > アクセス権**を選択します。または、ギャラリーの名前を右クリックして、メニューからアクセス権を選択します。
2. ダイアログボックスで、公開ギャラリーまたは非公開ギャラリーラジオボタンのいずれかを選択して、アクセスレベルを指定します。
3. ギャラリーを共有にする場合、ギャラリーを閲覧専用にして自分だけが変更を加えるように設定することもできます。これを行うには、読み取り専用ギャラリーオプションを有効にします。
4. **OK** をクリックして、新しいギャラリーアクセス設定を適用します。

ギャラリーの管理者を変更するには：

### 注意：

ギャラリーのオーナーシップを変更するには、現在ギャラリーを管理しているか、または管理者としてログインする必要があります。ギャラリーの新しい管理者は、カタログへのユーザー単位のログイン名およびパスワードをすでに持っている必要があります。

1. **ギャラリー > アクセス権**を選択します。または、ギャラリーの名前を右クリックして、メニューからアクセス権を選択します。
2. ダイアログボックスで、ドロップダウンメニューから新しいユーザーを選択します。
3. **OK** をクリックして、新しいギャラリーアクセス設定を適用します。

# 表示

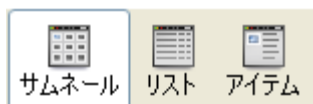
1つのカタログには複数のギャラリーを含むことができ、各ギャラリーは保存されている多数の異なる表示方法を使用して表示できます。背景色、フォント、フォント色、サムネイルサイズ、グリッドの間隔、フィールドデータといった表示属性の定義や、こうした設定の保存済みの表示への保存を簡単に行うことができます。

Portfolioには3つの主な表示の「タイプ」があります。それぞれのタイプはカスタマイズ可能で、独自に保存済みの表示の任意の数を作成できます。表示タイプを選択後、カスタマイズして保存済みの表示に保存します。その後、その表示を任意のギャラリーに適用できます。

3つの表示は、ツールバーの表示ボタンからすぐに使用できます。




Macintosh 表示ボタン



Windows 表示ボタン

## サムネイル表示


Portfolioのデフォルトの表示であるサムネイル表示は、小さなサムネイルサイズのプレビューで構成される調整可能なグリッドにカタログ化されたアイテムを表示します。カタログ化された各アイテムに関する情報は、各サムネイルの下に表示されます。

ツールバーの  サムネイル表示ボタンをクリックするか、command + T (Mac)、または Ctrl + T (Win) を押すことにより、サムネイル表示に切り替えることができます。

任意の Portfolio フィールドの内容をサムネイルの下に表示することを選択できます。**表示 > 表示設定** コマンドを選択し、4つの異なるサムネイルサイズからの選択や、表示するフォント、サイズ、形式、およびデータフィールドの選択を行います。

## リスト表示


リスト表示では、Portfolio カタログに保存してある情報がスプレッドシートのようなリスト形式で表示されます。デフォルトで、ファイル名、ファイルサイズ、変更時刻、ディレクトリのパスが一覧表示されますが、このフィールドセットは**表示 > 表示設定** コマンドを選択して編集できます。そこでは、リストの列に表示する詳細なフィールド情報を指定できます。

リスト表示に切り替えるには、ツールバーのリスト表示ボタン  をクリックするか、command + L (Mac)、または Ctrl + L (Win) キーを押します。

## アイテム表示


アイテム表示では、カタログ化された各アイテムと、それに関連付けられている並べ替え済みのデータを表示できます。この表示では、たとえば、ファイルに関連付けられたすべてのキーワードのリストを確認したり、説明の全体と入力したその他のカスタムフィールドデータを合わせて表示したりできます。各アイテムのプロパティを1つずつ開いて表示するのではなく、アイテムのセットに関する多くの詳細情報にアクセスするときにアイテム表示を選択します。

**表示 > 表示設定** コマンドを使用して、アイテム表示のフォント、色、サムネイルサイズなどをカスタマイズすることもできます。

ツールバーのアイテム表示ボタン  をクリックするか、command + R (Mac)、または Ctrl + R (Win) キーを押すことにより、サムネイル表示に切り替えることができます。

# ギャラリー表示のカスタマイズ

サムネール表示、リスト表示、アイテム表示をカスタマイズするには

- ツールバーの表示設定ボタン  を押しします。
- Command + D (Mac) または Ctrl + D (Win) を押しします。
- **表示 > 表示設定** を選択します。

3つの表示タイプ(サムネール、リスト、アイテム)のすべてにおいて、画面上に表示する正確なデータフィールドとフィールド形式を選択できます。そうしたフィールドが表示される順序も指定できます。

表示設定ダイアログボックス内のフィールドのスクロールリストから表示に含めるフィールドを単純にチェックします。


## フィールド表示のカスタマイズ

### フィールド表示


3つの表示タイプ(サムネール、リスト、アイテム)のすべてにおいて、画面上に表示する正確なデータフィールドとフィールド形式を選択できます。そうしたフィールドが表示される順序も指定できます。

説明やキーワードなど、一部のフィールドは複数行のテキストから構成されている場合があります。アイテム表示をカスタマイズするとき、画面上にスクロールなしで表示されるテキストの行数をコントロールできます。

フィールドを表示/非表示にするには：


1. **表示 > 表示設定** を選択します。または、Command + D (Mac) または Ctrl + D (Win) を押しします。または、  
ツールバーの表示設定ボタン  を押しします。
2. 表示設定ダイアログボックスの表示するフィールドリストで、表示するフィールドを選択します。各フィールド名の左側のチェックマークは、フィールドがアクティブであることを示します。チェックマーク列をクリックすると、フィールドのオンとオフが切り替わります。

フィールドの順序を変更するには：

1. **表示 > 表示設定** を選択します。または、Command + D (Mac) または Ctrl + D (Win) を押しします。または、  
ツールバーの表示設定ボタン  を押しします。
2. 表示設定ダイアログボックスの表示するフィールドリストで、リストのフィールド名をクリックして、要望の順番にドラッグします。

フィールド形式を変更するには：

各フィールドのフォントタイプ、サイズ、およびフィールド名を選択できます。各フィールドは独自の形式を持つことができるので、表示設定を柔軟に行うことができます。

1. **表示 > 表示設定** を選択します。または、Command + D (Mac) または Ctrl + D (Win) を押しします。または、  
ツールバーの表示設定ボタン  を押しします。
2. 表示設定ダイアログボックスの表示するフィールド内で、ドロップダウンメニューから、フォント、フォントサイズおよびタイプを選択します。
3. フィールド名を表示するには、フィールド名を表示オプションを有効にします。

# サムネールオプション

## サムネールオプションのカスタマイズ

(サムネール表示とアイテム表示でのみ使用可能)

32 ピクセル x 32 ピクセルから 256 ピクセル x 256 ピクセルまでの、4 つの異なる標準サイズから選択します。Portfolio はファイルの最初のカタログ作成で生成したサムネールより大きなサムネールを表示できないことに注意してください。デフォルトで、Portfolio は 112 x 112 ピクセルのサムネールを生成するので、カタログで 256 x 256 のサムネールを表示する場合は、前の章の説明に従ってアイテムがカタログ化される前に、カタログ作成の詳細オプションダイアログボックスでサムネールサイズをより大きく設定する必要があります。

すでにカタログ化されているアイテムに対して、より大きなサムネールを作成するには、カタログ作成の詳細オプション (カタログ > 詳細オプション) を設定した後、アイテム > サムネールの再作成を選択し、Portfolio が新規サムネールを作成するように強制します。

## カスタムサムネールフレームの作成

各サムネールの周囲にグラフィックな枠、つまりフレームを適用し、Portfolio カタログに独自の外観を与えることができます。フレームを適用するには、フレームドロップダウンメニューから定義済みのフレームのうちいずれかを選択します。任意のグラフィックアプリケーションを使用して、独自のフレームを作成することもできます。

PICT、TIFF、または BMP ファイルなど、任意のビットマップ画像からカスタムフレームを作成できます。Photoshop などのグラフィックソフトウェアでフレームを作成後、フレームを Portfolio に単純にコピーおよび貼り付けし、カスタム表示に適用します。

カスタムフレームを追加するには：

1. グラフィックアプリケーションでフレームを作成します。サムネールの周囲にぴったり合ったフレームを作成するには、次の表に示すピクセル寸法に従います：

サムネールサイズ	フレームサイズ
32 x 32	40 x 40
64 x 64	80 x 80
112 x 112	140 x 140
256 x 256	320 x 320

2. フレームの透過色を設定します。Portfolio はフレーム画像の中央のピクセルを認識し、それを指定された透過色として設定します。中央のピクセルと同じ色のフレーム部分は透明になります。このため、背景色の一部が透けて見えるフレームを作成できます。背景色がフレームのどの部分でも透けて見えないようにする場合は、中央のピクセルをフレーム設計の他のどの場所でも使用されていない色に設定してください。
3. 完成したフレーム画像をグラフィックソフトウェアのクリップボードにコピーします。フレーム画像を Photoshop などの、レイヤーを扱えるソフトウェアで作成した場合は、必ず最終画像のレイヤーを統合し、単一レイヤーだけではなく、画像全体をコピーしてください。
4. 新規フレームを Portfolio に貼り付けます。「表示設定」ダイアログボックスが開いていない場合は開き (Mac OS X では Command-D、Windows では Ctrl-D)、フレームドロップダウンメニューから編集を選択します。新規をクリックして、フレームの設定ダイアログボックスを開きます。次に、ペーストをクリックして、フレーム画像を貼り付けます。また、画像編集ソフトウェアからフレーム画像を標準の PICT、TIFF、または BMP ファイルとして保存した後、フレームの設定ダイアログボックスのインポートボタンを使用してフレームを Portfolio にインポートすることもできます。
5. フレームに名前を付けて保存します。フレームの名前フィールドに名前を入力し、保存をクリックします。フレームリストで OK をクリックし、ギャラリーの設定ダイアログボックスに戻ります。
6. フレームを表示に適用します。フレームメニューから新しく保存したフレームを選択し、適用をクリックします。

## 新しいデフォルトフレームをカタログに追加する

Portfolio Server でカタログを作成した際に、デフォルトのサムネイルフレームがカタログに追加されます。デフォルトのサムネイルフレームはすべてサーバー上の以下の場所にあります：

Macintosh servers: Applications/Extensis/Portfolio Server/data/catalog-settings/English/borders/¥


Windows servers: \Program Files\Extensis\Portfolio Server\data\catalog-settings\English\borders\

あなたの作成したフレームをデフォルトに追加して、すべての新規カタログ内で利用できるようにするには、作成した画像ファイルを上記の場所に入れてください。フレームのファイルフォーマットは、それぞれのプラットフォーム用に特定のファイルである必要があります。フレームファイルは Windows では GIF ファイル形式、Macintosh は JPG ファイル形式で保存してください。

## サムネイルのフレームのコピーおよび貼り付け

ある Portfolio カタログから別のカタログへカスタムフレームをコピーすることができ、お気に入りのフレームを新規カタログに転送できます。

フレームを別のカタログにコピーするには：

1. ツールバーの表示設定  をクリックするか、Command-D (Mac) または Ctrl-D (Windows) を押します。または表示 > 表示設定を選択します。
2. 表示設定ダイアログボックスの表示するフィールドリストで、フレームドロップダウンメニューから編集を選択します。
3. フレームダイアログボックスに一覧表示される保存済みのフレームからコピーするフレームを選択します。編集をクリックします。
4. フレームの設定ダイアログボックスでコピーをクリックし、フレーム画像をクリップボードに転送します。
5. フレームを貼付けます。フレームを別のカタログに貼り付けるか、画像編集ソフトウェアに貼り付けて修正することができます。

## 保存した表示

### カスタム表示の保存

フォント、背景色、フレームの変更や、さまざまなフィールドの表示、非表示など、表示のカスタマイズを行った後、こうしたすべての属性を保存済みの表示として保存できます。その後いつでも、「保存済みの表示」メニューを使用して、この表示をカタログ内の任意のギャラリーに適用できます。Portfolio のデフォルトのカタログ構成の一部として、あらかじめ定義されたいくつかの保存済みの表示が含まれています。「保存済み表示」メニューは、メインウィンドウの右上、「並べ替え」メニューの左に表示されます。



表示を保存するには：

1. **表示 > 表示設定**を選択するか、または Command + D (Mac) 、または Ctrl + D (Win) キーを押します。
2. 必要な表示を設定して、その設定を現在のギャラリーウィンドウに適用します。
3. ギャラリーウィンドウの上部に表示されるステータスバーの並べ替えメニューの左側で、デフォルト表示ドロップダウンメニューから名前を付けて保存（または別名で保存）を選択します。
4. 表示に名前を付けて、**OK** をクリックします。
5. 保存した表示の名前がデフォルト表示メニューに表示されます。

## 保存済みの表示の名前変更または削除

保存済みの表示の名前変更または削除を行うには：

1. デフォルト表示メニューからリストを編集を選択します。
2. 名前変更または削除する表示をリストから選択し、**名前変更**ボタンまたは**削除**ボタンをクリックします。

## 保存済みの表示の適用


保存済みの表示を適用するには画面右上、ソートメニューの左に表示されるデフォルト表示メニューから名前を選択します。



## カスタム表示をデフォルトとして保存

現在の表示設定をカタログの新規デフォルト表示として割り当て、カタログで新しいカタログまたはギャラリーが作成されるたびにその表示を使用できます。このように保存済みの設定をデフォルト設定といい、要望に応じてどのようにカスタマイズすることもできます。


現在の表示をデフォルトとして保存するには：

1. **表示 > 表示設定**を選択します。または、Command + D (Mac) または Ctrl + D (Win) を押します。または、  
ツールバーの表示設定ボタン  を押します。
2. 表示設定ダイアログボックスの表示するフィールドリストで、**デフォルトとして保存**ボタン（左下）をクリックします。

### 注意：

デフォルト設定を保存すると、サムネール、リスト、およびアイテムのすべてのタイプに対して保存されます。

デフォルト設定を読み込むには：

1. **表示 > 表示設定**を選択します。または、Command + D (Mac) または Ctrl + D (Win) を押します。または、  
ツールバーの表示設定ボタン  を押します。
2. **デフォルトに戻す**ボタンをクリックします。デフォルト設定が表示設定ダイアログボックスに読み込まれます。
3. **OK** をクリックしてデフォルト設定を適用します。

## 保存済みの表示のエクスポート

保存済みの表示をエクスポートするには：

1. デフォルト表示 のドロップダウンメニュー（各ギャラリーの右上隅にある）から リストの編集を選択します。
2. 保存済みのビューウィンドウから、エクスポートを行う表示を選択します。
3. エクスポートボタンをクリックします。
4. エクスポートされた表示の名前と保存場所を指定します。拡張子が.pvw のファイルとして保存されます。保存をクリックします。

Portfolio Server アプリケーションフォルダ内の保存済みのビューフォルダにある表示は、すべての新しいカタログに自動的に含まれます。

## 保存済みの表示のインポート

Portfolio のインポートとエクスポートの機能を使って、保存済みの表示とサムネールのフレームをカタログからカタログへと転送することができます。

### 注意：

Portfolio Server アプリケーションフォルダの「保存済みのビュー」ディレクトリと「フレーム」ディレクトリにそれぞれ置かれた、保存済みの表示とフレームのファイルは、新しいカタログを作成する際に、自動的に新しいカタログに含まれます。

保存済みの表示をインポートするには：

1. デフォルト表示のドロップダウンメニュー（各ギャラリーの右上隅にある）からリストの編集を選択します。
2. 保存済みのビューウィンドウで、インポートボタンをクリックします。
3. 保存済みのビューフォルダ（Portfolio Server アプリケーションフォルダ内）または表示ファイルをエクスポートした別の場所の、保存済みの表示のファイル（.pvw ファイル形式）を選択します。
4. 完了をクリックします。

# Portfolioによるファイルの管理


Portfolio カタログを作成し、独自のデジタルファイルを保存した後、作業の表示、整理、管理を簡単にする機能が多数用意されています。これには以下のタスクが含まれます。



- 画像、オーディオおよびビデオクリップ、その他の文書をプレビューする
- 各ファイルの詳細情報を取得する
- オリジナルファイルを編集する
- 画像を回転させる
- ファイルを新規ファイル形式にバッチ変換する
- ファイルの名前を変更する
- カタログを最新の状態に維持する
- カタログ化されたファイルを別のソフトウェアに容易にドラッグする
- ギャラリー内の画像を印刷する

## アイテムのプレビュー

Portfolio はカタログに登録されたアイテムのプレビュー画像やメディアプレビュークリップをすばやく作成することができます。これらのプレビューはPortfolio デスクトップクライアントのサムネイルをダブルクリックすることで開くことができます。

アイテムをプレビューしている時に、オリジナルファイルを開くこともできます。プレビュー画像ウィンドウの

上にある**オリジナル画像を表示**  ボタンをクリックします。Portfolio は同じウィンドウ内に直接ファイルを開きます。もしくはコンピュータ内でそのファイルが開けるアプリケーションを使って開きます。

サムネイルに複数ページアイコン  が付いている場合は、複数ページやレイヤーを持っています。Portfolio はプレビュー画像ウィンドウ内で開き、 ボタンを使って別ページや別レイヤーを表示できます。

アイテムをプレビューするには：

- 任意のギャラリーでサムネイルをダブルクリックします。
- アイテムを選択し、Command + Option + I (Mac)、またはCtrl + Shift + I (Win) をクリックします。
- アイテムのプロパティウィンドウでサムネイルをダブルクリックします。
- サムネイルを右クリックして、メニューからプレビューコマンドを選択します。

### 注意：


デフォルトで、Portfolio はサムネイルがダブルクリックされたときにファイルをプレビューしますが、この動作を変更できます。**Portfolio > 環境設定** (Mac)、または**編集 > 環境設定** (Windows) を選択し、一般タブでダブルクリックした結果をプレビューの表示、プロパティの表示、またはオリジナルの編集に設定します。



# アイテムのプロパティの表示と編集

Portfolio は、カタログ化するすべてのファイルに関する非常に詳細な情報を保存します。この情報には、Portfolio そのものがカタログ作成中に収集するデータとして、各ファイルの作成日、ファイルサイズ、画像寸法、ファイルタイプなどが含まれます。また、Portfolio アイテムには、追加可能なメタデータ情報（たとえば説明やキーワード）や、カスタムフィールドを使用して追加できるその他のデータも含まれます。こうした情報はプロパティダイアログボックスに表示されます。

アイテムのプロパティを開くには：

1. サムネールを選択します。
2. ツールバーからプロパティボタンをクリックします 。または、Command + I (Mac) または Alt + Enter (Win) を押します。
3. 概要、キーワード、フィールドの各タブを切り替えて、各ファイルの詳細を表示します。

## プロパティの編集

### 概要

アイテムプロパティダイアログの概要タブでは、アイテム名と説明を編集することができます。アイテム名はカタログ内の名前、登録時はファイル名と同じ名前になっています。ここでアイテム名を変更しても、ディスク上のファイル名には影響ありません。

説明フィールドは特に文字数の制限はありません。しかし説明文を短くしておく方が実際の役に立ちます。アイテムの特徴を記しておくよりも内容を記述するためのフィールドです。

### キーワード

アイテムにキーワードを追加するには、フィールドに入力して[ + ]をクリックします。

カタログでマスターキーワードが用意されていれば、マスターキーワードをクリックしてから、割り当てをクリックします。

アイテムからキーワードを削除するには、リストからキーワードを選択して[ - ]をクリックします。

キーワードをダブルクリックすると、そのキーワードが割り当てられた全てのアイテムを検索します。

### フィールド

フィールドタブでは、ドロップダウンメニューから表示するフィールドのグループを選択できます。

フィールド値を編集するには、リスト内のフィールド名をダブルクリックするか、フィールドを選択してから編集をクリックします。

## アイテムのプロパティナビゲーション

アイテムのプロパティダイアログボックス下部の4つのナビゲーションボタン（最初、次へ、前へ、最後）を使用して、選択したアイテム間を移動できます。このため、アイテムのプロパティウインドウを繰り返し開いたり閉じたりせずに、一連のアイテムに関する情報へのアクセスが簡単になります。

以下のキーボードショートカットを使用して、アイテムのプロパティ内のアイテム間を移動することもできます。

操作	ショートカット
次のアイテムに移動する	Ctrl-右矢印 (Windows) Command-右矢印 (Mac)
前のアイテムに移動する	Ctrl + 左矢印 (Windows) Command + 左矢印 (Mac)
概要、キーワード、フィールドタブを切り替える	Ctrl-Tab (Windows)

# オリジナルファイルの編集

カタログ化されたファイルを編集するために、Portfolio から他の任意のソフトウェアに直接移動できます。

オリジナルファイルを編集するには：

1. 任意の Portfolio ギャラリーで、編集するアイテムを選択します。
2. **アイテム > オリジナル > 編集**の順に選択します。または、Command + E (Mac) または Ctrl + E (Win) を押します。
3. Portfolio はオリジナルファイルを編集するために必要なソフトウェアを起動し、そのプログラムでファイルを開きます。

Portfolio は一般に、特定のファイルタイプを編集するために、最後に使用されたソフトウェアの名前と場所を記憶しています。必要があれば（特定のタイプのファイルを初めて編集しようとしたときなど）、アプリケーションを選択するように要求されます。Portfolio は選択した情報を将来のために記憶します。

## ファイルの移動、コピー、削除

オリジナルファイルの移動、コピー、名前変更、および削除のすべてを Portfolio の中で実行できます。オリジナルファイルで実行するすべてのアクションは、アイテムメニューのオリジナルファイルの操作サブメニューからアクセスできます。

ファイルをコピーするには：

1. 任意の Portfolio ギャラリーで、コピーするアイテムを選択します。
2. **アイテム > オリジナル > コピー**の順に選択します。
3. ダイアログボックスで、コピーされるファイルの宛先フォルダを選択し、**選択** (Mac) または **OK** (Windows) をクリックします。Portfolio は、選択されているファイルを指定されたフォルダにコピーします。オリジナルファイルはそのまま残ります。

ファイルを移動するには：

1. 任意の Portfolio ギャラリーで、移動するアイテムを選択します。
2. **アイテム > オリジナル > 移動**の順に選択します。
3. ダイアログボックスで、移動されるファイルの宛先フォルダを選択し、**選択** (Mac) または **OK** (Windows) をクリックします。Portfolio はオリジナルファイルを指定された新規フォルダの場所に移動し、カタログを更新して、カタログ化されたアイテムの新しい場所を自動的に記録します。

### 注意：

ファイルのコピーはカタログに影響しません。ただし、ファイルを移動すると Portfolio 内で更新され、パスはファイルの新しい場所を指すようになります。

ファイルを削除するには：

1. 任意の Portfolio ギャラリーで、移動するアイテムを選択します。
2. **アイテム > オリジナル > 削除**の順に選択します。
3. 警告ダイアログボックスで、**削除**または**すべて削除**をクリックします。Portfolio はディスクからオリジナルファイルを削除します。

# 画像のバッチ変換

Portfolio は、画像をサポートされているファイル形式から JPEG または TIFF 形式にバッチ変換することができます。ファイルを JPEG 形式または TIFF 形式に変換する場合、画像の解像度、サイズ、カラーモード、ディスク上の場所を変更できるほか、変換されたファイルをディスクに自動的に追加することもできます。

埋め込まれたメタデータは、新しいファイル形式でサポートされる場合、新規ファイルに転送されます。EXIF メタデータの TIFF ファイルへの埋め込みは現在サポートされていません。

## 注意：

すべてのバッチ変換処理は、Portfolio Server によって行われるため、コンピュータによる処理を解消します。よって、Portfolio Server はカタログ作成するすべてのファイルへのアクセスを持っている必要があります。一般的には、ネットワーク共有上にあるファイルを選択してください。

## 画像グループをバッチ変換するには：

1. バッチ変換するアイテムを選択します。個別のサムネールを選択するか、複数のサムネールを選択できます。  
複数のサムネールを選択するには、Command キー (Mac) または Ctrl キー (Win) を押しながら、各選択対象をクリックします。
2. **アイテム > 画像の一括変換** を選択します。
3. 画像の一括変換ダイアログボックスで、宛先のファイル形式を選択します。JPEG を選択する場合、**設定** をクリックして圧縮率または画質レベルを設定します。
4. ドロップダウンボックスからカラーモードを選択します。
5. 画像解像度を変更するには、解像度オプションをチェックし、新しい DPI を指定します。
6. 画像サイズを変更するには、サイズ変更オプションを有効にし、新しいサイズを識別する方法を指定します。
  - パーセントで指定：1%から 500%までの範囲で倍率を変更します。
  - 画像の拡大/縮小：このオプションは選択された高さと同幅に合うように画像を比例して倍率変更します。
  - 画像エリアの拡大/切り取り：このオプションは、元の縦横比を維持しながら、新しい領域の 4 辺すべてに合うように画像を拡大します。定義された領域を超えた辺から画像の均等な部分がトリミングされます。
7. 新しい画像を保存する方法を選択します：
  - ファイルの保存場所を尋ねるダイアログボックスを表示する：**変換** をクリックすると、Portfolio はディレクトリを指定するよう要求します。
  - オリジナルファイルを新規ファイルで置換する
  - オリジナルと同じフォルダ内」：新しいファイル拡張子により、ファイルの名前が現在のファイルと同じになる場合は、ファイルの名前が適切に変更されます。たとえば、bunny.jpg は bunny1.jpg となります。
8. 変換された画像を現在の Portfolio カタログに追加する場合は、新規画像をカタログに追加オプションをチェックします。

## 注意：

新規画像をカタログに追加するには、管理者または発行者のアクセスレベルを持っていない限りなりません。

9. **変換** をクリックします。

## 画像の回転

Portfolio は JPEG 画像を回転させることができ、ファイルを個別に開き、編集することなく、デジタル写真の向きを縦から横へ(またはその逆に)簡単に切り替えることができます。これは、デジタルカメラから多数の写真をかタログ化し、調整の必要な横向きまたは縦向きの写真が組み合わされている場合、特に便利です。

### 注意：

Portfolio は JPEG 画像のみを回転させます。他の形式で保存済みの画像を回転させるには、画像編集ソフトウェアでファイルを開き、編集アプリケーション内で回転を実行する必要があります。

### JPEG 画像を回転させるには：

1. 回転させるアイテムを選択します。  
個別のサムネールを選択するか、複数のサムネールを選択できます。複数のサムネールを選択するには、Command キー (Mac) または Ctrl キー (Win) を押しながら、各選択対象をクリックします。
2. **アイテム > オリジナルファイルを回転 (JPEG 画像のみ)** を選択して、以下の 3 つのオプションのいずれかを選択します。
  - 時計回りに 90 度回転
  - 反時計回りに 90 度回転
  - 180 度
3. 各アイテムが回転する際、進行状況ダイアログボックスが表示されます。

画像をすばやく回転させるために、Command + ] キーを押すか (Mac)、または Ctrl + ] キーを押して (Win)、選択した画像を時計回りに回転させるか、Command + [ キーを押すか (Mac)、または Ctrl + [ キーを押して (Win)、選択した画像を反時計回りに回転させることができます。

## サムネールのみを回転

Portfolio では任意の画像のサムネールのみを回転させ、オリジナルをそのままにしておくことができます。

### アイテムのサムネールを回転するには：

1. 回転するサムネールのアイテムを選択します。  
個別のサムネール、または複数のサムネールを選択できます。複数のサムネールを選択するには、Command キー (Mac) または Ctrl キー (Win) を押しながら、各選択対象をクリックします。
2. **アイテム > サムネールを回転** を選択して、以下のサブメニューオプションのいずれかを選択します：
  - 時計回りに 90 度回転
  - 反時計回りに 90 度回転

## ファイル名を変更

Portfolio は、かタログ化するオリジナルファイルの名前を簡単に変更するための方法を 5 つ用意しています：

- かタログ作成オプションの名前の変更機能を使用して、ファイルをかタログ化するときに名前を変更できます。これは、デジタルカメラやスキャナからインポートするファイルに名前を付けるときに便利です。
- サムネールを選択し、**アイテム > オリジナルファイルの操作 > ファイル名を変更**の順に選択して、ファイル名を変更ダイアログボックスで新しい名前を入力することにより、個別のファイルを名前変更します。
- サムネールを選択し、Command + Option + N (Mac)、または Ctrl + Shift + N (Windows)、ファイル名を変更ダイアログボックスで新しい名前を入力します。
- かタログ内の任意のアイテムのアイテムのプロパティウィンドウを開いて、名前フィールドで新しい名前を入力します。アイテムのプロパティを開くには、サムネールを選択して、ツールバーのプロパティボタンをクリックするか、Command + I (Mac)、または Alt + Enter (Win) キーを押します。
- スライドショーの途中で、スライドショーコントローラの名前変更ボタンをクリックし、ファイル名を変更ダイアログボックスで新しい名前を入力します。

## 別のファイルへ再リンク

特定の状況下で、Portfolio アイテム（その説明、キーワード、その他のデータを含む）を保持しながら、アイテムをまったく異なるファイルにリンクする場合があります。たとえば、画像を編集し、別名で保存コマンドを使用して、ファイルを新しい名前でも保存することがあります。Portfolio はファイルの新しいバージョンを指しますが、古いアイテムに保存したすべての情報を保持する場合があります。

この処理は別のファイルに再リンクコマンドを使用して行うことができ、任意の既存アイテムを異なるオリジナルファイルに結びつけることができます。

**既存のアイテムを新規オリジナルファイルにリンクするには：**

1. 再リンクするアイテムのサムネールを選択します。
2. **アイテム > オリジナルファイルの操作 > 別のファイルに再リンク**を選択します。
3. 別のファイルを指定します。
4. Portfolio はカタログ内の既存のアイテムにリンクされているファイルをカタログ化し、アイテムを新規情報（新規サムネール画像など）で更新します。

### **注意：**

別のファイルに再リンク後、Portfolio カタログ内のメタデータを新規ファイルに埋め込むことができます。詳しくは、**メタデータの埋め込み** 27 ページのを参照してください。

## カタログ化されたアイテムを他のソフトウェアへドラッグ

Portfolio はファイルの管理と整理を行うための完璧な機能ですが、創造的な作業のほとんどはおそらく Portfolio の外で発生するものです。つまり、画像の編集、文書の作成、プレゼンテーションの作成、印刷物のページレイアウト、ウェブコンテンツの開発などは、他のソフトウェアで行われます。

Portfolio からこうした他のアプリケーションへの移動は通常、単純なドラッグアンドドロップ操作で済みます。Portfolio を使用して、他のソフトウェアで簡単に画像の作業を行う方法をいくつか以下に示します：


- サムネールをドラッグアンドドロップ対応文書にドラッグし、その文書内に画像のコピーを配置する。
- サムネールを Adobe Photoshop®、Illustrator®、Corel Paint Shop Pro といった画像編集ソフトウェアのエイリアス（またはショートカット）の上にドラッグし、そのソフトウェアで画像を開く。
- サムネールをデスクトップまたはフォルダウィンドウにドラッグし、その場所にオリジナルファイルのコピーを作成する。
- サムネールを電子メールメッセージにドラッグし、添付ファイルとしてオリジナル画像のコピーを送信する。
- Portfolio Quark XTension がインストールされている Mac OS X の場合、サムネールを QuarkXPress® ドキュメントにドラッグし、画像を XPress レイアウトに配置する。サムネールをピクチャボックスにドロップした場合、選択されている画像は既存のピクチャボックスに配置されます。それ以外の場合、Portfolio は画像に対する独自の新しいピクチャボックスを作成します。

# アイテムの更新

## カタログ化されたすべての情報の更新

更新コマンドは、選択された各アイテムについて、最初にカタログ化された後に変更されたものを完全に更新します。その処理には、各ファイルの場所の確定（必要があれば、ユーザーが特定する）、設定の抽出、新しいサムネールの作成が含まれます。更新コマンドは、カタログ化された後に変更されたアイテム（新しい変更日で示される）のみを更新します。

カタログ化されたすべての情報を更新するには：

1. 更新するアイテムを選択します。  
すべてのアイテムを更新するには、ギャラリーパレットからすべてのアイテムギャラリーを開きます。
2. **編集 > すべて選択**を選択します。または、Command + A (Mac) または Ctrl + A (Win) を押します。
3. ツールバーの更新  をクリックするか、または Command-U (Mac) または、Ctrl-U (Windows) を押します。または **アイテム > 更新** をクリックします。

Portfolio は、アイテムに保存されているパス名を使用して、各アイテムのソースファイルを検索します。ソースファイルが見つかり、その変更日が Portfolio 内にもともと記録されている日付より新しい場合、アイテムは更新されます。ソースファイルが見つからない場合は、特定するように要求されます。選択されているアイテムに対して新しいファイルを選択した場合、アイテムは現在のカatalog作成の詳細オプション設定に基づき、新しいファイルの情報によって更新されます。

ソースファイルが見つからず、ファイルを特定するように要求されてこのファイルをスキップをクリックした場合、選択されたアイテムはそのままの状態になります。

## オリジナルファイルの場所の更新

ファイルが新しい場所に移動されたが他に何も変更がない場合、パスの変更コマンドを使用してすばやく更新できます。

1. パスを更新するアイテムを選択します。
2. **アイテム > パスの変更**を選択します。
3. 更新ダイアログボックスが開き、指定されたファイルの新しい場所を見つけるように要求されます。
4. ファイルを選択し、**選択** (Mac) または **開く** (Win) をクリックします。Portfolio 内のアイテムは、オリジナルファイルの正しい場所を指すようになります。

この方法を用いてファイルを更新すると、Portfolio は自動的に同じディレクトリ内で更新する必要がある他のファイルを検索し、同様に更新を提供します。場所の更新ダイアログボックスでサブディレクトリの検索オプションを有効にしている場合、Portfolio はサブフォルダについても一致するファイルを探します。

## ドラッグ&ドロップによるパスの更新

カタログ内にある一部のファイルを移動したことが分かっている場合、新しいパス情報でカタログを更新するためのより簡単な方法があります。それは、ドラッグアンドドロップを使用する方法です。この方法は、カタログ化されたファイルを新しい場所に移動し、ファイル名を変更していない場合に限り使用できます。

1. Macintosh の Finder または Windows エクスプローラで、移動されたファイルのアイコンを選択します。
2. **OPTION** キー (Mac) または **CTRL** キー (Win) を押しながら、アイコンを Portfolio カタログにドラッグします。必ず、ファイルが移動される前に、もともとカタログ化されたときと同じカタログの中にファイルをドラッグしてください。
3. Portfolio はダイアログボックスを表示し、これらのファイルのパスを更新することを確認します。
4. **OK** をクリックします。これによって更新されるのはファイルのパスだけで、サムネールや他の設定は更新されないことに注意してください。

## サムネールを再作成するための更新

この更新コマンドにより、Portfolio は選択された各ファイルを再確認し、最新のサムネール画像を作成します。これは最初、112 ピクセルのサムネール設定でアイテムをカタログ化した後、256 ピクセルのサムネールが必要になった場合などに便利です。

サムネールを再作成するには：

1. 新規サムネールを作成するアイテムを選択します。
2. アイテム > サムネールの再作成を選択します。
3. Portfolio は各ファイルを再確認し、新規サムネールを作成します。

# ファイルを検索

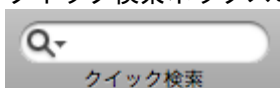
Portfolio の最も重要な機能の 1 つは、必要なときにデジタルファイルを検索し取り出すことができることです。カタログ化されたデータを詳しく検索するいくつかのツールが利用できます。

## クイック検索

Portfolio で最も簡単で使いやすい検索機能は、ツールバーの右側にあるクイック検索ボックスです。クイック検索では、任意のフィールドの組み合わせに基づいて、現在のギャラリーの中からファイルを検索することができます。クイック検索ではボタンをクリックしたり、メニューをプルダウンしたり、検索ダイアログボックスを開いたりする必要はありません。クイック検索が、ファイルの検索を行う、最も速くて簡単な方法です。

クイック検索を行うには：

1. クイック検索ボックスの中をクリックします。



2. 単語またはフレーズをボックスに入力して、Enter キーを押します。クイック検索はデフォルトでは、ファイル名と説明フィールドを「を含む」で検索を行い、キーワードフィールドのような複数の値を持つフィールドは「で始まる」で検索を行います。
3. 一致するアイテムが 🔍 検索結果のギャラリーに表示されます。

### 注意：

クイック検索ボックスで入力したテキストは、Enter キーを押して検索を行った後でも選択されたままになっています。別のクイック検索を行うには、検索に用いる別の単語やフレーズを入力して Return キーを押すだけです。

## 同じギャラリー内での複数検索

クイック検索は現在のギャラリーだけを検索するので、特定のアイテムを探し出すために検索内容をすばやく改良できます。

たとえば、鳥というキーワードを含むアイテムをすべて検索する場合は以下のように行います。


1. ギャラリーパレット ですべてのアイテムのギャラリーを選択します。
2. クイック検索フィールドに鳥を入力し、キーボードで **ENTER** キーを押します。検索結果のギャラリーに結果が表示されます 🔍。
3. 次に鳥を含むアイテムで、キーワードに赤を持つものだけにします。クイック検索フィールドに赤を入力し、**ENTER** キーを押します。Portfolio は現在のギャラリー（鳥のクイック検索結果を含むギャラリー）だけを検索して、その中で見つかったアイテムを表示します。

## 検索コマンドの使用

多くの Portfolio ユーザーにとっては、クイック検索ボックスを使った簡単な複数フィールドの検索で十分満たされます。しかし、Portfolio の高度な検索エンジンを使えば、複数の検索条件を用いた複雑な検索を行うことも可能です。複雑な検索方法を保存すると、最小の労力で同じ検索を再び行うこともできます。保存した検索方法をギャラリーに適用して、開かれるたびに保存した検索を実行するスマートギャラリーを作成することもできます。Portfolio の検索コマンドを使えば、特定の検索パラメータを用いて、任意のフィールドを任意の組み合わせで検索することができます。




検索ダイアログボックスにアクセスするには：

- ツールバーから検索ボタン  をクリックします。
- Command-F (Mac)、Ctrl-F (Windows) を押します。
- **編集 > 検索 > 検索** (Mac)、**カタログ > 検索** (Windows) を選択します。

## 特定のアイテムの検索

特定のアイテムの検索：

1. ツールバーから検索ボタン  をクリックします。または Command-F (Mac)、Ctrl-F (Windows) を押す  
または**編集 > 検索 > 検索** (Mac)、**カタログ > 検索** (Windows) の順に選択します
2. フィールドメニューから検索に使用するフィールドを選んで、検索に用いる条件を選択します。
3. 真ん中のメニューから一致オプションを選択します。検索を行うフィールドによって、8~14種類のオプションがあります。「と等しい」や「と一致する」を用いて正確な言葉を検索したり、「を含む」や「以外で終わる」を用いてもう少し緩やかな条件で検索したりできます。
4. 必要に応じて、他の検索オプションも選択します：  
現在のギャラリー内で検索：このチェックボックスをオンにすると、Portfolioは現在のギャラリーにあるアイテムのみを検索し、カタログ内の他のすべてのアイテムは無視されます。これは、目標のファイルに焦点を合わせるために、段階的に条件を狭めて検索を行う場合に便利です。カタログ内で条件に一致するすべてのアイテムを検索する場合は、このオプションのチェックが外されていることを確認してください。  
複数のカタログを検索：複数のカタログを開いていない場合は、このオプションは選択できません。複数のカタログを開いている場合は、このオプションを選択し、開いているすべてのカタログでアイテムを検索できます。詳細については**複数のカタログを検索** 53 ページの を参照してください。  
新規一時ギャラリーに結果を表示：このオプションを選択すると、新しいギャラリーが作成され、検索結果をそのギャラリーに表示します。デフォルトでは、検索結果は検索結果ギャラリーに表示されます。
5. **検索** をクリックして検索を開始します。

## 複数の条件による検索

検索ダイアログボックスを使えば、複数の条件(ファイルタイプ、作成日、およびキーワードの一致)に基づいて、より複雑な検索を行うことができます。

複雑な検索を行うには：

1. 検索ダイアログボックスで**条件を追加**ボタン (Windows) または[ + ]ボタン (Mac) をクリックして、追加の検索条件を含めるようにダイアログボックスを拡大します。ダイアログボックスを拡大して、最大5個まで検索条件を指定することができます。条件を増やした後で、より簡単な検索をするために**条件を減らす**ボタン (Windows) または[ - ]ボタン (Mac) をクリックして、条件を減らすことができます。
2. 左のフィールドプルダウンメニューから検索に使用するフィールドを選んで、検索に用いる条件を選択します。
3. 真ん中のメニューから一致オプションを選択します。検索を行うフィールドによって、8~14種類のオプションがあります。「と等しい」や「と一致する」を用いて正確な言葉を検索したり、「を含む」や「以外で終わる」を用いてもう少し緩やかな条件で検索したりできます。
4. 必要に応じて、他の検索オプションも選択します：  
現在のギャラリー内で検索：このチェックボックスをオンにすると、Portfolioは現在のギャラリーにあるアイテムのみを検索し、カタログ内の他のすべてのアイテムは無視されます。これは、目標のファイルに焦点を合わせるために、段階的に条件を狭めて検索を行う場合に便利です。カタログ内で条件に一致するすべてのアイテムを検索する場合は、このオプションのチェックが外されていることを確認してください。  
複数のカタログを検索：複数のカタログを開いていない場合は、このオプションは選択できません。複数のカタログを開いている場合は、このオプションを選択し、開いているすべてのカタログでアイテムを検索できます。詳細については、**複数のカタログを検索** 53 ページのを参照してください。  
新規一時ギャラリーに結果を表示：このオプションを選択すると、新しいギャラリーが作成され、検索結果をそのギャラリーに表示します。デフォルトでは、検索結果は検索結果ギャラリーに表示されます。
5. 検索を調整するために、各検索行の**および**/またはのメニューを設定します。
6. **検索**をクリックして検索を開始します。
7. 検索結果のギャラリーに結果が表示されます。

## 検索条件オプション

以下の表では、検索に利用できるカタログの一般的なフィールドのリストです。カスタムフィールドがある場合は、同様に検索が可能です。

アイテムがカタログに登録される際に、ファイル内のメタデータが関連フィールドに抽出されます。Adobe アプリケーションで作成されたファイルなどでは XMP メタデータを持っており、ファイル作成時に多彩な情報をファイルに入れることができます。Portfolio ではこれらの情報を抽出して基本フィールドに抽出します。

## 基本フィールド

これらのフィールドは多くのドキュメントタイプで利用できます。

フィールド名	説明
ファイル名	ファイル名
ファイルサイズ	ファイルサイズ
作成日	オリジナルファイルが作成された日付（日付フィールドについての注意をお読みください）
修正日	オリジナルファイルが最後に修正された日付（日付フィールドについての注意をお読みください）
説明	ファイルの説明
キーワード	アイテムにアサインされたキーワード

### 日付フィールドについての注意：

日付フィールドには日付と時間の両方が常に含まれていますが、日付のみ表示されます。検索時には時間を含めた検索条件が必要です。例：2012年2月14日に撮影された写真を検索する場合は、「02/14/2012 12:00 am より以降に作成」と「02/15/2012 12:00 am より以前に作成」で検索します。

## ファイル情報フィールド

これらのフィールドはアセットの場所情報やサイズ情報を含んでいます。

フィールド名	説明
ディレクトリパス	アイテムのフルディレクトリパス（ファイル名は含まない）
ボリューム	アイテムの存在する物理ドライブまたはディスク
高さ	アイテムの高さ、ピクセル数（サムネールが抽出された場合は空白）
幅	アイテムの幅、ピクセル数（サムネールが抽出された場合は空白）
水平解像度	アイテムの水平解像度、dpi
垂直解像度	アイテムの垂直解像度、dpi
ビット数	画像ファイル内のカラービット数
カラーモード	画像内に含まれるカラーモードで、Portfolioは画像から直接カラーモードを抽出します。Portfolioが理解できるカラーモード：白&黒、グレースケール、RGB、CMYK、YUV、Lab、YCKK（その他のモードは不明となります）。
カラープロファイル	画像が作成されたデバイスやアプリケーションによりエンベッドされたカラースペース（例：sRGB、Adobe RGB（1998）、キャリブレートモニタのプロファイル等）
ページ数	複数ページドキュメントのページで数

## カタログ情報フィールド

これらのフィールドではアセットのカタログ記録です。ユーザーによる編集はできません。

フィールド名	説明
カタログ登録日	最初にPortfolioにカタログ化された日付と時刻
カタログ登録者	Portfolioにカタログ化したユーザー名
最終変更日	最後に変更された日付と時刻
最終変更者	最後に変更したユーザー名
アイテム ID	カタログ内のユニーク ID 番号
サムネイルサイズ	カタログ内のサムネイルサイズ：32（アイコン用）、112、256 ピクセル

## ワークフローフィールド

これらのフィールドは Portfolio カタログをワークフローで利用する場合に使います。カスタムフィールドに追加すると便利です。

フィールド名	説明
承認の日付	アセットが承認された日付（日付フィールドについての注意をお読みください）
承認者	アセットの承認が必要な人の名前
クライアント名	アセットに関連するクライアント名
ジョブ名	アセットに関連するジョブやプロジェクトの名前
ジョブステータス	進行状況
回覧先	アセットを次ぎに回覧するユーザー名
回覧者への注意	アセットを回覧する人への注意
ウェブサイト	アセットに関連するウェブサイト
必要事項	アセットやジョブ完了に必要な説明

## 他のフィールド

以上の検索可能なフィールドの他に、Portfolio ではファイルから様々なメタデータを抽出することができます。ITPC や EXIF メタデータ（画像やデジタルカメラデータ用メタデータ）や、デジタル写真やビデオに含まれる GPS ロケーションフィールド、ビデオやアニメーションファイルに含まれる映像専用のメタデータ、MS Office メタデータなどがあります。これらのフィールド名は EXIF、GPS、ITPC、Movie、MS で始まり、検索に利用することができます。

## 検索条件の保存

日常的にカタログから特定のタイプのアイテムを検索する必要がある場合は、それらのアイテムの検索方法に名前をつけて保存することができます。

保存済みの検索方法は、検索ダイアログボックスの保存済みの検索方法ドロップダウンメニューに表示されます。保存済みの検索方法を使用するときは、メニューから検索方法の名前を選択するか、検索パレットで保存した検索方法をダブルクリックするか、または Windows の場合、ツールバーの保存済みの検索方法を使用してドロップダウンメニューから検索を選択します。

検索条件を保存するには：

1. 検索ダイアログボックスで検索方法を設定します。
2. 保存済みの検索方法ドロップダウンメニューから別名で保存を選択します。
3. 検索方法を保存ダイアログボックスで、新しい検索方法の名前を入力します。
4. **OK** をクリックして検索ダイアログボックスに戻ります。Portfolio は作成した検索の定義をカタログに保存します。

保存済みの検索方法を使用するには：

- 検索ダイアログボックスの保存済みの検索方法ドロップダウンメニューから保存済みの検索方法を選択します。
- Windows の場合、ツールバーの検索ドロップダウンメニューから保存済みの検索方法を選択します。
- 検索パレットを開いて（**ウインドウ > 検索方法を表示**）、パレット上で保存済みの検索方法の名前をダブルクリックする。
- 検索パレットで保存済みの検索方法を選択して検索ボタンをクリックするか、パレットのフライアウトメニューから検索を選択します。
- 保存済みの検索方法をギャラリーに添付して、スマートギャラリーを作成します（**ギャラリー > 設定 > スマートギャラリー**）。スマートギャラリーを開くと、検索が自動的に実行されます。

## 保存済み検索方法の名前変更、コピー、または削除

1. 検索ダイアログボックスで保存済みの検索方法ドロップダウンメニューからリストの編集を選択します。
2. 「検索方法のリストを編集」ダイアログボックスで、編集したい「保存済みの検索方法」を選択します。
3. **検索方法の名前変更、検索方法のコピー、または検索方法の削除**の中から適切なボタンをクリックします。
4. **OK** をクリックして検索ダイアログボックスに戻ります。

—または—

1. 保存済みの検索方法パレットから、名前の変更または削除したい検索方法を選択します。
2. フライアウトメニューから、検索方法を削除または検索方法の名前変更を選択します。

## デフォルトの検索方法

検索ダイアログボックスを開くたびに（または保存済みの検索方法ドロップダウンメニューからデフォルトを選択）、Portfolio は検索フィールドをデフォルトの検索方法で指定された属性で設定します。

デフォルトの検索方法を編集して、最も頻繁に使うアイテムを検索コマンドにあらかじめ設定することができます。

デフォルトの検索方法を変更するには：

1. 検索ダイアログボックスを開いて、デフォルトにしたい検索フィールドを設定します。
2. 保存済みの検索方法ドロップダウンメニューから、デフォルトとして保存を選択します。

## パレットからの検索

マスターキーワードパレットやカスタムフィールドから作成した任意のパレットを使えば、どんなダイアログボックスを開く必要もなく、簡単に検索を行うことができます。

パレットから検索するには：

1. パレットで表示するキーワードをダブルクリックします。
2. 選択されたキーワードを持つすべてのアイテムが検索結果のギャラリーに表示されます。

### 注意：

キーワードリストが大きい場合は、マスターキーワードパレットのテキスト入力フィールドに文字を入力すれば、その文字で始まるキーワードにカーソルが移動するので、キーワードリストの中をすばやく移動することができます。

## 複数のカタログを検索

複数のカタログに対して検索するには：

1. 検索に含めたいカタログをすべて開きます。開いているカタログはカタログパレットに表示されます。開かれているカタログをすべて検索する必要はありませんが、開かれていないカタログを検索することはできません。
2. カatalogパレットで、検索対象に含めたいカタログを選択します。カタログ名の左の虫眼鏡アイコンは、そのカタログが検索対象に含まれることを示しています。アイコンが表示されていない場合は、そのカタログは検索対象から除外されています。
3. 検索ダイアログボックスで、複数のカタログを検索オプションを有効にします。
4. 検索ダイアログボックスで（標準の単一カタログ検索の場合と同様の方法で）検索パラメータを設定し、**検索**をクリックします。
5. 検索結果は、新しい複数カタログの検索結果ギャラリーに表示されます。このギャラリーには複数のカタログからのアイテムが含まれるので、ギャラリーを設定したり、Web ページの作成、またはアイテムのディスクへの書き込みに使用したりすることはできません。  
(検索した結果がひとつのカタログ内に含まれているアイテムの場合は、そのカタログの検索結果ギャラリーに表示されます)

## 複数カタログの検索結果を保存

別のギャラリーから画像をドラッグして、複数カタログの検索結果を保存することができます。ギャラリーは特定のカatalogと関連しているため、ギャラリーにファイルをドラッグする際、別のカatalogにそのファイルがあった場合は、ファイルがそのギャラリーを持つカatalogにコピーされます。

複数カタログの検索結果を保存するには (Windows) :

1. カatalogを選択して、複数カタログの検索結果を格納する新しいギャラリーを作成します。
2. 複数カタログの検索結果ギャラリーが最大化した場合、右上の端にある元に戻るボタンをクリックしてギャラリーを表示します。
3. ファイルをクリックして、複数カタログの検索結果ギャラリーから新しいギャラリーにドラッグします。

複数カタログの検索結果を保存するには (Mac) :

1. カatalogを選択して、複数カタログの検索結果を格納する新しいギャラリーを作成します。他のカatalogにあるファイルは、新しいギャラリーとカatalogにコピーされることに注意してください。
2. Mac OS XのPortfolioはギャラリーを別々のウィンドウで表示するため、容易にファイルのコピーができます。ファイルをクリックして、複数カタログの検索結果ギャラリーから新しいギャラリー、またはギャラリーパネルにあるギャラリー名の上にドラッグします。

## カatalog作成のステータスによってファイルを検索

Portfolioは、アイテムのカatalog作成のステータスに基づいたアイテムの検索を容易にします。例えば、カatalog作成の処理が中断された場合、カatalogには部分的にカatalog化されたアイテムが含まれる場合があります。

部分的にカatalog化されたアイテムを検索するには (黄色のドット) :

- **編集 > 検索 > 部分的にカatalog化されたアイテム (Mac)** を選択します。

—または—

- **カatalog > その他の検索 > 部分的にカatalog化されたアイテム (Windows)** を選択します。

部分的にカatalog化されたアイテムを検索したら、すべてのアイテムをこのステータスで選択して、**アイテム > 更新**を選択すると、カatalog作成の処理が完了します。

読み取り不可能のアイテムを検索するには (赤のドット) :

- **編集 > 検索 > 読み取り不可能のアイテム (Mac)** を選択します。

—または—

- **カatalog > その他の検索 > 読み取り不可能のアイテム (Windows)** を選択します。

読み取り不可能のアイテムを検索したら、**アイテム > オリジナル > Finderで表示する (Mac)** または **アイテム > オリジナル > エクスプローラで表示 (Windows)** コマンドを使用して、ファイルを検索し、ファイルのインテグリティや許可に関する問題を解決できます。

## 仮レコードアイテムの検索

作成したすべての仮レコードを簡単に見つけて、作成した仮レコードや更新または削除する必要のある仮レコードを管理することができます。

すべての仮レコードを検索するには :

- **カatalog > その他の検索 > 仮レコードアイテム (Windows)** を選択します。
- **編集 > 検索 > 仮レコードアイテム (Mac)** を選択します。

## 書類のテキストの検索

書類内のテキスト検索コマンドを使えば、カタログアイテムではなく、カタログ化された書類のテキストから英文の単語やフレーズを検索することができます（日本語は利用できません）。

### 注意

Portfolio では、テキストファイルと PDF ファイルでのみ検索を行うことができます。また、上記の種類のファイルをカタログに追加する際には、**詳細カタログ作成オプション**ダイアログボックスで、**書類内のテキストをインデックス化オプション**を選択していることを確認してください。

カタログ化された書類からテキストを検索するには：

1. **カタログ > その他の検索 > 書類のテキスト** (Win)、または**編集 > 検索 > 書類内のテキスト** (Mac) の順に選択します。
2. 検索する単語またはフレーズを検索する単語テキストボックスに入力します。
3. いずれか/すべてのドロップダウンボックスから
  - すべてを選択して、見つかった書類ですべての検索単語を要求します。
  - いずれかを選択して、検索単語のいずれかのみを要求します。
4. ドロップダウンメニューから、一致オプションを選択します。  
これらのオプションは普通の検索コマンドの場合と同様です。
5. 検索対象を現在のギャラリーに限定する場合、または複数のカタログを検索する場合は、適切なオプションを選択します。
6. **検索**をクリックして検索を開始します。

## 消失ファイルの検索

ファイルのカタログ化後、移動、名前変更、削除が行われると、Portfolio がファイルを追跡できなくなる可能性があります。消失ファイルの検索コマンドを使用して、そのような消失ファイルを簡単に検索して、Portfolio に再リンクしたり、またはカタログから削除したりできます。

### 注意：

Portfolio はマウントされているボリュームでのみ、消失ファイルの検索を行います。カタログ化されたアイテムソースファイルを含むボリュームがマウントされていない場合、Portfolio はそれらのファイルについて報告しません。

消失ファイルをチェックするには：

1. **カタログ > その他の検索 > 消失ファイル** (Win)、または**編集 > 検索 > 消失ファイル** (Mac) の順に選択します。Portfolio はカタログ内に保存されている各アイテムのパス名を、マウントされているすべてのボリュームとディスクに対して比較し、ソースファイルがその場所で見つかるかを確認します。結果は消失ファイルダイアログボックスに表示されます。
2. 消失ファイルが見つかった場合は、リスト内の各アイテムを選択します。
3. **検索**をクリックして、そのファイルの新しい場所を指定します。指定した場所で消失ファイルが見つかった場合は、カタログ内のアイテムが自動的に更新されます。または、**カタログから削除**をクリックして、Portfolio カタログから選択したアイテムを削除してください。

# プリント

通常はカタログアイテムを検索および選択して、ソースファイルの編集、表示、または別文書での使用を行います。カタログそのものからプリントする場合があります。たとえば、選択した画像をクライアントに見せたり、文書で使用するためにアイテムを評価したりする場合です。

画面上のギャラリーの表示を設定すると、表示設定は、ギャラリーからアイテムをプリントする際にも使用されます。

## プリントオプション

「プリント」ダイアログボックスには、標準プリンタの選択、ページ範囲、コピー数のコントロールのほか、アイテムがページ上に表示される様式を指定するためのオプションが含まれています。

Mac OS X で Portfolio プリントオプションにアクセスするには、プリントダイアログの中のオプションプルダウンメニューから Portfolio を選択します。

プリンタ：ドロップダウンボックスからプリンタを選択し、**設定**をクリックしてプリンタ固有のオプションを設定します。

現在のギャラリー表示を印刷／ページ単位に指定されたアイテム数：このドロップダウンボックスにより、1 ページに配置される画像の数、および現在の表示設定を使用するかどうかを指定できます。「現在のギャラリー表示を印刷」は、ギャラリーから任意の保存済みのビューのデータを使用します。他のすべての設定は、ページ単位に特定の数のアイテムをフレームやテキストなしでプリントします。

ページあたりのアイテム数：現在のギャラリー表示のプリントを選択した場合、ページあたりのアイテム数を指定できます。

- **最大級**：このオプションは、すべてのアイテムフレームとテキストを含め、実際のサムネールサイズで可能な限り多くのアイテムをプリントします。
- **横のアイテム数**：このオプションはサムネールのサイズを変更し、グリッドに配置します。この設定ではフレームがプリントされないことに注意してください。

印刷対象：Portfolio がカタログ内に保存されている低解像度のサムネールのみをプリントするか（サムネールを選択）、フル解像度の画像をプリントするか（オリジナルを選択）を選択できます。

画質：この設定は、オリジナル画像をプリントするときに Portfolio が使用する解像度データのレベルを指定します。最高の設定にすると、プリンタの負荷が高くなります。一部のプリンタは十分なメモリが搭載されていないため、プリンタにダウンロードされるデータ量に対応できない場合があります。問題が発生する場合は、設定を「高い」または「標準」に切り替えてみてください。

画像を同様のサイズに変更：このオプションは、横のアイテム数か、ページ単位に指定されたアイテム数を選択した場合に使用できます。このオプションは、横向きの画像と縦向きの画像のレイアウトを、統一のとれた外観にする際に役立ちます。たとえば、レターサイズ用の紙にページあたり 4 つの画像を配置するレイアウトを選択した場合、縦向きの画像はページ上ですべて同じサイズになりますが、横向きの画像はより狭い幅に合わせる必要があるためにサイズが小さくなります。このオプションを選択すると、縦向きの画像はサイズが変更され、横向きの画像のサイズに近くなります。

ページ余白：ページの余白をインチで設定します。デフォルトはページの上、下、左、右、いずれも 0.5 インチです。

ヘッダー／フッター：ヘッダーまたはフッターは、プリントしたページの上部または下部に表示する任意のテキストを含みます。

次の値から始まるページ番号を印刷：数値を入力することで、開始ページ番号を設定することができます。



## 単一ファイルのプリント

プレビューウィンドウで、**ファイル>プリント**を選択して、単一のフルサイズの画像をプリントできます。印刷の質を高めるために、「オリジナルの編集」コマンドを使用し、カタログ化された画像をオリジナルのアプリケーションで開き、そこからプリントすることを推奨します。

## コンタクトシートのプリント

コンタクトシートは基本的に視覚的に画像グループを表示するページです。コンタクトシートは、多数の画像の中から選択できるようにクライアントに提供されるほか、指定のギャラリーに含まれる画像のプリントされた参照資料にもなります。

**コンタクトシートをプリントするには：**

1. ギャラリーを選択してコンタクトシートとしてプリントします。特に表示をカスタマイズする必要はありません。画像はフレームまたはテキストなしで「そのまま」プリントされます。
2. **ファイル>プリント**を選択します。
3. プリントダイアログボックスで、ドロップダウンメニューからプリンタを選択します。
4. 現在のギャラリービューを印刷するドロップダウンボックスから、各コンタクトシートに含める特定の画像数を選択します。
5. テキストボックスに、アイテム間の最小間隔を入力します。この最小間隔により、画像どうしが重なり合うのを防ぎます。
6. すべての画像をほぼ同じサイズに整える場合は、画像を同様のサイズに変更チェックボックスをオンにします。
7. 特定のヘッダー、フッター、ページ番号、および余白の設定を入力し **OK** をクリックします。

## ギャラリーからのアイテムのプリント

**サムネールまたはカタログアイテムのリストをプリントするには：**

1. プリントするアイテムを選択してギャラリーウィンドウに配置します。
2. 保存済みのビューを適用するか、並べ替え、手動によるアイテムの順序付け、フレーム、背景色など、必要な外観になるようにビューをカスタマイズします。選択するビュータイプは、サムネール、アイテム、またはリストで、プリントページへの画像の配置方法に直接影響を与えます。
3. ギャラリーで必要な設定を行ったら、**ファイル>プリント**を選択します。

# オートシンク

オートシンクは最も重要で高性能な Portfolio の機能の 1 つであり、ネットワーク上のフォルダの内容を Portfolio が作成/管理するカタログと同期させる素晴らしい機能です。

オートシンクはコンピュータシステム上の特定のフォルダと Portfolio カタログのアイテム間にリンクを作成します。オートシンクのフォルダパレットにフォルダを追加すると、Portfolio からサムネールをそのフォルダにドラッグするだけで、アイテムをそのフォルダに移動することができます。逆に、コンピュータシステム上で (Mac の Finder または Windows エクスプローラを用いて) そのフォルダに移動したファイルは、自動的に Portfolio でカタログ化されるため、Portfolio カタログの内容はディスク上のフォルダの内容と完全に一致します。

オートシンクはディスク上にあるフォルダとファイルを表示するだけではありません。オートシンクを使えばフォルダの作成、移動、削除を行うことができ、事実上 Portfolio からディスクファイルの管理、およびカタログ化されたファイルを希望する場所に置くことが可能になります。

オートシンクの典型的な使用方法：


- Portfolio カタログからサムネールをフォルダにドラッグして、Portfolio でディスク上のファイルを整理する。
- ハードディスク (またはネットワーク) から既存の階層構造のフォルダを Portfolio の「フォルダパレット」に追加し、同期ボタンを一度クリックするだけで、すべてのフォルダの内容をカタログ化する。
- Portfolio でネットワーク上の任意の数のフォルダを監視し、これらのフォルダにファイルが追加されたり、これらのフォルダのファイルが変更されたり削除されるたびに、視覚的に警告を行う。
- Portfolio を終了することなく、または Portfolio カタログを手動で更新することなく、カタログ化されたファイルをネットワーク上のフォルダから別のフォルダへと移動する。
- ワークグループの他のユーザーが、オートシンクが監視しているフォルダに対し、ファイルをドロップするだけで、カタログにアイテムを追加できるようにする。同期ボタンを一度クリックするだけで、それらのファイルをカタログに移動できます。

## 注意：

Portfolio Server にファイルをアップロードする必要があるウェブクライアントユーザーは、オートシンクフォルダが必要です。

## フォルダパレットの表示

オートシンクを使用するためには、フォルダパレットを表示する必要があります。

表示されていない場合は、ツールバーのフォルダ  をクリックするか、**表示>フォルダ**を選択して、パレットを表示します。

最初、フォルダパレットは空白です。Portfolio と同期させるハードディスクまたはコンピュータネットワーク上にある任意のフォルダは、追加された後にこのパレット内に表示されます。



## 新しい監視フォルダの追加

フォルダ同期の使用を開始するためには、システム上のどのフォルダを Portfolio に監視させるかを指定する必要があります。Portfolio に階層構造になっているフォルダを監視させるには、最上位のフォルダを Portfolio に指定します。

### 重要：

Portfolio Server でカタログ登録したファイルにアクセスするすべてのユーザーは、オートシンクフォルダは Portfolio サーバーとすべての Portfolio デスクトップクライアントの両方にアクセスできる必要があります。

新しい監視フォルダをフォルダパレットに追加するには：

1. フォルダパレットの 1 番上にある、監視フォルダを追加  をクリックします。
2. Portfolio サーバーと同期を維持するフォルダを選択します。標準のダイアログボックスが開き、フォルダを選択するよう求められます。Portfolio に階層構造になっているフォルダをすべて監視させるには、階層構造の最上位のフォルダを選択します。Portfolio が自動的にサブフォルダを確認し、フォルダパレットにそれらを含めます。選択ボタン (Mac) または OK ボタン (Windows) をクリックしてフォルダを選択します。
3. オートシンクの設定ダイアログボックスで、Portfolio がフォルダを監視する方法と、新しいファイルが見つかったとき、またファイルが削除されたときの動作を指定します。
  - フォルダ内の変更を常に監視するオプションを使うと、オートシンクフォルダで変更をスキャンする時間を指定できます。変更が検出されたときには、フォルダ表示でフォルダ名がハイライト表示されます。
  - 同期する間隔オプションを使うと、オートシンク (一番上の階層にあるフォルダ) 内のアイテムをカタログに追加する間隔、またはカタログから削除する間隔を設定できます。
  - 同期時にカタログ作成オプションプリセットオプションを有効にして、カタログ作成中に保存したプリセットを使用します。  
カタログ作成時のプリセットを作成して保存しておく、そのプリセットがドロップダウンリストに含まれます。  
コピー、移動、ファイル名の変更機能を含んだプリセットも選択できますが、同期時に使用する際にはプリセットのこうした機能は無視されます。基本的に、カタログ作成プリセットのプロパティの割り当て (フィールド名、説明、キーワード) のみを使用されます。プロパティ割り当て機能を含んでいないプリセットは、ドロップダウンリスト内に表示されません。  
詳細は、[カタログ作成オプションプリセットの保存](#) 20 ページを参照してください。
  - カタログにあるアイテムのオリジナルファイルが見つからないときオプションを使うと、オートシンク処理でオリジナルのファイルが見つからない場合、アイテムをそのままにしておくか、削除するかを指定できます。
4. **OK** をクリックしてオートシンクを設定し、もう一度 **OK** をクリックしてオートシンクフォルダを作成します。選択したフォルダはフォルダパレットのリストに表示されます。監視フォルダは小さいバインダーアイコンでフォルダパレットに表示されます。すべてのサブフォルダはサブフォルダアイコンで表示されます。
5. 同期ボタン  をクリックして新たに追加されたフォルダのコンテンツを現在の Portfolio カタログと同期させます。新しいフォルダがフォルダパレットに追加されたときは必ず、その名前は太字で表示され、そのフォルダがまだ Portfolio と同期されていないファイルを含んでいることを表します。同期ボタンをクリックすると、Portfolio は選択したフォルダの内容を調べて、フォルダ内のまだカタログ化されていないすべてのアイテムをカタログ化します。


### 注意：

フォルダパレットに空のフォルダを追加した場合は、太字で表示されません。そのフォルダには Portfolio と同期する必要があるファイルがまだ含まれていないためです。

6. オートシンクダイアログボックスに、Portfolio がカタログ化するファイルがリストで表示されます。カタログ化作業を継続するには同期ボタンをクリックしてください。

## 監視フォルダのオートシンク設定の編集

オートシンク監視フォルダの設定は、いつでも編集することができます。

1. 設定を編集する監視フォルダを選択します。
2. フォルダパレットの一番上にある監視フォルダの設定ボタン  をクリックします。
3. オートシンクの設定ダイアログボックスで設定を編集して、**OK** をクリックします。



## 監視フォルダの削除

フォルダパレットから監視フォルダを削除すると、Portfolio はディスク上のそのフォルダの監視を停止し、それ以降フォルダをカタログの内容と同期させません。

### 注意：

監視フォルダを削除しても、そのフォルダはハードディスクまたはネットワークから削除されません。また、フォルダに含まれるどのファイルも削除しません。この操作は単にフォルダと Portfolio の接続を切るだけです。

フォルダパレットから監視フォルダを削除するには：

1. フォルダパレット内で削除する監視フォルダを選択します。サブフォルダではなく監視フォルダを選択したことを確認してください。
2. フォルダパレットの1番上にある、監視フォルダの削除ボタン  をクリックします。**注意：**フォルダの削除  ではなく、必ず監視フォルダの削除をクリックしてください。
3. Portfolio は、フォルダパレットのリストから削除するフォルダをこれ以降は監視しない、という警告を表示します。**OK** をクリックします。
4. これで監視フォルダはフォルダパレットのリストに表示されません。これは、Portfolio がその内容を監視していないことを示します。削除されたフォルダ内で保存されたアイテムはカタログからは削除されません。

## 監視フォルダの内容の表示

監視フォルダを（ハードディスクまたはネットワークから）フォルダパレットに追加すれば、Portfolio を使ってそのフォルダ内にある任意の使用可能なフォルダや監視フォルダ自体の内容をすばやく表示することができます。

フォルダおよびすべてのサブフォルダの内容を表示するには：

1. フォルダパレット内のフォルダをクリックします。
2. 選択されたフォルダとそのすべてのサブフォルダ内のファイルが、現在の Portfolio ギャラリーに表示されます。

1つのフォルダのみの内容を表示するには：

1. Option キー（Mac）または Ctrl キー（Windows）を押しながら、フォルダパレットでフォルダをクリックします。
2. 選択したフォルダのファイルのみが現在の Portfolio ギャラリーに表示されます。

## フォルダパレットによるファイルの移動

Portfolio を使えばフォルダパレットに表示されている任意のフォルダへ、または任意のフォルダから、カタログ化されたファイルを簡単に移動したり、コピーしたりできます。つまり、ファイルを整理するときに、Macintosh の Finder や Windows エクスプローラに切り替えて、ファイルをフォルダからフォルダへ移動する必要はありません。Portfolio で行うことができます。

フォルダパレットを使ってアイテムをフォルダに移動するには：

1. カタログ化された任意のアイテムのサムネールをフォルダパレットで表示されているフォルダにドラッグします。
2. Portfolio は自動的にファイルをコンピュータシステム上の対応するフォルダに移動し、ファイルの新しい場所を反映するように Portfolio カタログを更新します。

ファイルを1つのフォルダから別のフォルダに移動するには：

1. フォルダパレットでフォルダをクリックして、現在の Portfolio ギャラリーで、選択したフォルダ内のファイルを表示します。
2. カタログ化された任意のアイテムのサムネールをフォルダパレットで表示されている別のフォルダにドラッグします。
3. Portfolio は自動的にファイルをコンピュータシステム上の対応するフォルダに移動し、ファイルの新しい場所を反映するように Portfolio カタログを更新します。


### 注意：

ボリューム間でのファイルの移動は Macintosh の Finder または Windows エクスプローラと同様で、オリジナルを削除または移動することなく、ファイルを新しい場所にコピーします。


## オートシンクによる新しいフォルダの作成

オートシンクを使用すれば、Portfolio 内で新しいフォルダ、または既存のフォルダの新しいサブフォルダを作成して、それらのフォルダでディスク上の画像を分類したりカテゴリ化したりできます。これらのフォルダを設定するために、Macintosh の Finder や Windows エクスプローラに切り替える必要はありません。Portfolio のフォルダパレットから、ハードディスクまたはネットワーク上のフォルダの追加、削除、移動ができます。


新しい監視フォルダを作成するためには：

1. フォルダパレットで既存のフォルダが選択されていないことを確認してください。
2. フォルダパレットの1番上にある、監視フォルダの追加ボタン  をクリックします。
3. フォルダ選択ダイアログボックスで、新しいフォルダの場所を指定して、**新規ボタン** (Mac) または **新規フォルダボタン** (Win) をクリックします。
4. **選択** (Mac) または **OK** (Win) をクリックして選択を確認します。
5. 作成したフォルダは、フォルダパレットで新しい監視フォルダとして表示されます。

新しいサブフォルダを作成するには：

1. フォルダパレットですでに表示されているフォルダの1つを選択します。
2. フォルダパレットの1番上にある、新規サブフォルダボタン  をクリックします。
3. 新しいフォルダが、選択されたフォルダのサブフォルダとして作成されます。


## フォルダの同期

フォルダパレットのフォルダ名が太字に変わりフォルダアイテムが感嘆符を含む場合は、最後にそのフォルダを同期してから、そのフォルダ内のファイルに何らかの変更が加えられことを示します。

行われた可能性のある変更には以下のものがあります。

- カタログ登録したファイルが変更された。
- Finder (Mac) またはエクスプローラ (Windows) を使用して、フォルダからファイルが削除された。
- 新しいファイルがフォルダに追加された。
- 既存のファイル名が変更された。

これらの変化を反映するように Portfolio カタログを更新するには：

1. 同期する必要のあるフォルダを選択します。太字で名前が表示されているフォルダのみ同期が必要です。同期する必要のある複数のフォルダを選択するには、親フォルダを選択します。サブフォルダは自動的に同期対象になります。
2. 同期  ボタンをクリックします。
3. フォルダパレットで選択されたフォルダは、内容が Portfolio カタログと同期されたので、もう太字では表示されていません。

### オートシンクの使用に関する重要な注意事項

- 同期されたフォルダは少しの間太字のままである場合があります。これは、Portfolio が同期による変更を確認するためにフォルダを再スキャンするからです。同期中の複数のフォルダおよびファイルがディレクトリ内にある場合、この作業は時間がかかることがあります。
- ファイルがフォルダから削除されていて、オートシンクダイアログボックスの消失ソースファイルのアイテム削除オプションが無効なまま同期コマンドを使用すると、フォルダは非同期として太字のまま残ります。これは、フォルダにはすでに存在しないファイルのアイテムを Portfolio がまだ含んでいるためです。フォルダを完全に同期するためには、消失ソースファイルのアイテム削除オプションを有効にしてフォルダをもう一度同期します。
- Portfolio を使用せずに (Macintosh の Finder または Windows エクスプローラを用いて) ファイル名を変更した場合は、Portfolio は同期の際に、名前が変更されたファイルを新規ファイルとして扱います。名前を変更されたファイルを含むフォルダを同期する場合は、そのファイルのアイテムは、キーワード、説明および他のすべての保存されたデータとともに削除され、新しい名前のファイルに対応する新しいアイテムが作成されます。したがって、このような変更を行う場合は、Portfolio 内のファイル名変更の機能を使用することを推奨します。
- 1つのオートシンクフォルダから別のオートシンクフォルダに Portfolio を使用せずにファイルを移動した場合、Portfolio はファイルが移動されたと認識して、2つのフォルダを太字表示にします。1つはファイルが削除されたフォルダで、もう1つはファイルが追加されたフォルダです。Portfolio が適切にカタログを更新するためには、これらのフォルダ両方の親フォルダを同時に同期する必要があります。そうしない場合は、Portfolio はファイルの元の場所のアイテムを削除し、新しい場所のファイルのアイテムを新たに作成します。これによりカタログは最新状態を維持しますが、オリジナルアイテムに保存されていた情報を失う場合があります。Portfolio を用いて、1つのオートシンクフォルダから別のオートシンクフォルダにファイルを移動する場合は、Portfolio は常にアイテムを適切に更新します。
- オートシンクフォルダにネットワークアクセスできない場合は、フォルダパレット内のリストでそのフォルダは薄く表示されます。カタログの一部であるそのフォルダ内のアイテムのサムネールを見ることはできますが、アイテムを開いたり変更したりすることはできません。

## FinderまたはWindowsエクスプローラへの切り替え

PortfolioのフォルダパレットからWindowsエクスプローラまたはMac Finderに簡単に切り替えて、ファイルがディスク上の実際のフォルダでどう表示されるかを確認することができます。

**Macintosh** : フォルダ表示ドロワーで表示されているフォルダ名で右クリックします。ショートカットメニューからFinder上で表示を選択します。

**Windows** : フォルダ表示パレットで表示されているフォルダ名で右クリックします。ショートカットメニューからエクスプローラを選択します。

# キーワード

キーワードは、カタログ化されたファイルに割り当てることができる説明の単語またはフレーズで、ファイルをカテゴリ化したり分類したりするものです。たとえば、日没時の熱帯地方の海岸の画像があったとすると、砂浜、海岸、海、日没、熱帯、休暇、レクリエーション、アウトドアなどのキーワードをその画像に割り当てることができます。これらの単語は、画像を他の関連する画像とグループ化したり、ファイルを検索したりするのを容易にします。Portfolio では、アイテムに割り当てることができるキーワードの数に制限はありません。

## キーワード入力 avoid する方法

キーワードで入力するのが退屈だと思った場合（ほとんどのユーザーがそう思います）、このセクションで参照しているいくつかのテクニックを利用すると、キーワードの手動による入力を最小限に抑えることができます。

- カタログ化するときにファイル名とフォルダ名をキーワードに変換する。
- カタログ作成オプションを使用して、カタログ化するときにキーワードを割り当てる。
- 既存のマスターキーワードリストをマスターキーワードパレットにインポートする。
- キーワードをサムネイルにドラッグアンドドロップして割り当てる。
- フィールド値の編集コマンドを用いて、キーワードを複数のアイテムに割り当てる。

## キーワードの追加

Portfolio には、カタログのアイテムにキーワードを追加する便利な方法がいくつかあります。

### 方法 1：カタログ化の際にキーワードを追加

Portfolio のカタログ作成オプションを使用すれば、複数のアイテムに対してそれらがカタログ化されるときにキーワードを割り当てることができます。詳細については [カタログオプション](#) 19 ページのを参照してください。

### 方法 2：キーワードの編集コマンドの使用

この方法は、数多くのファイルに同じキーワードを追加する場合に便利です。

1. ギャラリーでキーワードを割り当てるアイテムを選択します。
2. **アイテム > キーワードの編集** を選択するか、Command + Option + K (Mac) または Ctrl + Shift + K (Windows) を押します。キーワードの編集ダイアログボックスが開きます。選択されたアイテムのうち少なくとも 1 つのアイテムにすでに割り当てられているキーワードがキーワードリストに表示されます。
3. テキストボックスにキーワードを入力して、**追加** をクリックします。キーワードのステータスが追加に変化し、そのキーワードがカタログに追加され、選択されたアイテムに割り当てられることを示します。キーワードを追加した後で **割り当て** をクリックする必要はありません。追加は割り当てを意味します（つまり、ステータスフィールドが追加または割り当てになっているキーワードは、ダイアログボックスが閉じられるときにアクティブなギャラリーで選択されたすべてのアイテムに割り当てられます。追加はそのキーワードが単に新しいキーワードであることを示しているだけです）。
4. キーワードの追加が完了したら、**OK** をクリックします。

### 方法 3：プロパティダイアログボックス

プロパティダイアログボックス (**アイテム > プロパティ** を選択) を使用して、各アイテムにキーワードを追加することができます。この方法は、各々のアイテムに複数のキーワードを割り当てる場合に特に便利です。詳細については [プロパティ](#) 41 ページのを参照してください。



#### 方法 4：アイテム表示の使用

アイテム表示を使用しているときにも、任意のアイテムのキーワードを編集することができます。

1. キーワード編集機能をアクティブにするには、アイテムのキーワードフィールドの任意の場所をクリックします。
2. キーワードを追加するには、テキスト入力フィールドにキーワードを入力して[ + ]ボタンをクリックします。アイテム表示にある任意の編集可能なデータフィールドを同じ方法で編集できます。

#### 方法 5：フィールド値の編集によるキーワード追加

フィールド値の編集コマンドを使えば、選択したすべてのアイテムに対するキーワードの追加、削除、または置換が容易になります。

#### 方法 6：マスターキーワードパレットの使用

カタログの管理者がマスターキーワードのセットを作成した場合は、それらをマスターキーワードパレットで使用できます。パレットを表示するには、**ウィンドウ>マスターキーワードリストパレットを表示**を選択するか、Ctrl + K (Windows) または Shift + Command + K (Mac) を押します。

マスターキーワードパレットからキーワードを割り当てるには：

1. キーワードを追加するアイテムを選択します。
2. アイテムに割り当てる単語をマスターキーワードパレットで選択します。
3. パレットの**割り当て**ボタンをクリックします。

マスターキーワードパレットからのキーワードのドラッグアンドドロップによっても、キーワードを割り当てることができます。

1. マスターキーワードパレットからキーワードをドラッグして、そのキーワードを割り当てるアイテムの任意のサムネールにドロップします。
2. 複数のアイテムにキーワードを割り当てる場合は、まずギャラリーでアイテムを選択して、選択された任意のアイテムの上にキーワードをドロップします。キーワードは選択されたすべてのアイテムに自動的に割り当てられます。

#### 方法 7：テキストのドラッグアンドドロップ

Microsoft Word のようなドラッグアンドドロップに対応した任意のソフトウェアからテキストを選択して、Portfolio のサムネール上にドラッグして、そのテキスト中の単語をキーワードとして割り当てることができます。

## キーワードの削除

不要なキーワードを削除するには以下の 4 つの簡単な方法があります：

- フィールド値の編集コマンドを用いて、選択された複数のアイテムからキーワードを削除する。詳細は、**フィールド値の編集** 70 ページのを参照してください。
- プロパティダイアログボックスのキーワードタブでキーワードを選択し、**削除**をクリックする。
- キーワードの編集ダイアログボックスでキーワードを選択し、削除をクリックする。
- アイテム表示でキーワードを選択し、[ - ]ボタンをクリックして削除する。

# キーワードの表示

選択されたアイテムに割り当てられたキーワードを以下の場所で表示することができます：

- もしキーワードが、サムネイル表示、アイテム表示またはリスト表示（表示>アイテムを選択）の中に含まれている場合は、各表示の中。
- プロパティダイアログ（アイテム>プロパティ:キーワードを選択）のキーワードタブの中。
- キーワードの編集ダイアログボックス（アイテム>キーワードの編集を選択）の中。

キーワードが表示される場合、各キーワードの横に表示される数字は、カタログ内でそのキーワードが割り当てられたアイテムの数を表します。

キーワードリストに表示される数字は、カタログでの各単語の使用回数を表します。

## マスターキーワード

カタログに対するマスターキーワードリストを作成することにより、カタログ内のアイテム間で、またはさまざまなカタログ間で一貫したキーワードを維持することができます。マスターキーワードリストによって、リスト内のキーワードだけをカタログ内で使用できるようにすることが可能です。

キーワードの一貫性を得る最良の方法は、カタログ管理者がマスターキーワードのリストを設定することです。

マスターキーワードリストを設定すると、そのリストは自動的にPortfolioの以下のさまざまな場所で表示されます。

- マスターキーワードパレット上（ウインドウ>マスターキーワードリストパレットを表示を選択すると表示される）
- アイテムプロパティダイアログボックスのキーワードタブ内
- カタログ登録オプションダイアログボックスのキーワードタブ内

マスターキーワードは手動で入力、または既存のテキストファイルからインポートすることができます。

### キーワードに関する一般的なヒント

マスターキーワードのリストを設定する場合、カタログを検索するユーザーの立場を考慮することが重要です。たとえば「車」と「自動車」のどちらをより頻繁に使うのでしょうか。それぞれのキーワードは対象ファイルを正しく説明していますが、状況によっていずれかのキーワードがより適している場合があります。その場合はいずれかのキーワードを選択して、そのキーワードを一貫して使用するようになります。

マスターキーワードを定義して、そのキーワードのみを常に使用するようにすると、ファイルの検索がより簡単になります。また、Portfolioカタログのサイズが増えるにつれて、キーワードの数も増える傾向にあります。事前に決めたルールに従って、マスターキーワードのみを使用すると、ユーザーがより正確にファイルをカタログ化し、利用できるようになります。

外国語と日本語の統一、カタカナとひらがなの統一、外国語の複数形の使用については統一性も重要です。わかりにくいキーワードが複数存在するカタログは良いカタログとはいえません。例:fly/flies、mouse/mice、goose/geese、アップル/Apple、カタカナ/かたかな、など。

## マスターキーワードリストの作成

マスターキーワードリストにキーワードを追加には：

1. **カタログ>カタログ管理**を選択するか、Command + Option + J (Mac) または Ctrl + Shift + J (Windows) を押します。
2. カタログ管理ダイアログボックスのキーワードタブを選択します。
3. 新しいキーワードをダイアログの一番上のテキストボックスに入力し、次に**追加**をクリックします。リストに既に存在する単語の場合には、**追加**ボタンは灰色で表示されます。
4. マスターキーワードの追加が完了したら、**OK** をクリックして変更を保存し、ダイアログボックスを閉じます。

## マスターキーワードのインポートおよびエクスポート

あるカタログからマスターキーワードリストをエクスポートし、他のカタログでそのリストをインポートすることができます。これは複数のカタログ間でキーワードを共有する場合に便利です。また任意のカタログから標準のキーワードをエクスポートし、他のカタログのマスターキーワードリストにインポートし、そのキーワードリストに名前変更、追加、削除を行って、適当なマスターキーワードリストを作成するという場合もあります。

Portfolio は各キーワードが改行文字で区切られたファイルにキーワードをエクスポートします。したがって、任意の同様な形式のテキストファイルからマスターキーワードのリストをインポートすることもできます。

マスターキーワードリストをエクスポートするには：

1. **カタログ>カタログ管理**を選択するか、Command + Option + J (Mac) または Ctrl + Shift + J (Windows) を押します。
2. キーワードタブから、**エクスポート**をクリックします。
3. エクスポートするファイルの名前と保存場所を指定して、**保存**をクリックします。

任意のキーワードリストをマスターキーワードリストにインポートするには：

1. **カタログ>カタログ管理**を選択するか、Command + Option + J (Mac) または Ctrl + Shift + J (Windows) を押します。
2. キーワードタブから、**インポート**をクリックします。
3. キーワードを含んだファイルに移動して、インポートします。キーワードリストは各キーワードエントリが改行文字で区切られたプレーンテキストファイルに限ります。
4. **開く**をクリックします。キーワードがマスターキーワードリストに追加されます。

## マスターキーワード名の変更

マスターキーワードの名前を変更するには：

1. **カタログ>カタログ管理**を選択するか、Command + Option + J (Mac) または Ctrl + Shift + J (Win) を押します。
2. **カタログ管理**ダイアログボックスのキーワードタブを選択します。
3. クリックして名前を変更したいキーワードを太字にして、次に**名前を変更**をクリックします。
4. キーワードの新しい名前を入力します。
5. マスターキーワードの作業が完了したら、**OK** をクリックしてダイアログボックスを閉じ、変更を保存します。

## マスターキーワードの削除

マスターキーワードを削除するには：

1. **カタログ>カタログ管理**を選択するか、Command + Option + J (Mac) または Ctrl + Shift + J (Windows) を押します。
2. **カタログ管理**ダイアログボックスのキーワードタブを選択します。
3. クリックして名前を変更したいキーワードをハイライトし、次に**削除**をクリックします。
4. マスターキーワードの作業が完了したら、**OK** をクリックしてダイアログボックスを閉じ、変更を保存します。

### 注意：

マスターキーワードリストからキーワードを削除しても、そのキーワードを割り当てたアイテムからは削除されません。すでにアイテムに適用されているキーワードを変更（たとえば、すべての「急ぐ」を「至急」に変更）したい場合、「アイテム」からフィールド値の編集 を選択してキーワードを変更します。

# カスタムフィールドタイプ

カスタムフィールドを使用すれば、カタログ化するアイテムに使用する任意の種類の情報（日付、数字、テキストブロック、または URL）を保存することができ、ファイルの整理、カテゴリ化、および検索をより柔軟に行うことができます。

カスタムフィールドは、厳密にはキーワードや説明ではない情報によってファイルを整理する場合、完璧に整理します。たとえば、カタログ化されたファイルに関連するウェブサイトの URL のフィールドを追加したり、デジタル写真のカタログに「写真家」のフィールドを追加したり、価格情報や品番を保存するフィールドを追加したりする場合があります。

Portfolio の 6 つのタイプのカスタムフィールド：

- 日付/時刻：日付/時刻などを入力します。たとえば、このフィールドタイプは、画像の発行日用のカスタムフィールドを作成するために使用できます。
- 小数：小数を含む数値を入力します。このフィールドタイプは、ストックされた画像価格のカスタムフィールドに役に立ちます。
- 数値：普通の数値を入力します。このフィールドタイプはカタログのパーツ番号や、品番に最適です。ただし、それらの番号は数字のみに限ります。
- テキスト：1 行のテキストを入力します。写真家やアーティストの名前など、多くのカスタムフィールドに使用できます。
- テキストブロック：改行を含む、複数行のテキストを入力します。
- URL：このフィールドタイプは、ウェブや他の URL アドレスに使用します。ギャラリー表示で表示できるアクティブハイパーリンクを作成できます。

## キーワードとカスタムフィールド

Portfolio では、カスタムフィールドとキーワードをどのように使い分けるか、判断がつきにくい場合があります。一般的に、キーワードはファイルの内容やファイルの特定のプロパティ用のカスタムフィールドを説明するために使用されます。

カスタムフィールドは、ビジネスモデルに関連したファイルについての情報を保存するのに特に有用です。カスタムフィールドは、日常業務に必要な情報を保存する場合に特に便利です。ジョブ番号、部品番号、在庫、価格、はい/いいえのオプションが付いた情報、事前定義した変数を設定できる任意のデータなどを格納する際に使用するとよいでしょう。

たとえば、グラフィックデザイナーが冷凍食品のパッケージ会社から依頼されたプロジェクトを完了したとします。プロジェクトには、Adobe Illustrator のファイルと多くの関連画像が含まれています。このような場合、ファイルをカタログ化して、クライアント名とジョブ番号を格納するためにカスタムフィールドを使用します。このプロジェクトが冷凍ピザのボックスデザインであれば、「ピザ」、「サラミ」、「冷凍」というキーワードも追加します。

キーワードの追加および活用の詳細は、[キーワードの追加](#) 64 ページのを参照してください。キーワードの追加カスタムフィールドの設定および使用の詳細は、[カスタムフィールドの追加](#) 69 ページのを参照してください。

# カタログへのカスタムフィールドの追加

カタログへカスタムフィールドを追加するには：

1. アクセスレベルを管理者モードに変更します。カタログ>アクセスレベルを選択し、カタログのアクセスレベルを管理者に変更し、必要であればパスワードを入力して **OK** をクリックします。
2. **カタログ>カスタムフィールド**を選択します。
3. カスタムフィールドダイアログボックスで、**新規**をクリックします。カスタムフィールドの追加ダイアログボックスが表示されます。
4. フィールド名テキストボックスにフィールドの名前を入力します。
5. フィールドタイプを選択します。フィールドタイプによってこのフィールドに入力可能な値が決定されます。フィールドタイプは一度定義されると変更することはできません。
6. 選択したフィールドタイプの残りのオプションを適切に選択した後、**OK** をクリックして「カスタムフィールド」ダイアログボックスに戻ります。
7. カスタムフィールドの追加が完了したら、**OK** をクリックします。

## カスタムフィールドタイプ

以下に、Portfolio で作成できる各カスタムフィールドタイプの属性について説明します。

### 日付/時刻

このフィールドタイプでは、アイテムの日付か時刻、またはその両方を入力できます。日付/時刻のカスタムフィールドの追加ダイアログボックスで時刻の表示オプションの選択を外せば、時刻の値を表示しないようにできます。日付/時刻フィールドは複数の値を含み、定義済みリストとして設定できます。

#### 注意：

日付/時刻フィールドを検索する場合は、かならず時刻の存在を想定しています。つまり、（アイテムをカタログ化する際のソースファイルからの抽出により、またはフィールドに時刻を入力することにより）時刻の値がフィールドに入力されていた場合、「時刻の表示」をオフにすることによりそのフィールドが隠されていても、検索が行われる場合には Portfolio は時刻を検索に含めます。例：「5/20/02」で検索しても「5/20/02 3:00 pm」を含むアイテムは見つかりません。なぜなら、検索の要求は「5/20/02 12:00:00」と解釈されるためです。時刻が表示されていない場合でも、これは変わりません。

### 小数

このフィールドタイプでは、最大で小数点以下第 8 位までの精度を持つ数値を入力できます。小数フィールドは複数の値を含み、定義済みリストとして設定できます。精度を設定するには、ドロップダウンメニューから選択します。

### 数値

普通の数値を入力します。数値フィールドは複数の値を含み、定義済みリストとして設定できます。

### テキスト

このフィールドタイプは、1 行のテキストのために設計されています。フィールドの最大の長さは、フィールドで入力できる文字数を長さのテキストボックスに入力することで設定できます。テキストフィールドの長さは 1 から 249 文字までで、複数の値を含み、定義済みリストとして設定できます。このタイプのフィールドは複数行のテキストを含むことはできません（複数行のテキストにはテキストブロックを使用）。

### テキストブロック

テキストブロックは 32K 以内の任意の長さの複数行にわたるフィールドです。このフィールドタイプを使えば、アイテムに複数行のテキストを追加できます。改行やキャリッジリターンを含めることもできます。テキストブロックフィールドは並べ替えやフレーズでの検索はできません。

## カスタムフィールドをパレットとして表示

カスタムフィールドをより使いやすくするために、Portfolio では定義済みリストで設定された値をパレットとして表示できます。これは、マスターキーワードパレットと同様のものです。これにより、2~3回のクリックで簡単にフィールドの値を割り当てることができます。個々のアイテムを開く必要もありません。

定義済みの値のリストを持ったカスタムフィールドを作成した場合、そのカスタムフィールドの名前を持った新しいパレットが自動的にウインドウメニューのカスタムフィールドパレットサブメニューの下に加えられます。

例えば、4つの定義済みの値を持つ進行状況という名前のカスタムフィールドを作成すると、進行状況を表示コマンドがウインドウ>メニューの下のカスタムフィールドパレットサブメニューに追加されます。

進行状況を表示コマンドを選択すると、進行状況という名前の新しいパレットが開きます。パレットには、そのカスタムフィールドで使用できる定義済みの値のリストが表示されています。

## フィールド値をパレットを使用して割り当てる

フィールド値をパレットを使用して割り当てるには：

1. フィールド値を入力するアイテムを選択します。
2. 選択したアイテムに割り当てるエントリをカスタムフィールドで選択します。
3. パレットの割り当てボタンをクリックします。

カスタムパレットからエントリをドラッグアンドドロップするには：

1. カスタムフィールドから値をドラッグして、任意のサムネールにドロップし、エントリをそのアイテムに対応するカスタムフィールドに割り当てます。
2. 複数のアイテムに値を割り当てる場合は、まずギャラリーでアイテムを選択して、選択された任意のアイテム上にカスタムフィールドのエントリをドロップします。値は選択されたすべてのアイテムに自動的に割り当てられます。

## フィールド値の編集コマンドを使用

フィールド値の編集コマンドは、キーワード、説明、任意のカスタムフィールドなどのすべての編集可能なPortfolioのフィールドの値を追加、削除、および編集する作業を高速化するために設計されています。

フィールド値を編集するには：

1. 編集するアイテムのサムネールを選択します。フィールド値の編集コマンドは選択したアイテムに対してのみ有効です。ギャラリー内の全アイテムの値を編集する場合は、**編集>すべて選択**を選んで、ギャラリーのすべてを選択します。
2. アイテム>フィールド値の編集を選択してフィールド値の編集ダイアログボックスを開きます。
3. 編集するフィールドメニューから編集を行うフィールドを選択します。メニューには、カスタムフィールドを含むすべての編集可能なフィールドが表示されます。
4. 編集方法ラジオボタンからアクションを選択します。編集するフィールドに従って、データの置換、削除、追加または添付を行うことができます。
5. 追加、変更、または削除する値を置換する値フィールドで指定します。置換の場合は、置き換えられる値と、置き換える値の両方を指定する必要があります。
6. **適用**ボタンをクリックします。

# カテゴリー

Portfolio にはフォルダのような階層を使ってアイテムを視覚的に整理できる機能があります。これは、カテゴリーパレットからアクセスすることができます。たとえば、以下のような場合にこの機能を使えます：

- 低解像度画像、高解像度画像、RGB バージョン、CMYK ファイルなど、ジョブファイルのすべてのバージョンを整理する。
- 文書ファイル、画像、フォントなど、印刷関連の仕事のすべての要素を整理する。
- 一般的なカテゴリー（たとえば動物）の中により範囲の狭いトピック（鳥）やサブトピック（水鳥）がある、入れ子構造のような階層的なキーワードの構造を使って画像コンテンツをカテゴライズする。

カテゴリーパレットは、カタログのアイテムにリンクされたフォルダの階層構造からなっています。このパレットのフォルダアイコンをダブルクリックすると、そのフォルダ内のすべてのカタログ化されたアイテムを表示できます。オプションで、フォルダ内のサブフォルダの中にあるアイテムも表示することができます。

カテゴリーパレットのオプションを使えば、手動でフォルダ階層を作成でき、アイテムをカタログからカテゴリーパレットのフォルダにドラッグして、アイテムをフォルダにリンクできます。

また、フォルダをカテゴリーパレットから Macintosh の Finder または Windows エクスプローラにドラッグすれば、任意のローカルまたはネットワークボリューム上に、すべての仕事内容（フォルダ、サブフォルダ、およびカタログ化された内容）のコピーや、任意の数のフォルダやコンテンツのコピーを、1つの操作で簡単に作成することができます。

## カテゴリーとオートシンク

カテゴリーもオートシンクもデジタルファイルを階層的なフォルダ構造に整理できます。しかし、両者はこの作業に対して非常に異なったアプローチを取っています。

カテゴリー機能はファイル整理のために、深い階層になったフォルダ構造を使っています。しかし、カテゴリーパレットで表示されるフォルダは仮想的なフォルダです。それらをコンピュータ上のフォルダに基づいて作成することはできますが、それらはネットワークやハードドライブ上にある本物のフォルダではありません。それらは、Portfolio 環境の中で、心理的にファイルをグループ化したり整理したりする方法に過ぎません。コンピュータ上のフォルダとカテゴリーパレット内のフォルダには、実際のリンクは存在していません。カテゴリーパレットのフォルダにアイテムをドラッグしても、ディスク上のオリジナルファイルには何も起こりません。オリジナルファイルは今まで存在した場所に存在します。

カテゴリーパレットを使えば、パレット上で設定した階層を正確に反映した一連の全く新しいフォルダをディスク上に生成できます。しかし、システム上の既存のフォルダにファイルを移動することはできません。

一方、オートシンクを使えば、ディスク上の実際のフォルダでファイルを整理することができます。Portfolio のフォルダパレットでフォルダをダブルクリックすると、ディスク上のそのフォルダの実際の内容が表示されます。オートリンクでは、Portfolio とフォルダの間には、ネットワーク上で実際の接続が存在します。オートシンクを使って Portfolio でファイルを移動したりまとめたりするときは、ハードディスクやネットワーク上のオリジナルファイルをリアルタイムで移動させています。オートシンクは単なるカテゴライズの機能ではなく、ファイル管理機能です。

### 注意：

カテゴリー機能は強力な管理機能ですが、ファイルを論理的にも物理的にも整理できるオートシンクの方が、ほとんどのユーザーにとって最も役に立ちます。

# 新しいカテゴリの作成

カテゴリパレットを使って新しいカテゴリを作成するには：

1. アクセス権を管理者レベルに変更します。 **カタログ> アクセス権のレベル**を選択します。カタログのアクセスレベルを管理者に変更して、必要な場合はパスワードを入力し **OK** をクリックします。
2. カテゴリパレットで、**新規**ボタンをクリックするか、パレットのフライアウトメニューから新規を選択します。フォルダの名前を入力するよう求められます。
3. フォルダ名を入力して **OK** をクリックします。フォルダが、カテゴリパレットで選択されているレベル（現在選択されているフォルダの下のレベル）に作成されます。
4. すべてのフォルダを作成し終わるまで、フォルダの作成を続けます（ステップ1と2）。
5. 必要に応じてフォルダを上下にドラッグして、望みのフォルダ構造にします。Mac OS X では、ドラッグすると、どこに移動されるかを表す黒いバーが表示されます。

# カテゴリの削除

カテゴリを削除するには：

- カテゴリパレットで、削除するカテゴリを選択し、次にパレットの一番下の削除ボタンをクリックします。
- フライアウトメニューからカテゴリの削除を選択します。

# アイテムをカテゴリにリンクする

カテゴリの作成が完了したら、そのカテゴリを用いてカタログ化されたファイルを分類できます。

カタログ化されたアイテムを既存のカテゴリにリンクするには：

1. カテゴリパレットが開いていることを確認してください。
2. カテゴリ化するアイテムを選択して、カテゴリパレットの適切なカテゴリにそれらをドラッグアンドドロップします。ギャラリーの選択されたアイテムが、そのフォルダにリンクされます。

—または—

1. ギャラリーでアイテムを選択します。
2. カテゴリパレットで、アイテムをリンクするカテゴリを選択します。
3. カテゴリパレットのフライアウトメニューから、カテゴリにアイテムを割り当てを選択します。ギャラリーの選択されたアイテムが、そのカテゴリの「フォルダ」にリンクされます。

# アイテムを指定のカテゴリに表示

指定したカテゴリ内のカタログ化されたアイテムを表示するには：

1. カテゴリパレットで表示するカテゴリフォルダをダブルクリックします。
2. 選択されたフォルダ内のアイテムがギャラリーに表示されます。  
カテゴリとそのすべてのサブカテゴリの中のアイテムを表示する場合は、パレットのフライアウトメニューからサブカテゴリのアイテムを表示を選択します。選択されたフォルダとすべてのサブフォルダ内のアイテムがギャラリーに表示されます。



# アイテムをカテゴリから削除

カテゴリからカタログ化されたアイテムを削除するには：

1. カテゴリから削除するアイテムを選択します。
2. カテゴリパレットで**削除**ボタンをクリックするか、フライアウトメニューからカテゴリからアイテムの削除を選択します。選択されたカタログアイテムはカテゴリフォルダから削除されますが、ギャラリーやカタログからは削除されません。

# カテゴリに基づいたフォルダを作成

ファイルのカテゴリ化が完了したら、Portfolio は整理されたフォルダ構造をディスク上にコピーすることができます。この処理はオリジナルファイルを移動しないことに注意してください。この処理はカテゴリパレットのフォルダ構造に基づいて、新しい場所にファイルのコピーを作成します。

カテゴリに基づいたファイルとフォルダ構造をカテゴリからディスク上に作成するには：

1. カテゴリパレットで、コピー元のカテゴリの最上位レベルのフォルダを選択します。
2. そのフォルダを Finder (Mac) またはエクスプローラ (Win) にドラッグします。Mac では、すべてのアイテムに対して 1 つのフォルダを作成するか、またはフォルダ階層を維持するかを尋ねるダイアログボックスが表示されます。

—または—


1. パレットのフライアウトメニューからファイルのコピーを作成を選択し、アイテムを保存するフォルダを選択します。
2. **フォルダの作成**をクリックして、すべてのアイテムを 1 つのフォルダに置くか、**すべてのフォルダの作成**をクリックしてフォルダ階層を維持します。Portfolio は、カテゴリパレットの各フォルダに対応する、新しい「本物の」フォルダをディスク上に作成し、各オリジナルファイルのコピーを適切なフォルダの中に置きます。

# ファイルの配布

## ファイルの電子メールによる送信

Portfolio カタログの中から電子メールで画像、低解像度のプレビュー、および他のデジタルファイルを他のユーザーに送ることができます。Portfolio は使用しているコンピュータの電子メールソフトウェアに直接接続します。これにより、手動で電子メールのソフトウェアを起動したり、画像の解像度を変更するために画像編集ソフトウェアを開いたりすることなく、画像を配布したり校正した画像を送付したりすることが容易にできます。

Portfolio からファイルを電子メールで送信するには：

1. 現在のギャラリーから送信したいアイテムを選択します。
2. ツールバーの**電子メールで送信**  ボタンをクリックします。Portfolio は、以下のファイルの送信方法を指定するように求めます：
  - オリジナルファイルの送信
  - 低解像度プレビューの送信
  - 特定のピクセル幅のプレビューの送信
3. オプションを選択して **OK** をクリックします。Portfolio はシステムのデフォルトの電子メールソフトウェアを起動して新規メッセージを作成し、選択されたファイルをメッセージに添付します（プレビューのオプションが選択された場合はプレビューを生成し、添付します）。
4. 新規の電子メールは、電子メールソフトウェアで自動的に作成されます。電子メールの送付先アドレスを指定し、件名と本文を通常と同様に記入します。

### 注意：

Portfolio から電子メールに添付できるアイテムの数やサイズに制限はありませんが、使用している電子メールクライアントソフトウェア、ネットワークの電子メールサーバー、またはインターネットサービスプロバイダには添付ファイルのサイズ制限がある場合があります。添付ファイルが非常に大きくなる場合は、それらのファイルを Portfolio の収集コマンドで集めて、FTP を用いてインターネットで転送するほうが良いかもしれません。

## ファイルのディスクへの書き込み


Portfolio には、CD または DVD に直接焼き付ける機能があります。他の CD/DVD 作成ソリューションは必要ありません。

### 注意：

ディスクへの書き込み機能は、オペレーティングシステムに依存します。また、Portfolio を使用してファイルを収集し、後でディスクに書き込むこともできます。

ディスクへの書き込み機能を使えば、カタログにあるオリジナルファイルのアーカイブの作成や、クライアント用のプレビュー画像ディスクの作成、またはオリジナルファイルのコピーの発行でさえ行うことが可能です。


## オリジナルファイルまたはプレビューファイルのディスクへの書き込み

1. 必要であれば、外付け CD または DVD 書き込み用の機器がコンピュータに接続されていることを確認します。
2. ドライブに空のディスクを挿入します。
3. ギャラリーパネルで、書き込むアイテムのギャラリーを開きます。そのギャラリーのすべてのアイテムがディスクの作成に使用されます。Portfolio では、1 つのカタログのみにあるファイルの書き込みがサポートされています。このオプションは、複数のカタログのアイテムを含むギャラリーでは使用できません。
4. **ギャラリー>ディスクへの書き込み**を選択します。または、ツールバーから**ディスクへの書き込み**  ボタンをクリックします。
5. ディスクへの書き込みダイアログボックスで、ディスクのボリューム名を入力します。これは、ディスクをドライブに挿入したときに、Windows エクスプローラまたは Macintosh の Finder で表示される名前です。
6. 次の3つのファイルオプションから選択します：
  - オリジナルファイル：フルサイズのオリジナルファイルを含みます。
  - オリジナルと同じサイズの低解像度 JPEG ファイル
  - X 幅の低解像度の JPEG ファイル：このオプションを選択すると、ファイルのサイズ変更をして、特定のピクセル幅に合わせます。
7. オリジナルファイル（このカタログ内のアイテムをディスク上のファイルに置き換える）は選択しません。このオプションは、アーカイブディスクの作成のみに使われます。
8. 含めたいファイルのフォルダ名を入力します。
9. 必要であれば、フォルダ階層を維持してファイルを整理するオプションをチェックしてください。このオプションを使えば、ディスク上のオリジナルファイルのサブフォルダと同じ位置にサブフォルダが作成されます。
10. ウィンドウの1番下にある予想サイズフィールドに表示される収集されたファイルの合計サイズ（メガバイト）をチェックして、書き込むボリュームに十分な空きスペースが有ることを確認してください。
11. **書き込み**をクリックしてアーカイブディスクを作成します。書き込みプロセスが終了した際、書き込みセッションが閉じられ、その他のファイルをディスクに追加することができなくなります。

## オリジナルファイルをディスクにアーカイブ

必要に応じて、オリジナルファイルのアーカイブディスクを作成することができます。アーカイブディスクを作成すると、オリジナルファイルがディスクにコピーされ、カタログからのパスはアーカイブディスクを示すように更新されます。カタログにはサムネールとアーカイブされたファイルのプレビュー画像がそのまま残りますが、オリジナルファイルを開くと、Portfolio によりアーカイブディスクを挿入するように求められます。

## ファイルをディスクにアーカイブするには：

1. 必要であれば、外付け CD または DVD 書き込み用の機器がコンピュータに接続されていることを確認します。
2. ドライブに空のディスクを挿入します。
3. ギャラリーパネルで、書き込むアイテムのギャラリーを開きます。そのギャラリーのすべてのアイテムがディスクの作成に使用されます。Portfolio では、1つのカタログのみにあるファイルの書き込みがサポートされています。このオプションは、複数のカタログのアイテムを含むギャラリーでは使用できません。
4. ツールバーにある**ディスクへの書き込み**  をクリックするか、**ギャラリー > ディスクへの書き込み** を選択します。
5. ディスクへの書き込みダイアログボックスで、ディスクのボリューム名を入力します。これは、ディスクをドライブに挿入したときに、Windows エクスプローラまたは Macintosh の Finder で表示される名前です。複数のアーカイブディスクを作成する場合、たとえば、ARCHIVE001、ARCHIVE002 などのようなアーカイブディスクの論理ボリュームによる命名規則を選択することが賢明です。これによりアーカイブディスクを効果的に整理し素早く探すことができます。ボリューム名の長さは、最大 16 文字に限定されます。
6. Mac では、オリジナルファイル（このカタログ内のアイテムをディスク上のファイルに置き換える）を選択します。Windows では、オリジナルファイルおよびディスクに書き込むファイルへのカタログのリンクパスのオプションをチェックを選択します。
7. フォルダ名を入力して、ディスク上のオリジナルファイルを整理します。
8. 必要であれば、フォルダ階層を維持してファイルの整理オプションをチェックしてください。このオプションを使えば、オリジナルファイルのサブフォルダと一致するディスク上の場所にサブフォルダが作成されます。
9. アーカイブディスクを作成すれば、元のカatalogはオリジナルファイルの新しい場所を示すように更新されます。
10. ウィンドウの 1 番下にある予想サイズフィールドに表示される収集されたファイルの合計サイズ（メガバイト）をチェックして、書き込むボリュームに十分な空きスペースが有ることを確認してください。
11. **書き込み** をクリックしてアーカイブディスクを作成します。書き込みプロセスが終了したら、書き込みセッションが閉じられ、その他のファイルをディスクに追加することができなくなります。ディスクに十分な空き容量がない場合には、書き込みの処理は完了できません。

アーカイブディスクに書き込みを行った後、オリジナルファイルはまだシステム上に残っていますが、カタログはすでにアーカイブディスクを参照しています。必要であれば、Finder (Mac) またはエクスプローラ (Win) を用いてシステム上のオリジナルファイルを削除してもかまいません。


## ファイルの収集

Portfolio を使用していると、カタログ化されたファイルをコンピュータやネットワーク上のさまざまな場所からコピーして 1 か所に集めるのが便利だと思う場合が多くあるかもしれません。ディスクへの書き込みコマンドのように、収集コマンドは、ファイルをコピーして収集します。

## 収集機能を使用するのは次のような場合が考えられます。

- ネットワーク上に分散しているファイルを1つの場所にコピーする。
- ファイルを選択してネットワーク上の新しいフォルダにコピーし、他の人がそれらのファイルにアクセスして使用できるようにする。
- ファイルを1か所に集め、Portfolioのファイルと他の必要な内容をすべて含んだCDまたはDVDを作成する。これはディスクへの書き込みコマンドを使うよりも収集コマンドを使う方が便利な点です。
- 配布とレビューのために低解像度のJPEG画像を集める。

### ファイルを収集するには：

1. コレクションに含めるすべてのファイルが現在のギャラリーに含まれていることを確認します。
2. ツールバーの **Collect**  ボタンをクリックします。または、**ギャラリー>収集**を選択します。
3. 以下から、収集するファイルの種類を選択します：
  - オリジナルファイル
  - 低解像度のJPEGファイル
  - 特定のピクセル幅の低解像度のJPEGファイル
4. コレクションの保存先を選択します。
5. **フォルダ**ボタンをクリックする (Mac) か、または**参照**ボタンをクリック (Win) して、新しいコレクションがコピーされるフォルダを選択します。フォルダの選択またはフォルダの参照ダイアログボックスで、既存のフォルダの選択または新しいフォルダの作成ができます。
6. Macでは、収集したファイルをCD-Rに書き込む場合、カタログ機能を付加して正常に動作させるには、CDをドライブに挿入してマウントしたボリュームを収集先に指定してください。このアクションによってのみ、特定の場所にファイルを収集し、ディスク作成を完了させないようにできます。
7. 収集したファイルをフォルダ階層にコピーする場合は、フォルダ階層を維持してファイルの整理するオプションをチェックします。収集されたファイルを単一のフォルダに収集する場合は、このオプションのチェックを外したままにします。
8. Windowsでは、コレクションをCD-Rに書き込む場合、このボリューム名を新しいカタログで使用するをオンにして、最終的にCDに付ける名前を入力します。これにより、アーカイブカタログのパスが正常に動作します。
9. ウィンドウの1番下にある予想サイズフィールドに表示される収集されたファイルの合計サイズ (メガバイト) をチェックして、書き込むボリュームに十分な空きスペースが有ることを確認してください。
10. **収集**をクリックします。Portfolioは現在のギャラリー内のすべてにアイテムをコピーします。

# Webページの作成

Web ページ作成アシスタントを使用すると、ウェブページを最初から作ったり、HTML コードを直接書くことなく、Portfolio カタログから極めて簡単にウェブページを作成することができます。Web ページ作成アシスタントを用いて生成されるウェブページは静的なものです。それをエクスポートした時点でのPortfolioの内容は、静止した「スナップ写真」のようなものです。

Web ページの作成を使用すると、数クリックで洗練されたウェブページを作成することができます。直感的に操作できるWeb ページ作成アシスタントは、プロフェッショナルな出来映えのウェブページを作成する各操作をサポートします。

この機能はさまざまな方法で使用することができます。たとえば、Web ページの作成を使用してウェブサイトのHTML ファイルパッケージを作成し、ディスクに書き込むことができます。

選択するサイトテンプレートに依存して、最大5つの簡単な操作でサイトを作成できます。サイトの各ページを設定するために、以下の操作をアシスタントが順を追ってガイドします。

## ウェブページを作成するための操作

- **ウェルカム**：エクスポートするカタログ名と画像数を一覧表示します。
- **開始**：ウェブサイトのレイアウトを選択します。
- **サイト**：サイトのすべてのページに適用されるグローバル設定をここで設定します。サイトに「トップページ」を追加することもできます。
- **ギャラリー**：ウェブページでの画像の表示方法を設定します。
- **詳細**：通常1つの高解像度画像と他の詳細情報が表示される詳細情報ページを設定します。
- **エクスポート**：エクスポートする場所の設定と、テンプレートに加えられた変更の将来の再利用のための保存を行います。

## Web ページの作成 - 開始操作

Portfolio ギャラリーの選択された画像のウェブページを作成するには：

1. ウェブページに含める画像のサムネールを選択します。Web ページの作成コマンドは選択されたアイテムのみに作用します。ギャラリーで表示されているすべての画像を含めるときは、**編集>すべて選択**を選択します。
2. **アイテム>Web ページの作成**を選択します。
3. Web ページ作成アシスタントが表示されます。アシスタントが処理の各操作を案内します。以下では、各操作に関する詳細について説明します。

### 注意：

HTML コードによるウェブページ作成と同様、ウェブを見る人が使用するブラウザの種類とバージョンによりウェブページの見え方は異なります。作成されたページにアクセスするユーザーが使用すると想定されるすべてのブラウザで生成されたページをテストすることを推奨します。

### 開始操作

開始操作では8つのプロフェッショナルなデザインのテンプレートを選択することができます。これらのテンプレートをコピーして、特別なニーズに合わせてカスタマイズすることもできます。

操作の1番上のアシスタントパスにより、現在、エクスポート処理のどこまで進んでいるかが分かります。各サイトアイコンをクリックすると、そのテンプレートの詳細が表示されます。

各テンプレートは特定のページレイアウトとデザイン情報を持っており、アシスタントは各テンプレートで設定可能なオプションとページのみを表示します。

開始操作以降、どの時点でも **Web ページのエクスポート** をクリックすることができます。この場合、エクスポート操作までの以降の操作ではデフォルトの設定が使用されます。

デザイン済みテンプレートを使用するには：

1. 使用するテンプレートのアイコンをクリックしてハイライトします。
2. **Web ページのエクスポート(またはエクスポート)**をクリックして、すべてデフォルトでサイトを設定します。または、**次へ**をクリックして、テンプレートのページを設定します。

## Web ページの作成 - 基本設定操作

基本設定操作ではグローバルサイトオプションを指定します。これらはサイトのすべてのページに表示されるアイテムです。

### サイト設定 (Web ページのタイトル)

Web ページのタイトルボックスには、サイトを見るときにブラウザのタイトルバーに表示されるテキストを入力します。

### サイトロゴ

すべてのページに表示するカスタムのグラフィックを選択することができます。これは、会社のロゴや、またはエクスポートされる画像グループの画像説明などになります。JPG、GIF、PNG ファイルを使用することができます。最大サイズの推奨は 150×90 ピクセルです。

デフォルトのロゴのグラフィックを変更するには、**参照**ボタンをクリックして、使用するグラフィックの場所に移動します。

#### 注意：

グラフィックのファイル、HTML、および他のファイルはコンピュータ上のどこにあってもかまいません。サイトをエクスポートするときにアシスタントが自動的にすべてのファイルを集めます。

### サイトヘッダーおよびフッター

Web ページのヘッダーとフッターにはテキストまたは HTML を入れることができます。ウェブサイトのナビゲーションボタン、または選択したものを何でもここに含めて、現在使用中の他のサイトと一致する外観を作成できます。ヘッダーおよびフッターの最大サイズの推奨は 600×90 ピクセルです。

ヘッダーまたはフッターファイルを変更するには、**参照**ボタンをクリックします。選択したファイルが自動的にコピーされて、ファイル名が header.html または footer.html に変更されます。

#### 注意：

アシスタントでは特にリストされていませんが、新しいヘッダー、フッターまたはロゴを指定しないかぎり、デフォルトテンプレートを使用する場合はヘッダー、フッター、Web ページのロゴは必ず含まれます。

### トップページ

トップページは、サイトのユーザーに最初に表示するページです。サイトのナビゲート方法などの重要な情報を入れることができます。トップページは、480×480 ピクセルの推奨される最大サイズまで拡大でき、テキストまたは HTML を入れることができます。

### ホームページへのリンクを含める

このオプションをチェックすると、すべてのページに指定したホームページへのリンクが設定されます。ほとんどのテンプレートでは、ロゴのグラフィックがリンクになっており、このテキストボックスに入力された URL を使用します。

## Web ページの作成 - ギャラリー操作

ギャラリー操作では、アイテムのサムネールを表示するウェブページを設定します。このステップで、ページのデザイン、サムネールのサイズ、表示するデータフィールド情報などを指定します。

### ページスタイル

最初の操作はギャラリーのページスタイルの選択です。ページスタイルでは、ページの一般的な機能とページの外観が定義されます。ページスタイルは、どのアイテムをどこに表示するかを決めるものです。他のページスタイルを選択するまで、デフォルトが選択されます。

ページスタイルを選択するにはページスタイルアイコンをクリックしてハイライトします。

### スタイルシート

選択するサイトに応じて、複数のスタイルシート候補が表示されることがあります。スタイルシートでは、サイトのカラースキーム、通常は最終的なページ上の各アイテムの背景色とテキスト色を制御します。

### サムネールオプション

サムネールオプションを使えば、表示される画像のサイズ、縦横のレイアウト、および画像をクリックした際の動作を設定できます。

サムネールサイズは、カタログ内のサムネールのサイズに依存します。オリジナルサイズを選択した場合は、カタログのサムネールサイズが使用されます。

#### 注意：

カタログのサムネールのサイズより大きいサイズを選択すると、サムネールの表示品質が低下する可能性が高くなります。したがって、カタログでサムネールが 112 ピクセルで作成されている場合は、112 より大きいサイズを入力するべきではありません。新しい設定を選択した場合は、必ずページをプレビューして確認してください。

ドロップダウンメニューから、ユーザーがサムネールをクリックした結果として発生するアクションを選択します。詳細の表示を選択すると詳細情報ページが表示されます。その他のオプションは、各表記のとおりです。

### 表示フィールド

ページスタイルによっては、多くのデータフィールドを表示することができます。ページに含めるデータフィールドをチェックして、フィールドをクリック、およびドラッグし、適切な表示順序に並べ替えます。

#### 注意：

表示フィールドを選択する場合は、グループフィールドで表示方法を選ぶことができます。フィールドはテキストボックス、プルダウンメニュー、またデータの種類によってはハイパーリンクで表示できます。デフォルトのテンプレート設定は以下の順番で用意されています：

1. テキストボックス
2. プルダウン
3. ハイパーリンク



## Web ページの作成 - 詳細情報

詳細情報ページは、ただ1つの画像が、他のページに表示されるサムネールよりも大きいサイズ、高い画質で表示されるページです。このステップでは、詳細情報ページオプションを設定します。

### ページスタイルとスタイルシート

ページスタイルとスタイルシートオプションは前のページと同様の動作をします。ページスタイルをクリックしてハイライトし、ドロップダウンリストからスタイルシートを選択します。

### 画像オプション

表示する画像、その画像のサイズ、ユーザーが画像をクリックした結果として発生するアクションを選択することができます。

使用する画像では、ウェブブラウザ上でどの画像を表示するかを指定します。次の中から1つを選択します。

- オリジナルはオリジナル画像を表示します。この設定を使用する場合は、必ず具体的な画像のサイズを次のフィールドで設定してください。
- プレビューはカタログからの画面プレビューを使用します。カタログが画面プレビューを含んでいない場合は、オリジナル画像が使用されます。
- サムネールはカタログのデフォルトサムネールを使用します。

オリジナル以外でサイズを設定した場合は、Portfolioによって画像が選択されたサイズに変更されます。

#### 注意：

画像サイズと使用する画像の両方にオリジナルを選択した場合、ウェブブラウザで表示できないファイル（TIF、PSD など）は詳細画像を表示できません。この問題を解決するには、オリジナルサイズ以外の画像サイズを選択してください。これにより、Portfolio が自動的に新しい画像を作成します。

ユーザーがオリジナルファイルを開くことのできるリンクまたはボタンを追加するには、画像のクリックでオリジナルを表示を選択します。

### 表示フィールド

ページスタイルによっては、多くのデータフィールドを表示することができます。ページに含めるデータフィールドをチェックして、フィールドをクリック、およびドラッグし、適切な表示順序に並べ替えます。

## Web ページの作成 - エクスポート操作

エクスポート操作では、サイトをエクスポートする場所とテンプレートのコピーを保存する場所を指定します。

### テンプレート設定のコピーの保存

すべての選択をした後、同じ設定をまた使用するために選択内容を保存する場合があります。選択内容を保存するには、レイアウトの説明を入力してコピーを保存ボタンをクリックします。次回ウェブページ作成アシスタントを使用するときに、保存されたテンプレートが他のデフォルトテンプレートとともに一覧表示されます。

### サイトのエクスポート

1. 保存場所ボックスにディレクトリを入力します。参照ボタンをクリックして、保存するディレクトリに移動します。
2. エクスポートをクリックします。

#### 注意：

選択したアイテムの数によっては、サイトのエクスポートには非常に長い時間がかかる場合があります。

## 独自の Web ページテンプレートを作成

作成したテンプレートへのカスタマイズを保存するには、以下の方法を使用することができます：

- 開始操作でテンプレートをコピーします。
- エクスポート操作で**コピーの保存**ボタンを使用します。
- Web ページ作成アシスタントの各手順で**ソースの表示**ボタンを使用しソースコードを表示および編集します。

テンプレートの変更をデフォルトテンプレートに直接保存することはできません。これは、ユーザーが常にデフォルトテンプレートにアクセスできるようにしているからです。

テンプレートをコピーするには：

1. Web ページ作成アシスタントの「開始操作」で、サイトアイコンを右クリックして、メニューから複製を選択します。
2. ダイアログボックスで新しいテンプレートの名前を入力して、**OK** をクリックします。
3. 新しいテンプレートアイコンをクリックしてハイライトします。
4. **次へ** をクリックして、新しいテンプレートを使ったページの設定を始めます。

### 注意：

アシスタントのエクスポート操作では、テンプレートを保存するオプションがあります。必ず**保存**をクリックした後で使用ができるようにしてください。

## Web ページテンプレートの非表示及び再表示

Web ページ作成アシスタントの開始操作には、今後使用しないと思われる複数のテンプレートが存在する可能性があります。インターフェースを単純にするには、それらの表示を非表示にすることができます。テンプレートを隠しても削除されることはありませんので、いつでも再表示できます。

テンプレートを非表示にするには：

- サイトのアイコンを右クリックして、メニューから隠すを選択します。

テンプレートを再表示するには：

1. 任意のサイトのアイコンを右クリックします。
2. 再表示から以下のいずれかを選択します：
  - **すべてを表示**(または**すべて**)を選択して、すべての隠されたテンプレートを表示します。
  - **再表示する特定のテンプレート名**を選択します。

## Web ページのソースコードの編集

HTML の知識があれば、Web ページ作成アシスタントでソースコードを直接編集することができます。

ソースコードを表示するには、ギャラリー操作または詳細情報操作から、**ソースの表示ボタン**をクリックします。このツールを使えば、定義済みのソースコードの細かい調整も簡単に行えます。

ソースコードエディタでは以下のことができます：

- ページのソースコードを直接編集することができます。
- デフォルトのウェブブラウザに変更内容をプレビューできます。
- 現在のソースコードをファイルにエクスポートすることができます。
- ファイルを読み込み、現在のソースコードをインポートしたファイルで置換することができます。
- 編集されたソースファイルを保存または別名で保存 (または名前を付けて保存) することができます。

### 注意：

ソースファイルを編集する場合、ページの機能が損なわれて、できあがったサイトが正常に動作しない可能性があります。ソースファイルを編集する場合は注意してください。ページ設定をすべて選択する前に、ソースを見ておくことをお勧めします。これによって、アシスタントにより設定されるパラメータをより良く理解することができます。ページの機能を損なう可能性が少なくなります。

閉じるボタンをクリックすると、Web ページ作成アシスタントに戻ります。

## NetPublish

NetPublish を使えば、Portfolio カタログをウェブヘダイナミックに公開することができます。

Portfolio NetPublish で制作したウェブページでは、ウェブユーザーがリアルタイムでカタログ内のファイルに対する追加や変更をウェブ上で見ることができます。Portfolio NetPublish Assistant は、自動的に Portfolio クライアントとともにインストールされます。システム要件とインストールに関する詳細については、Portfolio Server Admin ガイドを参照してください。

## Webページの配布

### HTML ファイルを Web サーバーに FTP で送信

Web ページの作成ツールを使用して Web ページを作成後、Web サーバーがあれば、Web サーバーに作成したファイルをアップロードすることができます。市販されている、またはオペレーティングシステムの FTP ツールを使用することができます。

Mac OS X オペレーティングシステムでファイルを FTP 送信するには：

1. Finder 内で、**移動>サーバーへ接続**を選択します。
2. サーバーへ接続ダイアログボックスで、サイトの FTP の場所を入力して**接続**をクリックします。
3. ユーザー名およびパスワードを入力して、**OK** をクリックします。FTP サイトがネットワークボリュームのようにマウントされます。これで、ファイルを新しい場所に直接ドラッグアンドドロップすることができます。

Windows XP オペレーティングシステムでファイルを FTP 送信するには：

1. Windows エクスプローラウィンドウを開きます。
2. サイトの FTP アドレスをアドレス行に入力します。
3. ユーザー名およびパスワードを入力して、**ログオン**をクリックします。FTP サイトが他のネットワークサイトのように開かれます。これで、エクスプローラウィンドウのように、ファイルを新しい場所にドラッグアンドドロップまたは移動することができます。

## HTML ファイルのディスクへの書き込み

Web ページの作成コマンドを使用すると、完全にカプセル化された Web サイトを作成でき、HTML および関連ファイルが含まれたディレクトリを CD、DVD またはその他のリムーバブルメディアに書き込むことができます。これにより、Web ブラウザで index.html を直接開くことができます。

## ネットワーク上で HTML ファイルを共有

ウェブサイトを書き出して、OS があらかじめ持っているファイル共有機能を使用して LAN 上の他のユーザーと共有することができます。

### **TIPS**

- ウェブページを一カ所書き出して、そのフォルダを共有すれば、書き出したすべてのウェブページは自動的にネットワーク上で共有されます。
- ウェブページを書き出す際に、出力フォルダ内の Webpages フォルダの中に最初のページが作成されます。ファイル名は index.html です。

# スライドショー

Portfolioのスライドショー機能を使えば、カタログの画像（サムネールではない）から自動的に実行されるスライドショーを作成できます。スライドショーは、指定した間隔、または手動で画像を進めます。スライドショーを他の人に配布するために、スタンドアロンの QuickTime ムービーとして保存することも可能です。

Portfolioはアクティブなギャラリーのファイルをスライドショーに使用します。スクリーンは空白になり、現在のギャラリービューの背景色の上で画像が表示されます。画像を実際のサイズで表示するか、スクリーンを最大限に利用するサイズに変更するかを選択できます（アイテムがスクリーンで表示するには大きすぎる場合は、自動的に縮小されます）。

スライドショーで使用するアイテムを探すときに、画面プレビューが存在する場合は、画面プレビューが表示されます。画面プレビューが見つからず、ソースファイルも見つからない場合は、アイテムのサムネールが表示されます。

## スライドショーの作成

スライドショーを作成するには

1. スライドショーで使用するアイテムをすべて含むギャラリーを作成します。
2. ギャラリー内のアイテムをクリックし、表示したい順番にドラッグして並べ替えます。スライドショーは、3D 画像、ムービー、およびサウンドを含むことができます。Portfolioでプレビューできるものはすべてスライドショーで表示できます。
3. **表示>スライドショー**を選択するか、Command + Shift + S (Mac) または Ctrl + : (Win) を押します。
4. 手動で操作するスライドショーでは、コントローラーの矢印を使って、次または前のアイテムに移ります。または、キーボードの左右の矢印キーを使って、スライドショーの中で前後のアイテムに移動できます。Home または End キーを使えば、スライドショーの最初または最後に移動できます。時間で自動的に切り替わるスライドショーは自動的に開始します。ミニコントローラーの一時停止ボタンを使えば、プレゼンテーションの停止や開始、再開を行うことができます。スライドショーが連続再生でなければ、最後のアイテムが表示されると終了します。
5. スライドショーを中断してギャラリーに戻るには、コントローラーの停止ボタンを押すか、キーボードの *ESC* キーを押します。時間で切り替えのスライドショーの場合、指定された時間間隔がたってから画像の読み込みが始まり、大きい画像の場合は読み込みに最大 2~3 秒かかるということに注意してください。


# スライドショーのオプションを設定


スライドショーのオプションを設定するには：


1. **表示>スライドショーのオプション**を選択します。
2. スライドショーのオプションダイアログボックスのスライドの切り替えセクションで、手動または一定の時間で自動切り替えを選択します。手動によるスライドショーでは、矢印キー、または画面上のビデオのようなスライドショーコントロールを使って画像を切り替えます。一定時間で自動的に切り替わるスライドショーでは、スライドは自動的に進みます。時間間隔を最大 99 秒まで設定できます。
3. 表示サイズを選択します。実際のサイズは、画像をソースファイルの画像の実際のサイズで表示します。画面に合わせて表示では、Portfolio が画像をディスプレイの画面サイズに合わせて拡大します。いずれの場合も、画像が大きすぎる場合は、画面に合わせて縮小されます。
4. スライドショーの他のオプションを設定します。スライドショーを連続再生する場合は、連続再生チェックボックスをオンにします。スライドショーで画像とともにフィールド（たとえば、ファイル名、またはカスタムフィールドに保存されたキャプション）を表示する場合は、フィールドの表示チェックボックスをオンにして、ドロップダウンメニューからフィールドを選択します。スライドショーを実行すると、画面の下に沿って、画像の下に（現在のギャラリーで使用されているフォントで）フィールドテキストが表示されます。
5. すべてのオプションの設定が完了したら、**OK** をクリックします。これでスライドショーを実行する準備が整いました。


# スライドショー中にファイルを編集


スライドショーの間に表示される手動のコントローラーを使用して、Portfolio カタログのアイテムを素早く編集することができます。これらのコントロールを使用すると、素早く必要のないアイテムを削除したり、ファイル名を変更したり、他の便利な機能を実行できます。

 Portfolio カタログからアイテムを削除します。

 オリジナルファイルを削除します。

 オリジナルファイルをコピーします。

 オリジナルファイルを移動します。

 オリジナルファイルの名前を変更します。

# スライドショーの自動開始

カタログが開かれたときにスライドショーを自動的に実行させることができます：

1. **カタログ > カタログ管理**を選択します。
2. 起動時の動作タブでスライドショーを開始するオプションを有効にします。
3. 次回カタログを開いたとき、すべてのアイテムのギャラリーのスライドショーが自動的に起動します。

## スライドショーのQuickTimeムービーへの保存

QuickTime ムービーを作成オプションはカタログのアイテムをエクスポートして、QuickTime ムービーのフォーマットで保存します。スライドショーをエクスポートする場合は、ムービーのトランジションを指定します。

スライドショーを QuickTime ムービーとしてエクスポートするには：

1. QuickTime ムービーを使ったスライドショーとしてエクスポートするギャラリーを開きます。
2. **アイテム > QuickTime ムービーの作成**を選択します。
3. ムービーのサイズを設定し（ピクセル数）、各スライドのタイミングを設定し、画像切り替え時のエフェクトをドロップダウンボックスから選択します。
4. **選択**（Mac）または**編集**（Windows）をクリックして画像を切り替えるときのエフェクトを設定します。各エフェクトに特有のオプションがあります。画像を切り替えるときのエフェクトのオプションを設定して、**OK** をクリックします。
5. **OK** をクリックして、QuickTime ムービーの設定を終了します。
6. ムービーファイルの名前と保存場所を選択します。
7. **保存**をクリックします。

### 注意：

スライドショーをエクスポートするときに、オリジナル画像（アイテムのソースファイル）が見つからない場合は、カタログのサムネイルが代わりにエクスポートされます。QuickTime ムービーファイル（.mov）をエクスポートした場合は、エクスポートされたファイルは空になります。

# Portfolio Express

Portfolio Express パレットはフローティングパレットで、いつでもすべてのアプリケーションからグローバルキーボードショートカットにより、Portfolio カタログの内容を簡単に利用できるようにします。カタログ化したすべてのファイルを検索したり、コピーしたり、開いたりして使用することができます。Portfolio を起動して開く必要もありません。パレットは、カタログ中の各アイテムのサムネールをファイル名とともに表示します。

Portfolio Express パレットには以下のような使い方があります：

- パレットを使って画像をすばやく探し出し、見つけた画像をダブルクリックして、Adobe Photoshop や指定した他の画像編集ソフトウェアでその画像を開くことができます。
- パレットを開いて、Microsoft Word や Adobe InDesign のようなドラッグアンドドロップに対応したアプリケーションに画像をドラッグすることができます。
- 電子メールを作成しているときに、パレットからファイルをつかみメッセージにドラッグすることにより、そのファイルを添付することができます。
- パレットからロゴ、クリップアート、または他の画像を選択して、PowerPoint のスライドや Word の文書に直接ドラッグできます。
- Portfolio Express ホットキーを押して、パレット上の画像を選択し、Finder で表示またはエクスプローラで表示コマンドを選択するだけで、ディスク上にある画像を今までにはない速さで見つけ出すことができます。

Portfolio Express パレットは、システムのどの場所からでも、画像にすばやく、簡単にアクセスできるよう設計されています。Portfolio Express パレットでは、Portfolio へ新しいアイテムをカタログ化したり、既存の Portfolio レコードを編集したり、キーワードを追加したり、他のファイル管理のタスクを実行したりすることはできません。

Portfolio Express パレットは、カタログ化されたアイテムを選択して使用することを容易にします。Portfolio カタログを編集したり、他のファイル管理を行うには、メインの Portfolio アプリケーション（パレットから起動できる）を使用してください。

Portfolio Express パレットは完全にバックグラウンドで実行されるので、Macintosh Dock や Windows のツールバーにアイコンは表示されません。

## Portfolio Express を起動

Portfolio Express パレットは Portfolio とは異なる、独立したアプリケーションです。デフォルトで、Portfolio Express パレットはメインの Portfolio アプリケーションと同じフォルダにインストールされます。

**Portfolio Express をインストール後、最初に起動するには：**

**Macintosh：** Portfolio Express を起動するには、Portfolio Express のアイコンをダブルクリックします。Macintosh の場合、デフォルトでは Portfolio Express は自動的に起動するアプリケーションとしてインストールされます。

**Windows：** Portfolio Express パレットはスタートアップアプリケーションとしてインストールされるので、起動時にバックグラウンドで実行されます。デフォルトのホットキーを押す（Ctrl + Shift + P）か、システムトレイの Portfolio Express のアイコンをダブルクリックすると、パレットが表示されます。

Portfolio Express のアプリケーションがバックグラウンドで実行されていない場合は、**スタート>すべてのプログラム>Extensis>Portfolio>Portfolio Express** の順に選択します。



# Portfolio Expressでカタログを開く

Portfolio Express パレットを最初に起動するときにはパレットは空で、カタログメニューには「開いているカタログがありません」というメッセージが表示されます。

**Portfolio Express でカタログを開くには：**

1. パレットの右側のフライアウトから**カタログを開く** を選択します。
2. カタログに移動して、**開く**を選択します。

最近使ったカタログを開くには、パレットのカタログドロップダウンメニューからカタログ名を選択します。

Portfolio Express パレットは最近開いたカタログをいくつか記憶しています。開きたいカタログが、最近使ったカタログのメニューに表示されない場合は、メニューから**カタログを開く**を選択してそのカタログを探します。

パレットを使って一度開かれたカタログは、パレットの一番上にあるカタログメニューを使って順番を切り替えることができます（開いているカタログは常にメニューの一番上に表示されます）。

## **注意：**

Portfolio Express パレットを使って Portfolio カタログを開く方法は、メインの Portfolio アプリケーションでカタログを開く方法と全く同じです。カタログがパスワードで保護されている場合は、パレットからカタログを開くために適切なパスワードを入力するように要求されます。

# Portfolio Expressを使用した検索


Portfolio Express パレットでカタログを開けば、パレットの上方、カタログのドロップダウンメニューのすぐ下にあるクイック検索ボックスで任意のアイテムを検索することができます。


Portfolio Express パレットのクイック検索ボックスは、メインの Portfolio アプリケーションのクイック検索ボックスと全く同様に使用できます。任意のフィールドの組み合わせに基づいてファイルを検索することができます。クイック検索で使われるフィールドの組み合わせは、Portfolio のクイック検索の環境設定で設定します。

## **注意：**

Portfolio Express のクイック検索ツールは Portfolio Server 管理者が定義したのと同じ検索パラメータを使用します。

**Portfolio Express を使用してクイック検索を行うには：**

- Portfolio Express のクイック検索ボックスをクリックして、ボックス内に単語またはフレーズを入力し、Return キーを押します。マッチするアイテムがパレットに表示されます。
- また、最近使ったクイック検索をドロップダウンメニューから選択し、虫眼鏡アイコン  をクリックすることでその検索を実行することができます。


Portfolio Express のカタログの中のすべてのアイテムを表示するには、クイック検索フィールドの右にある虫眼鏡アイコン  をクリックしたまま、メニューから**すべてを表示**を選択します。

# Portfolio Expressを使ってファイルにアクセス

## 注意：

ファイルサーバー上のカタログ化されたアセットを使用する場合、必ずマウントを共有してください。

Portfolio Express パレットを使ってカタログ化されたアイテムに直接アクセスするには、以下の方法が使えません：

- サムネイルをダブルクリックしてオリジナルファイルを編集します。サムネイルを選択して、フライアウトメニューからオリジナルの編集 コマンドを選択することもできます。
- サムネイルを Adobe Photoshop、Illustrator のような編集ソフトウェアのエイリアス（またはショートカット）の上にドラッグして、それらのソフトウェアで画像を開くことができます。
- サムネイルを（Microsoft Word や Adobe InDesign のような）ドラッグアンドドロップに対応したアプリケーションの文書にドラッグして、それらの文書に画像をコピーすることができます。
- サムネイルを右クリックして、ショートカットメニューからオリジナルの表示（Mac）またはエクスプローラで表示（Windows）を選択します。
- サムネイルを選択して、フライアウトメニューから Finder で表示（Mac）またはエクスプローラで表示（Windows）を選択します。
- パレットの右上隅にある Portfolio ボタン  をクリックするか、フライアウトメニューから Portfolio へ切り替えコマンドを選択して、Portfolio で現在開かれているカタログを開きます。
- サムネイルをパレットから電子メールのメッセージにドラッグすることにより、オリジナル ファイルのコピーをそのメッセージに添付します。
- Mac OS X で、サムネイルを QuarkXPress の文書にドラッグして、XPress レイアウトに画像を配置します。サムネイルをピクチャボックスにドロップすると、選択された画像が既存のピクチャボックスに配置されます。それ以外の場合は、Portfolio Express がその画像のための新しいピクチャボックスを作成します。

## 注意：

Mac OS X では、QuarkXPress 側に **QX-Drag & DropXTension** が必要です。

# Portfolio Expressのホットキーを設定

Portfolio Express をバックグラウンドで実行していれば、Portfolio Express パレットのホットキーを押すだけで、カタログ化された画像にアクセスすることができます。

Portfolio Express パレットのホットキーを設定するには：

- パレットの右側のフライアウトメニューからホットキーの設定コマンドを選択します。
- Windows では、ホットキーを使用可能にするチェックボックスがオンになっていることを確認してください。それから、ホットキーのフィールドをクリックして、ホットキーとして使いたいキーの組み合わせを押してください。Mac OS X では、ダイアログボックスが開いたら、使いたいキーの組み合わせを押すだけです。
- OK** をクリックして、新しいホットキーをアクティブにします。ホットキーを使えば Portfolio Express パレットの表示/非表示を切り替えることができます。

# Portfolio Expressを自動的に起動

Portfolio Express を自動的に起動を自動的に起動してバックグラウンドで実行するようになれば、Portfolio Express パレットのホットキーを押すだけで必要なときに画像にアクセスすることができます。

## Mac OS X で Portfolio Express を自動的に起動するには :

Mac OS X では、Portfolio Express パレットは、マシンを立ち上げたときに自動的に起動するように設定されています。何らかの理由で起動項目から削除された場合は以下の手順で再度追加してください。

1. システム環境設定ダイアログボックスを開きます。
2. アカウントウィンドウを開きます。
3. 起動項目タブをクリックし、[ + ]ボタンをクリックします。
4. 追加ダイアログボックスで、Portfolio のディレクトリに移動します。Portfolio Express のアイコンをクリックしてハイライトさせ、追加をクリックします。  
次回コンピュータを起動したときに、Portfolio Express は自動的に実行されます。

## Windows で Portfolio Express を自動的に起動するには :

1. Windows エクスプローラで、\\Documents and Settings\\All Users\\Start Menu\\Programs\\Startup に移動します。
2. 新しいエクスプローラのウィンドウを開いて、Portfolio をインストールしたディレクトリに移動します。これは通常次のディレクトリです。\\Program Files\\Extensis\\Portfolio\\.
3. Portfolio のフォルダから、Portfolio Express のアイコンを Alt キーを押しながらクリックしてスタートアップメニューにドラッグします。Portfolio Express のショートカットが作成されます。次回コンピュータを再起動したときに、Portfolio Express は自動的に実行されます。

# 成功事例

## 効率的なワークフローの定義

デジタルデータを管理する場合、効率的なワークフローが欠かせません。Portfolio は、アセットの整理、追跡、共有を支援するように設計されています。パワフルで柔軟な機能を備え、ワークフローに合わせて自由に活用することができます。

しかし、Portfolio の柔軟性は、両刃の剣に例えることができます。ファイルの管理には多角的なアプローチを採ることができますが、状況に最適な方法を決定するには注意深い計画が必要となるからです。

ユーザーのニーズは多種多様ですが、このガイドを参考にして、ニーズに合ったワークフローを作成できる、アセットマネジメントの最良のアプローチを理解してください。

ほとんどのワークフローは、次のような簡単なステップから構成されます：

1. カタログにするファイルを集めます。
2. ファイルをカタログに取り込みます。
3. ほかのユーザーとファイルを共有します。
4. ファイルをアーカイブします。

ワークフローに応じたニーズの相違点は、各ステップで詳しく説明します。またニーズは、Portfolio をワークグループ環境で使うか、スタンドアロンで使うかということによっても変わってきます。

## ワークグループ環境でのPortfolio設定

ワークフローを設定する前に考えておくべき点がいくつかあります。このガイドは、次のような点を考慮する際にお役立ていただくことを目的としており、明確で効率的なワークフローを維持するための基準について説明します。

### カタログの作成

ワークフローの段階に合わせて、複数のカタログを作成しますか？

### キーワードの利用

カタログに取り込んだファイルを表わす最も使用頻度の高いキーワードは何ですか？

### 進行状況の確認

どのようなカスタムフィールドを作成しますか？ 例えば進行状況というカスタムフィールドを作成し、ワークフローの進行状況に応じて事前に定義されたフィールド値（企画、デザイン、編集など）を割り当てると、進行状況を簡単に確認できます。

### ユーザーのアクセス

公開したウェブページからファイルをダウンロードできるようにしますか？ またはPortfolio を使ってカタログに直接アクセスしますか？ カタログにアクセスするユーザーの数は？ 各ユーザーが持つアクセス権のレベルは？

### 共有

複数のユーザーとファイルを共有する計画がありますか？ ファイルをウェブサイトに公開してユーザーがダウンロードできるようにしますか？ または、Portfolio を使ってカタログに直接アクセスしますか？ Portfolio からほかのユーザーにファイルを電子メールで送信しますか？

## ファイルの回覧

Portfolio のユーザー間でファイルを回覧する方法は？ カスタムフィールドと事前に定義されたリストを作成し、各ユーザーが回覧したことを示すようカスタムフィールドの内容を変えますか？ スマートギャラリーを作成して、メタデータを使ってタグ付けされたファイルを表示しますか？

## メタデータの格納

ファイルのメタデータの作成、記録、利用方法は？ ファイルをカタログに取り込むときにメタデータを抽出しますか？ カスタムフィールドに情報を記録しますか？ EXIF、IPTC、XMP メタデータがワークフローに必要ですか？

## 管理者の採用

ワークグループや企業の環境では、ファイル管理システムを利用するユーザーの数が多いため、統一性が大きなカギとなります。大規模な共有システムでカタログやキーワードのデータを不注意に作成すると、システム全体に悪影響を及ぼします。重要な情報の消失や入力ミスなどのために、ファイルが簡単に見つからなくなる恐れもあります。

特定のユーザーや少人数のグループだけがつねにカタログを作成し、Portfolio データベースの情報を更新するようにすると、ファイルのカタログ化やキーワードの作成による問題の発生を最小限に抑えることができます。

# 使用するカタログの数

作成するカタログの数は、ワークフローや保存するデータの種類によって異なるはずですが。

Portfolio カタログには、最高で 250,000 ファイルまで追加できます（メタデータの情報量や条件により異なります）。1つのカタログで、十分にニーズを満たすことができます。しかし、前述のように、複数のカタログにファイルをグループ化すると、高度なファイル管理が可能になり、適切なファイルを簡単に見つけることができるようになります。

Portfolio には、一度に複数のカタログを検索する機能が備わっているため、1つのカタログでアイテムが見つからなかった場合は、検索の範囲を広げて複数のカタログから検索することもできます。

アイテムのグループ化には多くの方法がありますが、それぞれのニーズに合った方法を利用してください。次に、さまざまな状況においてファイル管理を簡素化するための整理方法について説明します。

カタログの作成については新しいカタログの作成を参照してください。

## テーマによるグループ化

重複しないようなテーマを定義できる場合は、テーマ別にした複数のカタログに、ファイルを分けて整理するとよいでしょう。

たとえば、さまざまな雑誌を印刷する出版社などでは、各雑誌に対して別々の Portfolio カタログを作成します。結婚式と車の展示会を専門に撮影する写真家の場合は、2つの異なるカタログにそれぞれの画像を整理します。

## プロセスによるグループ化

1つのワークフロー内でファイルの状態を明確に定義できる場合があります。アイテムをその状態によって区別することで、ユーザーは適切な形態のファイルにアクセスしやすくなります。

写真家の例を見てみましょう。この写真家は、多くの写真を撮影しますが、その中から少数の画像を販売用に選びます。画像を販売した後、または不必要になった場合は、その画像をコンピュータから削除し、CD-ROM にアーカイブしたいと考えています。ただし、アーカイブした後でもオリジナルのファイルがどこに保存されているかを知る方法が必要です。

まず、処理中、使用中、アーカイブという3つのカタログを作成します。撮影した写真はすべて「処理中」カタログで管理します。販売や使用の対象となるファイルは、「使用中」カタログにドラッグします。販売済みまたは不要になった写真は、「アーカイブ」カタログに移動します。このカタログから、オリジナルのファイルを CD-ROM/DVD-ROM に書き込みます。

詳細は、**オリジナルファイルをディスクにアーカイブ** 75 ページのを参照してください。

## ファイルタイプによるグループ化

ファイルタイプによってファイルをグループ化して、カタログに整理する方法もあります。

Portfolio では、PDF ファイルのテキストをインデックス化し、検索することができます。これは、大量の PDF ファイルを所有するユーザーにとって便利な機能です。しかし、PDF を画像やプレゼンテーションなど、ほかのファイルと混ぜて整理する場合に、インデックス化された PDF ファイルを含めると、ほかのファイルを検索する処理が遅くなることがあります。このため、インデックス化された PDF ファイルを数多く持つユーザーは、PDF を整理するカタログとその他のファイルを整理するカタログを作成するとよいでしょう。

## セキュリティによるグループ化

機密情報の保護は、現在のビジネスにとって非常に重要です。そこで、Portfolio カタログへのアクセスを許可されたユーザーに限ることで、重要なファイルの配布を効率よくコントロールできます。

たとえば、マーケティング部で、激しい競争を勝ち抜くための新しいキャンペーンを準備しているとします。キャンペーンの詳細が公にならないように、万全なセキュリティ対策が必要となります。すべてのパートナー会社が、現在の画像、コピー、ウェブコンテンツなどを持ち、キャンペーン準備を進めます。マーケティング部では Portfolio Server を使って、パスワード保護されたカタログを公開し、キャンペーン関係者のみにアクセスを許可し、その他のユーザーはカタログにアクセスできないように設定します。

詳細は、**アクセスレベルの変更** 16 ページのを参照してください。

## ファイルの整理

Portfolio ではファイルを整理する際に、使いやすいウィンドウを使用しますが、ディスク上でどのようにファイルを整理すべきか、不安を抱いているユーザーは数多くいます。そのような場合は、一貫した理解しやすい方法でファイルを整理すると、効率的なワークフローを実現できます。

すでにカタログを作成した場合、またはファイルの整理に不満がある場合でも心配する必要はありません。そのままの状態を Portfolio に取り込み、ファイルを整理してから、Portfolio でオートシンクを使ってディスクに新しいディレクトリを作成します。

## ディスク上のファイルの整理

Portfolio ではファイルを整理する際に、使いやすいウィンドウを使用しますが、ディスク上でどのようにファイルを整理すべきか、不安を抱いているユーザーは数多くいます。そのような場合は、一貫した理解しやすい方法でファイルを整理すると、効率的なワークフローを実現できます。

すでにカタログを作成した場合、またはファイルの整理に不満がある場合でも心配する必要はありません。そのままの状態を Portfolio に取り込み、ファイルを整理してから、Portfolio でオートシンクを使ってディスクに新しいディレクトリを作成します。

## フォルダ階層の作成

Portfolio ではファイルをカタログ化するときに、フォルダのパスからキーワードを直接、自動的に作成できます。つまり階層化されたフォルダの名前を、階層内の各フォルダのキーワードとして追加できます。詳細オプションダイアログボックスのプロパティタブで、パスとボリューム名からキーワードを作成するオプションをオンにします。パス名からキーワードを作成 23 ページのを参照してください。

この例としては、ハッチバックフォルダ内のカタログ化した画像には、「画像」、「車」、「ハッチバック」というキーワードが自動的に適用されます。ワークグループでは、このような効率的なフォルダ階層の設定が必須と言えるでしょう。

また、全ファイルを1つのルートディレクトリに整理する方法もあります。この例では画像ディレクトリがルートディレクトリです。このルートディレクトリに必要なだけサブディレクトリを作成し、ファイルを整理します。これは特にワークグループで使用するカタログで有効な整理方法です。

ファイルを複数のディレクトリに保存している場合は、オートシンクパレットやウインドウを使って、ファイルを整理できます。整理するディレクトリをオートシンクパレットに追加してから、Portfolio を使って新しいディレクトリを作成し、ファイルを移動して整理します。詳細は **オートシンク** 58 ページのを参照してください。

## 命名規則の作成

Portfolio でファイルをカタログ化する場合、カタログ作成オプションを使って、ディスク上のファイルの移動や名前の変更を行うことができます。オリジナルファイルの命名方法について特定のルールを作り、それに従って名前を付けると、ファイルを簡単に識別、検索、共有することができるようになります。

クライアント名、プロジェクト、製品番号、日付など、関連するファイルの情報をファイル名に含めるのがもっとも一般的な方法です。

次に、簡単に利用できる命名規則の例を示します：

ファイル名	ファイル名の内容
jones_newsletter04_001.jpg	社名、プロジェクト番号、連続番号
axle_756452j_002.jpg	部品名、部品番号、連続番号
smith_040623_066.pdf	社名、日付(YMMDD)、連続番号

Mac、Windows、Linux、および Unix でネットワークの互換性を維持するには、すべてのプラットフォームで使用できるファイル名を使用します。

- ファイル名は拡張子も含めて 32 文字以内にします。
- 特定の意味を持つキャラクタや区別が困難なキャラクタは利用を避けてください。ピリオドとダッシュを除く句読点、\*、%、@、\$のようなキャラクタやシンボルも利用できません。OSによっては、大文字と小文字で異なる判断をします。例えばファイル名の wrench\_111213.png と WRENCH\_111213.png では、異なります。アクセントの無い小文字、数字、ピリオド、アンダースコア、ダッシュに限定して利用すると良いでしょう。
- スペースではなくアンダースコア( \_ )を使います。
- 日付には単純なフォーマットを使います。たとえば、2004 年 6 月 23 日は、040623 などになります。これで、Macintosh の Finder、Windows のエクスプローラ、また Portfolio 内でもファイルが同じ順番で表示されます。

# カタログの管理

## デフォルトフィールド値

デフォルト値はカタログのフィールドに指定できます。これにより、値が必要なカスタムフィールドに値が常に格納されます。

新しいファイルをカタログ化する場合、カタログ作成オプションダイアログボックスを通じて値が入力されますが、その値が設定されていないときにデフォルト値が自動的にそのアイテム用に格納されます。

たとえば、進行中のすべての作業用の Portfolio カタログがあれば、プロジェクト進行状況という名前のカスタムフィールドを設定できます。このカスタムフィールド用にデフォルトフィールド値をアイデア段階に設定します。新たにカタログ化したすべてにアイテムにこの値が設定され、この値を後で完了に変更するだけで済みます。

また、デフォルト値は抽出した値または手動で割り当てた値を使って上書きすることもできます。手動で割り当てた値には、カタログ作成オプションで割り当てた値またはオートシンク監視フォルダによって適用された値が含まれます。

フィールドデフォルト値を定義するには：

1. **カタログ>カタログ管理**を選択します。
2. 管理パスワードを入力して、**追加**をクリックします。
3. カタログ管理ダイアログボックスで、デフォルト値タブを選択します。カタログ用のすべてのカスタムフィールドが、このタブに表示されます。
4. デフォルト値を設定したいカスタムフィールドを探します。フィールド名の左のボックスをチェックします。すでにデフォルト値が設定されている場合は、**編集**ボタンをクリックします。デフォルト値が設定されていない場合は、編集ダイアログボックスが自動的に開きます。
5. 編集ダイアログボックスは、編集しているカスタムフィールドのタイプによって異なります。複数の値を持つフィールドの場合、1つかそれ以上のデフォルト値を追加することができ、単一値フィールドは1つのデフォルト値のみを受け入れることができます。適切なデフォルト値を入力して、**OK** をクリックします。
6. 必要に応じて、追加のデフォルト値を入力します。
7. 追加のデフォルト値を終了したら、**OK** をクリックします。

## カタログの起動時オプションの設定

カタログ管理者は、カタログが開かれる際のさまざまなアクションについてもコントロールすることができます。

次のオプションはカタログ管理ダイアログボックスの起動タブ上で使用できます（**カタログ>カタログ管理**を選択してください）。

検索ウィンドウを開く：Portfolio の起動時に検索ウィンドウを自動的に開きたい場合、このオプションをオンにします。これにより、複雑な検索を即座に始めることができます。このオプションは通常、Portfolio で最初に行う操作が検索ダイアログボックスから検索条件を操作するような場合に便利です。

マスターキーワードパレットを開く：起動時にマスターキーワードパレットを開きます。これにより、ユーザーが手動でマスターキーワードパレットを開く手間が省けます。

スライドショーを実行：Portfolio を起動すると、フルスクリーンのスライドショーを開始し、カタログ内の全アイテムをスライドショーで表示します（指定されたスライドショーのオプションを使用します）。このオプションは、Portfolio を使用してプレゼンテーションする場合や、カタログを開いたらすぐにプレゼンテーションを開始するように設定する場合に便利です。スライドショー機能の使用に関する詳細は、**スライドショー** 85 ページのを参照してください。

スプラッシュスクリーンを表示：独自のスプラッシュスクリーンを Portfolio カタログに追加して、カタログが開かれるたびにそのスプラッシュスクリーンを（4 秒間）表示することができます。Portfolio を起動すると、



標準の Portfolio スプラッシュスクリーンの直後に、カスタムのスプラッシュスクリーンが表示されます。詳細は、**カスタムのスプラッシュスクリーンを追加** 下のを参照してください。

## カスタムスのスプラッシュスクリーンを追加

独自のスプラッシュスクリーンを Portfolio カタログに追加して、カタログが開かれるたびにそのスプラッシュスクリーンを（4 秒間）表示することができます。Portfolio を起動すると、標準の Portfolio スプラッシュスクリーンの直後に、カスタムのスプラッシュスクリーンが表示されます。

### 注意：

大きいスプラッシュスクリーンはカタログのサイズを増大させ、読み込みに時間がかかる可能性があります。スプラッシュスクリーンを必要以上に大きくしないことを推奨します。

カスタムのスプラッシュスクリーンを追加するには：

1. **カタログ>カタログ管理**を選択して、カタログ管理ダイアログボックスを開きます。
2. 起動時の動作タブで、スプラッシュスクリーンを表示オプションを有効にします。
3. **開く** (Win) をクリックまたは**ファイルの選択** (Mac) をクリックします。
4. スプラッシュスクリーンとして使用する JPEG 画像のある場所に移動し、**開く**をクリックします。
5. **OK** をクリックします。

選択された画像がダイアログボックスのカスタムスプラッシュスクリーンセクションに表示されます。この画像が次回カタログが開かれたときにスプラッシュスクリーンとして使用されます。

カスタムのスプラッシュスクリーンを削除するには：

1. **カタログ>カタログ管理**を選択して、カタログ管理ダイアログボックスを開きます。
2. 起動時の動作タブから、**クリア**をクリックします。
3. **OK** をクリックします。

## データのインポートとエクスポート

Portfolio にはデータをカタログにインポートしたり、他のアプリケーションで使用するためにカタログからデータをエクスポートしたりできる強力な機能があります。

フィールド値のインポートコマンドを使用すれば、他のデータベースのフィールドと Portfolio の特定のフィールドを一致させることにより、そのデータベースから Portfolio にデータをインポートすることができます。逆に、Portfolio の任意のフィールドをデータベースやスプレッドシートで使用するために、テキストファイルにエクスポートすることができます。

### フィールド値のインポート

Portfolio カタログにインポートするデータベースファイルを作成するには、フィールドがタブで区切られ、各アイテムがキャリッジリターンで区切られたプレーンテキストファイルを、データベースアプリケーションからエクスポートします。

テキストファイルの最初のアイテムは、データベースフィールドヘッダーです（この最初のアイテムは「Portfolio」カタログのデータベースフィールドと一致させるために使われ、アイテムとしてはインポートされません）。

### 警告：

インポートされるテキストファイルは、常にユニコードフォーマット (UTF-16) で保存する必要があります。フォーマットについて詳しくない場合は、テキストエディタ (メモ帳、TextEdit、ワードパッドなど) でファイルを開いて、ユニコード UTF-16 フォーマットでファイルを保存してください。

インポートを開始する前に、Portfolio にはあらかじめ必要なカスタムフィールドが設定されている必要があります。カスタムフィールドが設定されていないと、そのフィールドにはデータはインポートされません。

## フィールド値をインポートするには：

1. インポートを行うデータの保存に必要なカタログのカスタムフィールドが設定されていることを確認します。カスタムフィールドの作成の詳細は、**カスタムフィールド** 68 ページのを参照してください。
2. インポートするデータが、上で記述したように各フィールドの値がタブで区切られ、各アイテムが改行で区切られたプレーンテキストファイルであることを確認します。
3. **ファイル>フィールド値のインポート**を選択して、インポートを行うテキストファイルを指定します。フィールド値のインポートダイアログボックスで、インポートファイルのフィールドの見出しの下の左側の列にテキストファイルからのフィールドヘッダーが表示されます。
4. テキストファイルの各フィールドヘッダーを、右側の列に一覧表示されている Portfolio カタログの適切なフィールド名に一致させます。ファイルのフィールドと Portfolio のフィールドを上下に動かして、フィールドの相対的な位置の順序を合わせます。左右の列の間をクリックして、インポートメニューをアクティブにします。これにより、各フィールドに対して適切なインポート演算子（キー、インポート、またはスキップ）を選択することができます。演算子の機能は以下のとおりです。
  - キー (=) はキーの関係を定義します。Portfolio カタログの対応するフィールドの値と一致する値が、インポートされるデータの選択されたフィールドで検索されます。インポートで、指定できるキーの関係は1つだけです。
  - インポート (→) は、テキストファイルのフィールドが矢印の右側にあるカタログのフィールドにインポートされることを示します。
  - スキップ (x) は、テキストファイルのフィールドがカタログにはインポートされないことを示します。
5. インポートフィールドの設定が完了したら、将来使用するためにその設定を保存できます。設定を保存するには、保存済みセットのドロップダウンメニューから別名で保存を選択します。
6. データベースをインポートする準備ができたなら、**インポート**をクリックします。

Portfolio はテキストファイルの 2 番目のアイテムの各フィールドの値を（1 番目のアイテムはフィールドヘッダーなので、2 番目のアイテムが実際のデータを持つ最初のアイテム）、インポートの最初で指定された対応する Portfolio の各フィールドタイプの値と比較して、適切なデータタイプであるかどうかをチェックします。値が適切なデータタイプでない場合は警告が表示され、インポートをキャンセルすることができます。

すべてのタイプが一致すれば、Portfolio はデータをインポートします。インポートの処理中、対応する Portfolio のフィールドタイプに一致しないフィールドのデータはスキップされます。

### 複数の値を入力できるフィールドのデータも置換する

フィールド値のインポートダイアログボックスで、このチェックボックスがオンになっている場合は、複数の値を持つフィールドにインポートされた値は、Portfolio のアイテムの値を上書きします。このチェックボックスがオフになっている場合は、インポートされた値は Portfolio のアイテムリストの末尾に追加されます。

### テキストファイルのインポートに関する技術的な注意事項

インポートされるファイルはフィールドがタブで区切られ、アイテムがキャリッジリターンで区切られたテキストファイルなので、インポートするデータのフィールド内にこれらの文字が含まれていないことを確認してください。もし、それらの文字がフィールド内に含まれていると、インポートは予期しない結果となります。

Portfolio は ASCII 標準に従っており、ASCII 11 を垂直タブとして認識します。この文字はフィールド内での改行を表すために使用します（たとえば、説明フィールドのようなテキストブロックで使用）。Portfolio はまた、ASCII 29 をグループ分離文字として認識します。この文字は複数の値を持つフィールド（たとえば、キーワードフィールド）内で、値を区切るために使用します。複数行または複数の値を持つデータを他のデータベースからエクスポートする場合は、必ずこれらの文字を使用してください。複数の値または複数行をもつフィールドをサポートしているデータベースには、これらの標準をサポートしているものもあります（たとえば、FileMaker Pro など）。

## データのテキストファイルへのエクスポート

Portfolio カタログのデータを、エクスポートするフィールドとスキップするフィールドを指定して、テキストファイルにエクスポートすることができます。アクティブなギャラリーで選択されたアイテムのデータのみがエクスポートされます。

カタログのフィールドをテキストとしてエクスポートするには：

1. ギャラリーでテキストデータのエクスポートを行うアイテムを選択します。
2. **ファイル>フィールド値のエクスポート**を選択します。
3. カタログのフィールドリストの左端の列をクリックして、各フィールドのエクスポートを有効にするか無効にするかを設定します。チェックされているフィールドがエクスポートされます。
4. **エクスポート**をクリックします。
5. エクスポートするファイルの名前を入力して保存場所を指定し、**OK** をクリックします。Portfolio は選択された各アイテムの情報を含む、タブで区切られたテキストファイルのエクスポートします。このファイルは、アイテム内の各フィールドがタブで区切られ、各アイテムがキャリッジリターンで区切られたテキストファイルです。

### テキストファイルのエクスポートに関する技術的な注意事項

エクスポートされるファイルはフィールドがタブで区切られ、アイテムがキャリッジリターンで区切られたテキストファイルなので、もしこれらの文字がフィールド内にあるとファイルを適切にフォーマットできません。したがって、Portfolio ではこれらの文字をフィールド内で使用することはできません。

Portfolio は ASCII 標準に従っており、ASCII 11 を垂直タブとして使用します。この文字はフィールド内での改行を表すために使用します（たとえば、説明フィールドのようなテキストブロックで使用）。Portfolio はまた、ASCII 29 をグループ分離文字として使用します。この文字は複数の値を持つフィールド（たとえば、キーワードフィールド）内で、値を区切るために使用します。複数の値または複数行をもつフィールドデータのテキストファイルへのエクスポートをサポートしているデータベースには、これらの標準をサポートしているものもあります（たとえば、FileMaker Pro など）。

## 破損したカタログの修復

Portfolio カタログを開けず、カタログが破損した可能性がある場合は、修復コマンドを使って修復することができます。

特定のフィールドをソートまたは検索してクラッシュした場合に修復コマンドを起動します。

カタログを修復するには：

1. Portfolio Server Admin Web インターフェースを使用して、カタログをオフラインにしてください。
2. カタログの FDB ファイルのローカルコピーを作成します。
3. マシン上で Portfolio デスクトップクライアントをローカルで使用して、**カタログ > 修復**を選択します。ディレクトリダイアログボックスが表示されます。
4. 修復するカタログを探して、**開く**をクリックします。
5. 修復されたカタログの新しい名前を入力し、保存場所を選択して、**保存**をクリックします。Portfolio がカタログをチェックし、損傷の修復を試みている間、進行状況ウインドウが表示されます。修復されたカタログを Portfolio Server のデフォルトカタログの場所に戻すことができます。
6. 完了状況レポートが表示されたら、**OK** をクリックします。
7. 修復されたカタログを開いて、すべてのアイテムが損なわれていないことを確認します。
8. Portfolio Server Admin Web インターフェースを使用して、カタログを再度使用できるようにします。

## 公開されたカタログの管理

Portfolio デスクトップクライアントから管理者モードでカタログを開く場合、そのカタログを他のユーザーがアクセスすることはできません。

Portfolio Server 上では、カタログは他のユーザーと同時共有されていますが、これは、カタログを管理者モードで使用している間は他のユーザーがそのカタログにアクセスできないことを意味します。カタログを管理者として開くと、他のすべてのユーザーはロックアウトされます。

他のユーザーがカタログを開いているときに、管理者モードに切り替えると、他のユーザーは即座にログオフされます。これを避けるには、サーバーの設定ダイアログボックスのオプションを使って、他のユーザーに（カタログを閉じて）自分自身でログオフするまでの時間を与えるか、彼らがログオフされるまでに一定の時間を与えるかのいずれかを行います。

不注意からユーザーがログオフされるのを避けるために、公開されたカタログは、たとえ環境設定ダイアログボックスでデフォルトのアクセスモードを管理者に設定していたとしても、管理者モードで開くことはできません。この場合、カタログはデフォルトで、発行者モードで開かれます。カタログを開いた後、ユーザーに警告して管理者モードに切り替えることができます（**カタログ>アクセス権のレベル**を選択）。

カタログを管理者モードで開いている間は、カタログがたとえ公開状態にあったとしても、そのカタログは他のユーザーのサーバーへの接続ダイアログボックスには表示されません。そのカタログを他のユーザーに公開するには、そのカタログを閉じるか、または違うアクセスモード（発行者、編集者、閲覧者）に切り替えます。

Portfolio Server 上でのカタログの設定に関する詳細については、Portfolio Server ユーザーガイドを参照してください。

## スクリプトを使ったPortfolioの自動化

Portfolio は、Mac OS X の AppleScript や、Windows の OLE オートメーションにアクセスするために使用可能な Visual Basic、Visual C++、JavaScript、その他のスクリプト言語による多彩なスクリプト処理をサポートします。

上記のタイプの有効なスクリプトが Portfolio アプリケーションと同じフォルダ内のスクリプトという名前のフォルダに置いてある場合のみ、Portfolio のスクリプトメニューが表示されます。スクリプトフォルダ内にあるスクリプトとアプリケーションは、新しいスクリプトメニューに追加され、通常のメニューコマンドとして使用できます。

### 注意：

スクリプトメニューは Portfolio デスクトップクライアントでのみ利用でき、MediaScript™ ファイルに対しては実行できません。Portfolio NetMediaMAX を導入する場合は、MediaScript ファイルは Portfolio Server と Portfolio Media Engines で自動ファイル変換に利用できます。

スクリプトフォルダ内の Mac OS X スクリプトファイルは AppleScript ファイルである必要があります。Windows スクリプトファイルはコンパイル済みの EXE または CMD ファイルでなければ、スクリプトメニューに含まれません。

### 注意：

カスタムプログラムについては、Extensis デスクトップクライアントではテクニカルサポート外となります。

## カスタムカタログタイプ

サーバー管理者は Portfolio デスクトップクライアントを使って、カスタマイズしたカタログタイプを作成し、新規カタログ作成時に使うことができます。カスタムカタログタイプにはカスタムフィールドやメタデータマッピングを含めることができます。

設定方法は、Portfolio Server 管理ガイドとヘルプシステムで詳しく説明しています。ここでは概要のみを記載しています：

1. Portfolio Server Admin アプリケーションで空の新規カタログを作成します。
2. デスクトップクライアントを起動して、カタログ管理者権限でそのカタログを開きます。
3. カatalogをカスタマイズします。
4. **ファイル > カatalogタイプを保存**を選択します。
5. Portfolio Server Admin アプリケーションでカタログの種類で保存したカタログタイプを選択できます。

# 環境設定

## ダブルクリック設定

ギャラリーカタログでアイテムをダブルクリックしたときの動作設定を選択することができます。デフォルト設定を選択すると、アイテムのプロパティを表示、オリジナルファイルを編集、または画面プレビュー画像を表示することができます。

ダブルクリックの設定を変更するには：

1. **編集>環境設定** (Win) を選択、または **Portfolio>環境設定** (Mac) を選択します。
2. 環境設定ダイアログボックスの一般タブで、ダブルクリック時の動作のドロップダウンボックスから適切な設定を選択します。

## ツールバーをカスタマイズ

ツールバーをカスタマイズするには：

1. **表示>ツールバーをカスタマイズ** を選択します。
2. Macintosh では、ツールバーにまたはツールバーから直接、ボタンアイコンをクリックしてドラッグします。  
  
Windows では、リストから希望のボタンアイコンを選択して**追加**および**削除**ボタンをクリックします。
3. **閉じる** (Win) をクリックまたは**終了** (Mac) をクリックします。

# 環境設定ダイアログボックス

Portfolio 環境設定ダイアログボックスを開くには：

- Windows の場合は、**編集>環境設定**を選択します。
- Mac OS X の場合は、**Portfolio>環境設定**を選択します。

## 環境設定ダイアログボックス - 一般

これらのオプションは、主に、Portfolio が行うサムネールの表示、カタログ化されたアイテムのプレビューおよび現行ユーザー名の表示方法に関連するものです。

### デフォルトのアクセスモード

このドロップダウンボックスを使用して、Portfolio のユーザーコピーに対して 4 つのアクセスレベルモード（閲覧者、編集者、発行者、管理者）のどれを使用してカタログを開くかを設定します。

### 画像寸法

画像寸法を表示するための測定単位を選択します。これはギャラリーおよびプレビューウィンドウの表示に適用されます。

### アイテムをダブルクリック

このオプションにより、サムネールをダブルクリックしたときの Portfolio の動作を定義できます。

Portfolio に以下の動作を設定できます：

- アイテムのプロパティダイアログボックスを開きます。
- アイテムのプレビューを開きます。
- 編集用にオリジナルのアイテムを開きます（ファイルの オリジナルアプリケーションを使用）

### プレビュー時にムービーおよびサウンドファイルを自動再生

選択すると、プレビューウィンドウでムービーおよびサウンドファイルが自動再生されます。再生ボタンをクリックする必要はありません。

### サムネールに複数ページアイコンを表示

選択すると、複数ページの PDF、Photoshop®、PowerPoint®および TIFF ファイルの右下隅に小さな複数ページアイコンが追加されます。

### サムネールに部分的カタログ化のアイコンを表示

これを有効にすると、Portfolio は部分的にカタログ化された各サムネールのアイテムの下に、小さなアイコンを表示します。このアイコンは、アイテムが完全にカタログ化されたときに削除されます。

## 環境設定ダイアログボックス - カタログ作成タブ

### カタログ作成オプションの案内なし

環境設定ダイアログボックスのカタログ作成タブで、カタログ作成オプションなしオプションを選択すると、いつでもカタログ作成オプションウィンドウを隠しておくことができます。

ただし、以下のことを設定どおりに行うセクションにある 3 つのオプションにより、カタログ作成オプションダイアログボックスが隠れたままに設定されている場合、どのカタログ作成オプションを実行し、どのカタログ作成オプションを無視するかを指定できます。

カタログ作成時に誤ってファイルの移動または名前変更を行わないように、これらのオプションをオフにすることもできます。たとえば、アイテムの名前変更オプションをオフにすると、カタログ作成オプションダイアログボックスを表示して名前を変更する方法を設定しない限り、Portfolio はカタログの作成時にファイルの名前を変更しません。

# 用語集

## -A-

---

### AppleScript

AppleScript は Mac OS X 内で自動化を行うのに利用できるスクリプトユーティリティです。

## -V-

---

### Visual Basic

Visual Basic は Microsoft Windows 内で Portfolio の自動化を行うのに利用できるスクリプトプログラム言語です。

## -ア-

---

### アイテム

カタログに登録されたファイルは、カタログ内のアイテムと呼ばれます。各アイテムにはディスク上のファイル情報が含まれています。

### アクセスレベル

アクセスレベルによって、ユーザーがカタログ内の特定のアイテムに対して実行できる機能が変わります。アクセスレベルはユーザー単位、またはグループ単位で設定できます。ギャラリーのアクセスレベルは、他のユーザーからギャラリーの中を見えないようにすることができます。

### アシスタント

アシスタントは Portfolio 内の特定の機能でウィザード形式で機能します。例えば Web ページの作成ウィザードでは、画面の手順を追って行くと Portfolio 内でウェブサイトを作成できます。

## -オ-

---

### オートシンク

オートシンクフォルダに置かれたファイルは Portfolio Server にアップロードすることができます。ファイルがこのフォルダに入れられると、Portfolio が自動的にファイルを取り込み、メタデータの抽出、サムネイルとプレビューファイルの作成を行います。

## -カ-

---

### カタログ

Portfolio では、画像やグラフィックデータ、写真データや他のメディアファイルをカタログと呼ばれるファイルに登録して管理します。カタログにはファイルのサムネイル画像と、メタデータ、必要なカスタム情報が含まれますが、オリジナル画像そのものは含まれません。

### カテゴリ

カテゴリは Portfolio 内でファイルをグループにする機能です。カテゴリは階層化することができます。



## ーキー

---

### キーワード

キーワードは、カタログに登録されたアイテムを分類するために割り付けることのできる用語です。

## ーギー

---

### ギャラリー

ギャラリーはカタログ内のファイルのサブセットです。

## ーコー

---

### コンタクトシート

コンタクトシートは、1ページ上に複数の画像を配置して Portfolio から印刷できるページです。この用語は元々、写真家が拡大プリント前のセレクト用に、フィルムのロール内の画像を小さく一枚のシートにプリントした用紙のことをいいます。

## ーサー

---

### サムネイル

サムネイルは、カタログ内でアイテムとして表示される小さな画像を指します。

## ーデー

---

### デフォルトアクセス権

デフォルトアクセス権プレファレンスで、すべてのカタログを開く際のアクセスレベルを選択することができます。

### デフォルトの検索方法

デフォルトの検索方法は検索ダイアログボックスを開いた際に自動的に設定されている項目です。デフォルトの検索方法はよく利用するアイテムを素早く探すためにカスタマイズすることができます。

## ーバー

---

### バッチ変換

バッチ変換は、カタログ上の複数のアイテムを同時に変更することができます。Portfolio のバッチ変換機能では、ファイル形式、解像度、カラーモード、サイズの変更が可能です。

## ーフ

---

### フィールド

フィールドは、Portfolio カタログ内の情報が入る場所です。各 Portfolio カタログは自動的に主なフィールドを持っていますが、ファイルを識別するのに必要となる様々な情報を入れておくためのカスタムフィールドを作成することもできます。

## - プ -

---

### プロパティ

Portfolio 内の各アイテムは、説明やキーワード、カスタムフィールド情報など多くのプロパティ情報を持っています。すべてのアイテムはプロパティを持っています。

## - マ -

---

### マスターキーワード

マスターキーワードは、カタログ管理者によって作成できるキーワードです。マスターキーワードを使うことで、カタログ内のキーワードを統一することができます。

## - メ -

---

### メタデータ

メタデータはオリジナルファイル内に埋め込まれている情報です。Portfolio ではこれらの情報の抽出や、オリジナルファイルへの埋め込みが可能です。

## - 一 -

---

### 一時ギャラリー

一時ギャラリーは、一時的にアイテムを集めておくことができる一時的なギャラリーです。一時ギャラリーは通常のギャラリーとしていつでも保存することができます。

## - 仮 -

---

### 仮レコード

仮レコードは、Portfolio カタログは後日追加されることになるアイテムのための仮登録です。

## - 保 -

---

### 保存された表示

保存された表示は、Portfolio デスクトップクライアントのすべてのギャラリーの表示に利用されています。「ウェブクライアント」用の保存された表示では、ウェブクライアントがカタログに接続した際に表示されるフィールドを設定することができます。

### 保存済みの検索方法

保存した検索方法を使って、カタログ内の検索をすばやく行うことができます。保存した検索方法をギャラリーに適用することで、スマートギャラリーを作成することができます。

## —修—

---

### 修復

カタログが内部的な破損を起こした場合に、修復コマンドを使ってカタログの最適化と問題の修復を実行できます。

## —公—

---

### 公開されたカタログ

公開されたカタログは、Portfolio Server によって公開されているカタログをいいます。

## —収—

---

### 収集

オリジナルファイルのコピーを収集することができます。または直接新しい場所にプレビューファイルを生成することもできます。収集コマンドは他の人にファイルを渡すのに便利な機能です。

## —表—

---

### 表示

表示はギャラリーの一般的な見た目を指します。表示設定画面でギャラリーの見た目をカスタマイズでき、保存して切り替えることができます。

### 表示プレビュー

表示プレビューはPortfolio にファイルが登録される際に自動的に作成する低解像度のファイルです。ファイルサイズが小さいのでオリジナル画像を開くより高速に表示することができます。

# 連絡先

## Extensis

1800 SW First Avenue, Suite 500  
Portland, OR 97201  
電話（無料）：(800) 796-9798  
電話：(503) 274-2020  
Fax：(503) 274-0530  
Web: <http://www.extensis.com>

## Extensis ヨーロッパ

Suite 18, Newton House  
Kings Park Road, Moulton Park  
Northampton NN3 6LG, United Kingdom  
電話：+44 (0)1604 654 270  
Fax: +44 (0)1604 654 268  
Email: [info@extensis.co.uk](mailto:info@extensis.co.uk)

## カスタマーサービス

Web:  
<http://www.extensis.com/customerservice/>  
パッケージ内の案内をご覧ください。

もしくは国内販売代理店までお問い合わせください。

## 技術サポート

技術サポートにご連絡いただく場合は、次の情報をご用意ください。

- お客様のシリアル番号
- お客様のコンピュータの設定（オペレーティングシステム、メモリ、ハードディスクドライブ、コンフィギュレーションなど）
- ご質問、または問題の説明（何がどういふときに起こったのかを具体的に）
- 電話番号（担当者からお客様への電話を希望される場合）

さらに、表示されたエラー番号またはメッセージおよび、関連するかもしれないと思われるその他の情報を書き留めておいてください。

よくある質問とその答え、トラブルシューティングのヒントについては、次のアドレスから Extensis の Web サイトをご利用ください。<http://www.extensis.com/>

## 電話によるサポート

北米では、(503) 274-7030 にご連絡ください。

ヨーロッパでは、+44 (0) 1604-654-270 にご連絡ください。

日本国内では、製品パッケージに同梱されている案内をご覧ください。

# 索引

## A

AppleScript, 100

## E

Explorer で検索, 90

Express, 88, 89, 90, 91

## F

Finder, 63

Finder で表示, 63

FTP, 83

## H

HTML, 84

## I

InDesign ドキュメントプレビュー, 24

IPTC, 26

## J

Java, 100

## M

Macintosh Finder, 63

## N

NetPublish, 83

## O

OLE Automation, 100

## P

PixelLive, 43

PixelSafe, 43

Portfolio Express, 88, 89, 90, 91

Portfolio Server, 100

Portfolio ブラウザ, 76

Portfolio の自動化, 100

## Q

QuickTime, 85, 87

## V

Visual Basic, 100

Visual C++, 100

## W

Web ページ, 78, 79, 80, 81, 83

Web ページテンプレート, 82

Web ページの作成, 78, 79, 80, 81, 82, 83

Windows エクスプローラ, 63

## あ

アーカイブ, 75

アイテムのグループ化, 93

アイテムのプレビュー, 40

アイテムのプロパティ, 41

アイテム表示, 34, 65

アクセスレベル, 15, 16

アップデート, 27

## い

インスタントカタログ, 17

インデックス化, 23

インポート, 39, 67, 97

## え

エクスプローラ, 63

エクスポート, 39, 67, 97, 99

## お

オートシンク, 17, 58, 59, 60, 61, 94

オリジナルファイル, 42, 46

オリジナルを表示, 90

## か

カスタムカタログタイプ, 101

カスタムサムネールフレームの作成, 36

カスタムの並べ替え順序, 31

カスタムフィールド, 68, 69, 70

カスタム表示, 36, 37, 38

カタログ, 15, 17, 93, 99

カタログオプション, 19

カタログタイプの保存, 101

カタログの種類, 101

カタログプロパティ, 15

カタログを開く, 89

カタログ管理, 96

カタログ作成, 17, 24, 26, 103

カタログ作成オプション, 20, 21, 103

カタログ作成のオプション, 23

カタログ名の変更, 19  
カテゴリ, 71, 72, 73

## き

キーワード, 23, 53, 64, 65, 66, 67, 68  
キーワードの追加, 19, 70  
キーワードの編集, 64  
ギャラリー, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 35  
ギャラリーのコピー, 32  
ギャラリーへのアイテムの追加, 30  
ギャラリーを開く, 32

## く

クイック検索, 48, 89

## こ

コピー, 82  
コンタクトシート, 57

## さ

サーバーから提供されるカタログ, 15  
サーバーに接続, 15  
サイトロゴ, 79  
サウンドファイル, 103  
サムネイル, 24  
サムネール, 36, 37, 44, 47, 103  
サムネールを再作成, 47  
サムネール表示, 34

## し

システム要件, 12

## す

スクリプト, 100  
スプラッシュスクリーン, 96, 97  
すべてのアイテムギャラリー, 29  
スマートギャラリー, 32  
スライドショー, 85, 86, 87, 96

## そ

ソースコード, 83

## た

ダブルクリック設定, 102

## つ

ツールバー, 102

## て

ディスクへの書き込み, 75, 76, 84  
テキスト, 69  
テキストファイル, 99  
テキストブロック, 69  
デフォルトの検索, 53  
デフォルトの保存済み検索, 53  
テンプレート, 82  
テンプレートをコピー, 82

## と

ドキュメントテキスト, 23  
ドキュメントプレビュー, 24  
ドラッグ&ドロップ, 70  
ドラッグ&ドロップ, 17, 45, 64  
ドラッグ&ドロップ, 46

## は

パーソナルウェブ共有, 84  
はじめに, 11  
パス, 23, 46  
パスの変更, 46  
パレット, 53

## ふ

ファイルのコピー, 19, 42  
ファイルの移動, 19, 42, 61, 103  
ファイルの収集, 76  
ファイルの除外, 25  
ファイルの整理, 94  
ファイルの電子メールによる送信, 74  
ファイル名の変更, 95  
フィールド値, 70, 97  
フィールド値の割り当て, 70  
フィールド値の編集, 70  
フォルダの同期, 62  
フォルダパレット, 58, 60, 61  
フォルダ階層, 94  
フッター, 79  
プリセット, 20  
プリント, 56, 57  
プリント, 57  
フレーム, 36, 37  
プロジェクトプレビュー, 24  
プロパティ, 27, 41, 64  
プロパティの書き込み, 27

## へ

ページレイアウト, 24  
ヘッダー, 79

## ほ

ホームページ, 79  
ホットキー, 90

## ま

マスターキーワード, 53, 65, 66, 67, 96

## む

ムービーファイル, 87

## め

メインウィンドウ, 14  
メタデータ, 25, 26, 27  
メタデータのマッピング, 27  
メタデータの抽出, 26, 27  
メタデータの埋め込み, 27  
メタデータプロパティ設定, 26  
メタデータリスト, 26  
メタデータ設定のマッピング, 25

## ゆ

ユーザーインターフェイス, 13  
ユーザー名, 103

## よ

ようこそ, 8

## り

リスト表示, 34

## わ

ワークグループ, 92

ワークフロー, 92

## 漢字

移動, 72  
一時, 30  
一時ギャラリー, 29  
隠す, 21  
閲覧者, 15  
横のアイテム, 56  
仮レコード, 22, 54  
画像サイズ, 56  
画像のバッチ変換, 43  
画像変換, 43  
回転, 44  
階層化されたフォルダ, 94  
環境設定, 103  
監視フォルダ, 59, 60, 61  
管理者, 15  
起動時, 32, 96  
検索, 48, 49, 50, 52, 53, 54, 55, 89  
    検索ツール, 50  
検索ツール  
    検索条件, 50  
検索結果, 28, 49, 53  
公開されたカタログ, 100  
効率的なワークフロー, 92  
更新, 25, 46, 47  
高速カタログ作成, 17  
再表示, 82  
最後に追加されたアイテム, 28  
削除, 19, 30, 32, 38, 42, 53, 60, 65, 67, 70, 72, 73  
時刻, 69  
自動スタート, 91  
修復, 99

書類のテキスト, 55  
除外する単語リスト, 23  
小数, 69  
消失ファイル, 55  
詳細オプション, 23, 24, 25, 26  
新しいカテゴリー, 72  
新しいギャラリー, 29  
新しい機能, 9  
新機能, 9  
数値, 69  
設定, 102  
説明の追加, 19  
置換, 70  
追加, 70  
統計, 15  
日付, 69  
破損したカタログ, 99  
発行, 75  
発行者, 15  
非表示, 82  
表示, 34, 35, 38, 39  
部分的カタログ化のアイコン, 103  
複数のカタログ, 53  
並べ替え, 31  
並べ替える, 31  
別のファイルに再リンク, 45  
編集者, 15  
保存済みの検索方法, 52, 53  
保存済みの表示, 37, 38, 39  
名前の変更, 67  
名前変更, 32, 38, 44  
要件, 12